

第九十回帝國議會 議院 林業會法案委員會議錄(速記)第七回

付託議案
林業會法案(政府提出)

昭和二十一年八月二十八日(水曜)
午前十時三十分開議

出席委員

委員長 森 幸太郎君

理事 水口 周平君 綿貫 佐民君

理事 氏原 一郎君

小柳富太郎君 武田信之助君

太田秋之助君 木名 武君

武藤 常介君 町田 三郎君

永井勝次郎君 林 虎雄君

坪井 龜藏君 的場金右衛門君

井出 太郎君 磯田 正則君

八月二十八日委員仲子降君辭任ニ
付其ノ補闕トシテ磯田正則君ヲ
長ニ於テ選定シタ

出席國務大臣

文部大臣 田中排太郎君

農林大臣 和田 博雄君

出席政府委員

農林參與官 鈴木 彌平君

農林技官 中尾 勇君

農林事務官 平田 守君

運輸事務官 滿尾 昌亮君

委員長ノ許可ヲ得テ出席者

內務事務官 吉岡 惠 君

本日ノ會議ニ付シタ議案

林業會法案(政府提出)

○委員長 德ハ是ヨリ引續イテ

開會致シマス 永井君

○永井委員 昨日價格形成ノ問題
ト木材價格ノ將來ドウ云フ風ヲ振
合ヒニ案ヲサウ云フモノガ決メ
ラレシカ、社會的ナ客觀的ナ情
勢ニ照應シテ、ドウ云フヤウナ計
ラヒテ行クノデアリカト云フヤウ
ナコトニ付テ、簡單ニ御尋ネシタ
ノデアリマスガ、答辯ガ不満足デ
アリマスナド、尙ホ重ネテ是等
ノ價格一般ノ問題ニ付テ、モウ少
シ具體的ナ内容ニ於テ當局ノ御説
明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○鈴木(強)政府委員 木材ノ價格
デゴザイマスガ、價格ハ昭和十五
年、暮ニ初メテ公定價格ヲ設置セ
ラレシタガ、木材ノ價格ヲ如何
ニ算シタカ、是等ハ御存知ノ如ク
物價ノ體系ト致シマシテ、米價或
ハ石炭或ハ勞銀、是等ノモノヲ勘
案シテ適正トシ木材價格ガ出現サ
レタノデゴザイマス、尙且ツ自由
主義時代ニ於ケル所ノ凡ソル價格
ニ對スル統計、資本カラ來ル價格
ノ算定、次イデ統制經濟ニ於ケル
公定價格ノ算定カ生レマシテ、其
ノ後昂騰率モ米價ニ於ケルト同ジ
ヤウニ、或ハ米價方昭和十五年末
石五十圓ニナレバ、今日ハ石三百
圓ニナツテ居ル、木材ガ當時末口
六寸ノ丈三ノモノガ石九圓ニナレ
バ、今日ハ六十五圓ニナツテ居

ル、五倍半ノ騰貴シテ居ルガ、
同様ニ米モ五倍モ騰貴シテ居ルト
云フヤウナ換算案デアリマシテ、
重要ナル物資デアル關係カラ、斯
様ナ觀點ヨリ價格ガ形成サレテ居
ルノデアリマス

○永井委員 大臣方御意見ニナリ
マシタノデ大臣ニ對スル質問ヲ致
シタイト存ジマス、先日來ノ質疑
ニ依リマシテ、此ノ林業會法案ガ
暫定的ナ案デアル、而モ其ノ期間
ハ極メテ短イ期間デアリマシテ、
經濟安定本部存續ノ期間ヲ大體目
途トシテ居ルモノデアル、斯ウ云
フ御答辯デアツタノデアリマス

ガ、サウ云フ風ニ極メテ短期間ヲ
暫定的ナ案デアルト云フコトガ明
白ナリマス、此ノ法案ノ後
ニ來ルモノガ何デアルト云フ
トゾ大體見透シ付ケテ、サウシ
テソレト睨ミ合セテ審議シタケレ
バ、此ノ案ガケデホツト獨立シ
テ考ヘテ行クト云フコトハ、私ハ
不可能デアルト思フノデアリマス、
此ノ法案ノ能ク拜見シタノデ
アリマスガ、此ノ法案ニ盛ラレテ
居ルモノノ性格ト云フモノガ、少
シモ掴ミ出スコトガ出來マセス、
東ニ向ツテ走ルノカ西ニ向ツテ走
ツテ行クノデアリカ、此ノ法案デ
ハテンデ見當付カナカッタノデ
アリマス、隨テ此ノ場合大臣ニ御

尋ネ致シマスコトハ、此ノ法案ノ
後ニ來ルモノハ何デアリカ、サウ
シテ此ノ法案ハ如何ナル方向ヲ指
向シテ居ル所ノ過程ニアル暫定案
デアリカト云フコトヲ、明白ニシ
テ戴キタイト存スルノデアリマス

○和田國務大臣 御答ハ致シマ
ス、此ノ法案ガ暫定的デアルト申
シマシタコトハ、私モサウ御考ヘ
ナリマシタ、結構デアルト申シタノデ
アリマスガ、唯經濟安定本部ノ存
續期間ノ間クト云フノハ、多少ソ
コニ行キ違ヒガアルト思フノデア
リマス、ソレカラ經濟安定本部ノ
存續期間存續スルト云フノハ、此
ノ法案ノ中ニ盛ラレテ居リマス企
業許可ノ制度ハ、是ハ大體經濟安
定本部ノ存續期間位ヲ考ヘテ居
ル、斯ウ政府委員ハ答辯致シタ
ト思フノデアリマス、ト申シマス
ノハ企業ノ許可ニ付キマシテハ、
是ハ御承知ノヤウニ終戦後林産開
係カ可ナリ監視テ來タコトモゴザ
イマスシ、ソレカラ民主的ナ自治
的ナ統制ト云フコトヲ致シマス
ト、却テ企業ガ濫立スルト云フヤ
ウナ弊害ハ、一方ニ於テ今デハマ
ダ防ガ必要ガアルノデハナイカ、
斯ウ云フコトカラ企業許可ノ制度
グケハ、是ハ法文ノ何條ニナツテ
居リマスカ知リマセスガ、法律ノ
條文ノ中ノ制度グケハ、是ハ大體

經濟安定本部ノ存續期間位ヲ考ヘ
テ居ル、斯ウ申シタノデアリマ
ス、ソレカラ法案全體ニ付テノ林
業會ト云フモノヲ、森林組合ノ方
ト林産組合ノ方ト自主的ニ作ラセ
マシテ、林業ノ團體制度トシテノ
此ノ法案其ノモノガ暫定的デア
ルト申シマシタノハ、是ハハツ斯ウ
云フ兩者ノ協力ノ形デ、此ノ木材
ノ生産配給其ノ他ヲ自主的ニヤウ
テ行ク、斯ウ云フコトデアリマシ
テ、林業ニ關スル團體法ニ付テハ
恐ラク此ノ林業會ニ盛ラレタ團體
法ト云フモノヲ、略ミ主流ニシテ
ト云フカ之ヲ中心ニシテ、モウト
根本的ナモノガ考ヘラレル、ソレ
ガ出來次第我々トシテモ提案致シ
タイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルト
云フ意味デ暫定的タト申シタノデ
アリマス

ソレカラ此ノ法案ガ一體下チラ
ツ指向シテ居ルカト云フコトデア
リマスガ、此ノ法案ハ林業ニ關シ
マス團體ノ組織法デアリマスノ
デ、此ノ林業ノ團體ト云フモノニ
付テハハツ行キ方ヲ示シタノデ
アリマシテ、其ノ意味ニ於テ是ハ
非常ニ關係スル所ノ題イ林業會
ヲ、斯ウ云フ森林組合ノ系統ト、
ソレカラ林産組合ノ系統ト、此ノ
團體ノ相互ノ協力ニ依ツテ、ソレ
等ニ關スル生産、配給ノ面ヲヤツ

テ行ク、斯ウ云フコトデアリマシ
テ、一ツノ自主的ナモノノ處理ノ
仕方ト云フモノヲ是ハ一應目標ニ
致シテ居ルノデアリマス、大體サ
ウ云フ風ニ御考へ願ヒマス

○永井委員

只今ノ御答辯ニ依リ
マシテハ、此ノ法案ノ後ニ來ルモ
ノガドウ云フモノデアリカト云フ
コトヲ明確ニ綱ムコトガ出來ナイ
ノデアリマス、又大臣ハ先日同僚
委員ノ質問ニ對シマシテ「イズム」
ニ因ハレナイノダ、サウシテ唯現
實ニ即シテソレヲ處理シテ行クノ
デアアル、斯ウ云フ御答辯ガアツタ
ノデアリマス、吉田總理モ其ノヤ
ウナ答辯シテ居ラレルノデアアリ
マスガ、私モ「イズム」ニ因ハレ
ト云フ言葉ヲ以テスルナラバ是ハ
イケナイト思ヒマスガ、「イズム」
ニ因ハレルト云フ言葉ヲ以テスル
ナラバ是ハイケナイト思ヒマス
ガ、「イズム」ニ因ハレナイデ、少ク
モ「イズム」ノ上ニ立ツテ、サウシ
テ其ノ「イズム」ヲ現實的ニ如何ニ
之ヲ指導シテ行クカ、現實トドウ
云フ風ニ之ヲ結び合セテ行クカト
云フ立場ニ於テシツカリシタ、一ツ
ノ主義、方針ト云フモノヲ持ツテ
行クト云フコトガ、是ハ極メテ大
切ナコトデアリカト思フノデア
リマス、デアリマスカラ大臣ガド
ウ云フ一ツノ思想系列ノ方デア
カト云フコトニ依ツテ、現實ノ法
案ハ斯ウ云フモノデアアルガ、此
中ニ含まレテ居ル是等ノ方向ト云

フモノハ、大體コツチヘ動イテ行
クノデハナイカト云フ風ニ、現實
ニ立ツテ將來ノコトガ見透セルノ
デアリマス、所ガ「イズム」ニ因ハ
レナイノダ、「イズム」ノコトハ全
然考ヘナイノダ、サウシテ現實ニ
即シテ之ヲ處理シテ行クノダト云
フコトデアリマスナラバ、今日ハ
東ノ岸ニ流サレ、明日ハ西ノ岸ニ
流サレテ行キ、風ノ間ニ漂フ
ト云フヤウナコトニナリマス、一
體同ジ言葉デアリマシテモ、ソレ
ノ解釋ト運營ト云フコトガ大切ナ
ノデアリマシテ、サウ云フコトニ
於テ私ハ此ノ法案ノ内容ニ盛ラレ
テ居ルコトモ、ソレカラ大臣ガ此
ノ法案ニ對スル處理態度ニ於キマ
シテモ、運營ノ方針ニ於キマシテ
モ、「イズム」ニ因ハレナイデ其ノ
時々ノ狀況ニ應ジテ之ニ即應シテ
行クノダト云フコトニナリマス
ト、將來トウチノ方向ニ行クノタ
カ、非常ニ社會情勢ガ反動化シテ
來レバ、ソレニ追隨シテ行ク、進
歩的ナ大臣トシテ我々ハ認メテ居
ルノデアリマスガ、其ノ大臣ニシ
テ斯ウ云フヤウナ答辯デアリマシ
タラ、我々ハ承服スルト云フコト
ハ出來ナイノデアリマス、ソレデ
ハ大臣ハヤハリ「イズム」ニ因ハレ
イ現實主義デ、現實ニ即シテ其ノ
時々ノ考ヘデ之ヲ處理シテ行クト
云フ考ヘデアアルカ、色々高低ヤ
色々ナ過程ニ於テハ引込シタリ出
タリスルコトガアリマシテモ、其

○和田國務大臣

非常ニ厄介ナ問
題デアリマシテ、私ハ此ノ前「イ
ズム」ニ因ハレナイト申シマシタ
譯デアリマスガ、私ガ「イズム」
ニ因ハレナイト申シマシタノハ、
私ガ求メテ居ルモノハ一ツノ合理
性ナノデアリマス、現在ノ經濟社
會ニ於キマシテ、我々ガ今ニ番求
メナケレバナナイモノハ、此ノ
經濟社會ニ於ケル合理性グラウト
私ハ思ヒマス、ソレヲドウ云フ觀
點カラ把握スルカト云フコトハ、
是ハ其ノ人達ノソレモ「ノ思想ナ
リ何ナリ」ニ依ツテ決定サレルノデ
アリマスルガ、私ガヤハリ本法案
ニ於テ求メテ居ルモノモ、日本ノ
林業ニ於テ木材ノ生産、配給、統制
ト云フモノヲ貫ク一ツノ合理性ト
云フモノナノデアリマス、ソレヲ
ドウ云フ形ニ於テヤウテ行クカト
云フコトニナリマスルト、私ハ戰
時中ニ於テ行ハレマシタヤウナ形
ノ統制ト云フモノデアリマスルヨ
リモ、寧ロソレモ「ノ業者ガ作リ
マスル團體ノ協力ニ依ツテソレヲ
求メテ行ク、サウシテソレノ裏打
ヲ國方ヤウテ行ク、斯ウ云フコト
デナケレバナラヌト考ヘテ居ルノ
デアリマス、隨ヒマシテ一ツノ合

理性ヲ求メル以上、ソコニ或ル計
畫ガ伴フコトハ當然デアリマス、
隨テ此ノ林業會ニ於テヤリマス所
ノ自主的統制ニモ、具體的ナ條件
ヲ十分勘案シタ一ツノ計畫ト云フ
モノガ伴ツテ來ルト思フノデアリ
マス、其ノ計畫ヲ民主的ナ此ノ組
織ニ依ツテ行ツテ行ク、斯ウ云フ
コトニナルノダラウ、斯ウ思フノ
デアリマス、併シ之ニハ臨時物資
需給調整法デアリマスカ、近ク商
工省カラ出マス所「一ツノ裏打ガ
アルコトハ勿論デアリマスルガ、
ヤハリサウ云フタ形ノ具體的ナ條
件ヲ十分勘案シタ計畫ノ上ニ立ツ
テ、而モソレモ「ノ業者ガ自分ノ
自主的ナ意思デソレヲ統制シテ行
ク」ト云フコトデアリト、物事ハド
ウモ皆ク動カナイト思フノデアリ
マス、唯自主的々々々ト言ヒマシ
テモ、ソコニヤハリ合理的ナ計畫
ガアリ、求メルモノガシツカリシ
タ合理性ノアルモノデアリト、自
主的ナ統制ト云フモノモドウモ皆
ク行キマセヌノデ、ソコデヤハリ
自主的ナ斯ウ云フ團體ニ依ル統制
ト云フモノニハ、當然サウ云フヤ
ウナ一ツノ高い知性ニ依ル計畫ト
云フモノガ伴フグラウト考ヘテ居
ルノデアリマス、是等ノ點ニ付キ
マシテハ此ノ團體ガ出來マスル
ト、此ノ團體ヲ主ニシテサウ云フ
コトガ行ハレ、需給ノ調整ト云フ
モノガ行ハレテ來ルノデアリマシ
テ、之ヲヤリマス團體ノ組織ヲ書

○永井委員

合理的ニ考慮シマ
シテ、合理的ニ解決シテ行クト云
フコトニ付テハ同感デアリマス
ガ、之ヲ資本主義的ナ立場ニ於テ
合理化スルカ、社會主義的ナ立場
ニ於テ合理化スルカ、茲ニ客觀情
勢ニ對スル價值判斷ノ問題、ソコ
ニ色々ナ問題ガ起ツテ來ルト思フ
ノデアリマスガ、「イズム」ノ問題
ニ付テハ、此ノ場合餘リ論議スル
コトハ避ケマシテ、此ノ法案ハ勿
論此ノ林業會ノ民主化ヲ促進スル
モノデナケレバナラナイト考ヘテ
居ルノデアリマス、ソレハ過去ニ
於ケル反省ト今後ニ於ケル所ノ要
請ト、サウ云フモノヲ嚙ミ合シ
テ、サウシテソコニ現實的ナ妥當
性ヲ見出シテ行クモノデナケレバ
ナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス
ガ、大臣ハ我方國ノ林業界ニ歸
シテ居ル所ノ封建性、官僚性、ソ
レカラ企業ノ上ニ拔ケベカラザル
力トシテ作ラレテ居ル所ノ營利的
ナ、搾取的ナ現實ト現狀ト云フモ
ノニ對シテ、ドウ云フ認識ニ立
チ、サウシテ是等ヲ如何ニシテ此
ノ法案ノ運營ニ於テ拂拭シ、民主
化シテ行カウト云フヤウナ意圖ヲ
持ツテ居ラレカ、サウシテ此ノ

法案ノ何處ノ部分ニ此ノ要請ニ應
ヘル所ノ具體的ナ要綱ヲ盛ラレテ
居ルカ、之ヲ承リタイト思ヒマス

○和田國務大臣 此ノ法案ハ只今
御説明致シマシタヤウニ林業會法
デアリマスノデ、林業ノ自主的ナ

團體ノ機構ヲ規定シタモノデアリ
マシテ、御話ノヤウニ林業ノ各部
分ニ於ケル所ノ具體的ナ、アナタ

ノ仰シヤイマシタヤウナ諸施策ト
云フモノハ此ノ中ニ餘リ盛ラレテ
居リマセヌ、ソレハ林業會法ガ唯

其ノ目的ヲ達スル爲ニ行フ事業ニ
於テ其ノ片鱗ガ出テ居ルノデゴザ
イマスルガ、アナタノ仰シヤイマ

スルヤウニ、若シモソコニ封建的
ナモノガ存在シ、色々ナモノガ存
在シマスルナラバ、サウ云フモノ

ヲドウスルカ、斯ウ云フ點ニ付テ
ハ是ハ直接ニハ觸レテ居リマセ
ヌ、ソレハヤハリ林政ノ一部トシ

テ今後ヤルベキ事柄デアリマシ
テ、此ノ林業ノ改良發達、乃至林
產物ノ生産確保、配給ノ適正ヲ圖

ルト云フコトヲ目的トスル、ソレ
ヲ而モ自主的ニヤラセルト云フ團
體法ノ規定トシテハ、是ハ規定ハ

リマスルナラバ、之ヲ除去シテ行
クヤウニ、政策トシテハヤルベキ
デアリマシテ、林業會法自體ニソ

コマデ盛ルコトハ私ハ出來ナイト
思ウテ居リマス、又事實サウ云フ
コトハ規定致シテゴザイマセヌ

○永井委員 サウナツテ參リマス
ト、我方國ノ森林行政全般ニ互
綜合的ナ一ツノ方向ト云フモノヲ

決定付ケル爲ニ、林政一般ニ關ス
ル立法ト云フモノヲ新タニ考ヘ直
シテ行カナケレバナラナイノデハ

ナイカ、唯單ニ茲ニ森林法トカ、
或ハ森林資源造成法トカ、若干ノ
立法ガアルダケデアリマシテ、眞

ニ森林ノ公共性、又はカラノ要
請——國ノ資源ヲ涵養シテ行ク上
ニ於ケル所ノ森林ノ重要性ト云フ

モノヲ、本當ニ民主化シタ基盤ノ
上ニ之ヲ維持育成シテ行クト云フ
爲ニハ、是等一般ノ、色々ナ角度カ

ラノ立法ト云フモノヲ考ヘテ行カ
ナケレバナラナイト考ヘルノデア
リマスガ、是等ニ對スル御用意其

ノ他ニ付テ承リタイト思ヒマス
○和田國務大臣 是ハ林業ノ分野
ト云フモノヲ、一番下ノ森林所有

フ、其ノ森林ノ公共性ト云フ面ニ
付キマシテハ、森林ノ性質自體カ
ラ、昔カラ此ノ點ニ付テハ注意ヲ

サレテ居ルノデアリマシテ、今後
法制的ニモ纏マツタモノガ出來
ルト思フノデアリマス、唯ドウ云

フ範圍ノ事柄ヲアナタガ考ヘテ居
リマスカ、ソコガ的確デゴザイマ
セヌノデ、一寸明確ニ御答ヘ致シ

兼ネルノデアリマスガ、兎ニ角林
業ノソレノ、ノ分野ニ於テ、其ノ
經營ヲ合理化シテ行クト云フ點ニ

付テ、經濟的ナ面ニ付テハソレ相
當ニ今後ト雖モ問題ガ色々アリ得
ルト、私ハ斯様ニ考ヘルノデアリ

マス、森林資源ノ培養、造成ト云
フ點ニ付テハ、是ハ公共的ナ事柄
デアリマスルカラ、此ノ間モ申上

ゲマシタヤウニ、相當ノ豫算ヲ取
リマシテ、年々ノ繼續計畫トシテ
其ノ培養ヲヤツテ行カウ、斯ウ云

フヤウニ考ヘテ居リマス、唯山ノ
利用ト云フコトニ付キマシテノ色
色ナ問題ニ付テハ、複雑ナ各種ノ

關係ガ現ニ出テ居リマスシ、又サ
ウ云フコトガ存在シテ居リマスノ
デ、ソレ等ノ點ニ付テハ、例ヘバ

其體的二現實ヲ把握シマシタ上デ
適當ナ施策ヲ講ズルト云フコトニ
致ス考ヘデ居ル譯デアリマス

○永井委員 我々ガ此ノ法案ノ中
ニ盛ラレテ居ル趣旨ト云フモノヲ
ハツキリ掴ミマス爲ニハ、立法ノ

動機ガ何處ニアツタカト云フコト
ガ重要ナ一ツノ要素ニナルト思フ
ノデアリマスガ、此ノ法案ヲ立法

スルニ當リマシテ、私ノ知ツテ居
ル範圍ニ於テハ、農林省ハ積極的
ナ、自主的ナ發意カラ斯ウ云フモ

ノヲ作ルコトニ至ツタモノデヤナ
イ、農林省ハ從來ノ本統法、日本、
地木ノ統制ヲ妥當トシテ、之ヲ維

持シヨウト云フ態度デアル、ソレ
ガ六月二十二日デアリマシタカ、
「マ」司令部カラ斯ウ云フモノノ

解散ト木統法ノ廢止ノ指令ヲ受ケ
タ、ソレデ已ムヲ得ズ斯ウ云フモ
ノヲ作ルコトニシタ、隨テソコニ

ハ過去ノ統制ニ對スル嚴肅ナ反省
ト云フモノガ足リナイノデハナイ
カ、サウ云フコトノ一ツノ現ハレ

ントシマシテ、此ノ法案ノ中ニモ
アリマスヤウニ、今後ノ運營ニ重
大ナ關係ヲ持ツ所ノ、社團法人日

又日本ヲ商會社トシテ更生サセ
ル爲ニ農林省ハ特段ノ援助ヲ與ヘ
テ居ルト云フヤウナ所カラ見マス

ルト、從來ノ統制ガ其ノ儘運營ノ
實際ノ上ニ繼承サレテ來ルノデナ
イカト云フ心配ヲ持ツノデアリマ

スガ、實質的ニ是等ノ問題ガ一新
サレルト云フコトガナケレバナラ
ヌト思フノデアリマス、是等ニ對

シテ御所見ヲ承リタイト思ヒマス
○和田國務大臣 農林省ノ此ノ案
ニ對シマスル態度ガ自主的デナカ

ッタト云フ御話デゴザイマスル
ガ、ソレハ實ハ必ズシモサウデハ
ナイノデアリマス、成程日本、地

木ト云フモノニ付キマシテハ、色
色從來ノ非難モアリマスルシ、農
林省トシマシテモ、之ニ付テハ十

分ナル檢討ヲ致シテ居ツタノデア
リマシテ、殊ニ山林局ト致シマシ
テハ林業對策委員會デアリマス

カ、委員會ヲ作りマシテ、色々林
業ノ團體、又林業ニ關シマスル統
制ノ方式等ニ付キマシテハ是ハ實

ハ研究ヲ致シテ實ツテ居ツタ譯デ
アリマスシ、又農林省自身トシテ
モ致シテ居ツタノデアリマス、統
制方式ガ從來ノ日本社、地木社ト

ヲナカツタ時代ニ出來マシタモノ
ガ、其ノ繼ノ形ニ終戦後ノ時代ニ
適スルトハ考ヘラレナイノデアリ
マシテ

〔委員長退席、水口委員長代
理着席〕

勿論戦争ガ止ミマシテモ、日本
ノ經濟ト云フモノノ條件ガソレニ
依ツテ非常ニ好クナツツ譯デハナ
イ、或ル部分ニ於テハ益ミ窮屈ニ
ナツテ來テ居ルノデアリマスカ
ラ、何等カノ形ニ於ケル統制ト云
フモノハ必要ダト思フノデアリマ
ス、其ノ點ニ付テハ恐ラク是ハ御
議論ノナイ所ダト思フノデアリマ
ス、唯其ノヤリ方ヲドウ云フコト
ニヤツテ行カト云フコトニ付キ
マシテハ、ヤハリ或ル部分ハ私ハ
過去ノ統制ヲ批判シ、分析スルト
同時ニ、過去ノ統制ニ於ケル統制
方式カラノ經驗ト云フモノヲヤハ
リ活用シテ行クノガ、番良イト思
フノデアリマス、戦争中ト云フ
ツノ條件ハアツタニシマシテモ、
統制經濟ヲ行ツテ來タ其ノ人類ノ
經驗ハ、是ハ私ハ善イニシロ惡イ
ニシロ、輕々ニ唯放擲シテシマフ
ノハドウカト思フノデアリマス、
殊ニ經濟ト云フモノハサウ斷層ガ
アルモノデハナクシテ、大キナ戰
争ト云フ條件ハ缺ケタニシテモ、
ソコニ實際ノ經濟ノ循環ト云フ
モノハ或ル程度連續シテ行ツテ居
ル、斯ウ云フコトヲ考ヘマス、
統制ノヤリ方ト云フモノニ付テ

ハ、過去ノ經驗ヲ十分活カシテ、
之ヲ民主的ナモノニシテ行クト云
フ、サウ云フ立場ニ立ツテ問題ヲ
考ヘルベキダト、斯ウ思ツテ居ル
ノデアリマシテ、此ノ林業會モ實
ハ此ノ法案自體ヲ十分満足シテ居
ルト云フコトハ或ハ言ヘナイカモ
知レマセヌガ、根本ノ考ヘ方ハサ
ウ云フ考ヘ方デ居ルノデアリマシ
テ、此ノ林業會ノ組織ニ依ツテ、
實ハ差當ツテハ是デヤツテ行ケ
ル、斯ウ考ヘタ譯デアリマス、ソレ
カラモウ一ツ私ハ斯ウ云フ非常ニ
自主的ナ統制ヲヤル上ニ於テ期待
シテ居タイコトハ、是ハ自主的ナ
統制ト云フコトニナルト、色々ナ
點ニ付テ寧ろ民間ノ方ガ表面ニ出
テ來ルコトニナルノデアリマス、
サウスルトヤハリ民間ノ人達ガ
相當ニシツカリシテ之ヲヤツテ行
キマセスト巧ク行カナイコトニナ
ルノデゴザイマシテ、民間統制ニ
ナツタガ故ニ、又從來ノヤウナ官
僚統制ノ弊ヨリモモツト惡イ事ヲ
モウ一遍繰返スト云フコトデアツ
テハナラナイノデアリマス、デ、
ヤハリ斯ウ云フヤウナ一ツノ組織
トシテ民間統制ノモノガ與ヘラレ
マシタ場合ニハ、此ノ組織ヲ作ツ
テヤツテ行カレル方々ハ、今度ハ
サウ云フ自主的ナ立場ニ立タレマ
シテ、一パツシヴ「カラ寧ろ」ア
クテイヴ「ノ面ニ立タレテ、ソコヲ
巧ク運營シテ行クヤウニ、實ハオ
五ヒニ協力シテヤツテ戴キタイノ

デアリマシテ、此ノ中ニ日本林業
會ト云フモノガアツテ、其ノ財産
ヲ繼承スルト云フ點ガ、如何ニモ
戰時中ニ於ケル統制ヲ脱却シテ居
ナイ、斯ウ云フ臭ヒガアルノデハ
ナイカト云フ次ノ御尋ネデゴザイ
マスガ、實ハソレハサウ御考ヘ下
サラズニ、日本林業會ト今度出來
ルモノトハ、是ハ本質的ニ違フノ
ダ、併シ從來アツタモノニソコニ
財産ガアルノデ、ソレヲ今度新シ
ク出來ル質的ニ違ツタモノガソレ
ヲ繼承シテ、實際上ノ事務ノ運營
ナリ何ナリニ支障ノナイヤウニシ
テ行クノダ、ソコニ出來ルダケ凡
ユル面ニ於テ斷層ヲ作ラナイヤウ
ニヤツテ行ク趣旨ダ、寧ろ斯ウ云
フヤウニ御解釋ヲ御願ヒ致シタイ
ノデアリマシテ、我々トシマシテ
ハ斯ウ云フ條項ヲ置カカト云ツ
テ、過去ノ統制方式ニ纏綿トシテ
居ル譯デハ毛頭ナイノデアリマ
ス、ドウカ共ノ點ハ一ツ御諒解願
ヒタイト思ヒマス

○永井委員 委員長カラ大臣ニ御
尋ネ願ヒタイノデアリマスガ、私
ハ出來ルダケ大臣ノ身體ノ御都合
ヲ聞イテ、大臣ニ對スル質問ヲ重
點的ニシタイト思フノデアリマス
ガ、ドノ位ノ時間ガ御差支ヘナイ
ノカ：

○水口委員長代理 大臣ハ午前中
ハ一寸都合ガ惡イサウデスガ、午
後ハ出ラレルサウデス

○和田國務大臣 モウ暫ク宜シウ

ゴザイマス

○永井委員 ソレデハ大體主要ナ
所ケケ點ニ御尋ネシテ答辯願ヒ
タイト思ヒマス、此ノ林業會法ニ
於テ私事務ノ問題ニモツト徹底的
ニ大臣ニ御伺ヒシタイト思ツテ居
リマスガ、ソレハ飛バンシテ、今内
務省カラ總務課長ガ見エテ居リマ
スノデ、ソレトノ關聯事項ニ付テ
一ツ御尋ネシタイノデスガ、此ノ
森林行政ヲドウ云フ風ニ今後ヤツ
テ行ク御考ヘカ、御料林ナンカモ
勿論國有林ニ人ツテ來ル譯デアリ
マスガ、其ノ中デ北海道ノ林政ヲ
農林省トシテハドウ云フ風ニ考ヘ
テ居ルノデアアルカ、ソレヲ伺ヒタ
イト思ヒマス

○和田國務大臣 是ハ林政ノミナ
ラズ、例ヘバ開拓デアリマス、ト
カ、中央カラズツト一貫シテヤツ
テ行クコトヲ非常ニ必要トサレル
行政ガ多クアル譯デアリマス、從
來兎ニ角北海道ガ日本ノ國ニアリ
ナガラ、恰モ獨立國デ、兎角別箇
ノ天地デアルヤウニ考ヘラレテ來
タ考ヘ方ハ、私トシテハ棄テナケ
レバナラスト思ヒマス、殊ニ日本
ノ領土ガ斯ウ云フヤウニ狭クナツ
タ時ニ於テハ、ヤハリ行政トシテ
ハ何處マデモ統一シテヤル方ガ實
際上治績ガ舉ガルシ、又統一シテ
ヤラナケレバナラヌモノニ付テ
ハ、是ハ大所高所ニ立ツテ、役所
ノ一セクシヨナリズムハ棄テ、
ドウシテモ統一シテ行カナケレバ

ナラス、私ハ強クサウ考ヘテ居リ
マス、此ノ點ニ付テハ今度ノ地方
制度ノ改正デアリマス、トカ、其ノ
他色々ノ地方ノ行政機構モ實ハ變
ツテ來ルノデアリマスガ、サウ云
フ觀點カラシマシテモ、是ハ是非
十分關係當局ト話合ヲ致シマシ
テ、此ノ日本ノ少イ資源ヲ最有效
度ニ國ノ爲ニ開發シテ行ク、又之
ヲ保全シテ行クト云フ點カラ言ヒ
マシテ、其ノ點ニ付テハ本當ニ統
制ノアル行政ガヤレルヤウナ方向
ニ、私トシテハ是非トモ努力シタ
イト思フノデアリマス、勿論ソレ
ニ付キマシテハ、關係方面ト色々
話合ツテ、現在ニ於テモ能ク連絡
ヲ取ツテ居リマスガ、尙ホ一層之
ニ付テハモウ少シ大キナ見地ニ立
ツテヤルノガ宜イダラウト、實ハ
私ハ考ヘテ居ル次第デゴザイマシ
テ、是等ノ點ニ付キマシテハ、日
本ノ此ノ長イ將來ヲ考ヘマス、
出來ルダケ行政ノ面ニ付テモ合理
的ナ政策ガ行ヒ得マスヤウニ、從
來ノ色々サウ云フ點ニ付テノ缺
點ヲ是非脱却シテ行キタイ、斯ウ
考ヘテ居ル次第デアリマス、私ハ
大體左様ニ考ヘテ行政ヲヤツテ行
キタイト思ツテ居リマス

○永井委員 私モ北海道ダケガ
獨立國家ノヤウナ形ニナルコトヲ
勿論希望スルモノデハアリマセヌ
シ、北海道行政ノ今後ニ於ケルア
リ方ニ付テハ再檢討ヲ要スル段階
ニ來テ居ルト云フコトヲ考ヘルノ

デアリマス、併シナガラソレハ何處マデモ國政全般ニ互ツテノ綜合的ナ見地カラノ北海道トシテ考ヘテ行カナレバナラヌノデアリマツテ、從來ハ是等ノ問題ハ拓計ニ於テ之ヲ運籌シテ來タノデアリマツガ、今拓計ノ豫算ノ編成期ニ入ツテ居ルノデアリマツガ、道廳ノ林政部ハ拓計ノ方ノ明年度ノ豫算ノ編成ヲ出シテ來ナイ、サウシテハ農林省ト直接ノ話合ニ於テ運シテ行クノデアリト云ツテ、道廳ノ方ニ其ノ豫算ヲ出シテ來ナイト云フコトヲ私ハ聞イテ居ルノデアリマスガ勿論官廳間ノ「セクト」的ナ考ヘ方ト云フモノハ拂拭シテ行カナレバナリマセヌシ、サウ云フ風ニ變ツタナラ變ツタトシテ、國政ノ上デハウキリト變ツテカラ其ノ實體ガ動イテ行カナレバナラヌノデアリマツテ、國ノ方針ハ從來ト變ツテ居ラナイ、拓計モ第二拓計ハ變ツテ新シイ拓計ニ入ツテ行カナレバナラヌ、ソレガ一ツノドウ云フ性格ニ行カト云フコトハマダ決マツテ居ナイノデアリマツ、デアリマツカラ、從來ノ關係ガ繼續シテ居ルニ拘ラズ、道廳ノ林政部ハ拓計ヲ通サナイデ、農林省ト直接ニ此ノ豫算ヲ解決シヨウトシテ居ル、林政部長ハ本省カラ差向ケラレタモノデアリノデ、私ハ本省ノ意ヲ含ンデサウ云フ開拓計畫ヲ現地カラ既成事實トシテ作ツテ行ツテ、之ヲ押付ケルト云フ

ヤウナ一ツノ作戰ヲ取ツテ居ルデハナイカト云フコトマデ考ヘテ居ルノデアリマツガ、サウ云フ一ツノ心配ガアル、ソレカラモウ一ツ北海道ノ關係デ申シマスト、此ノ開拓ガドウ云フ風ニナルカト云フコトガ一ツノ大キナ問題デアリマツ、御承知ノ通り自作農創設ニ依リマシテ、民有未墾地ハ總テ農林省ガ買上ゲルコトニナツテ、農地證券ヲ發行スルノデアリマツガ、其ノ爲ニ國有未開地トカ官有地、或ハ御料地、舊軍用地ト云フモノ一切ガ農林省ノ手ニ入ルノデアリマス、從來道長官ノ專決處分デアリツタ國有未開地處分ナドモ全部農林省ニ委ツテシマフノデアリマシテ、地方ノ綜合行政ト云フモノガ、開拓農地ノ面カラモ崩レテ來テ居リマス、林政部モ亦崩レテ行ク、斯ウ云フコトニナリマスト、此ノ地方ノ綜合行政ノ事務ヲ今後ドウ云フ風ニヤツテ行カ、中央集權的ニヤルノカ、地方行政ヲ強化スル立場デ行カト云フ國策ガ決マラナイ中ニ、現地ノ長官ガ斯ウ云フ風ニ動イテ行ツテ居ルト云フコトハ重大ナ問題ダト思フノデアリマツガ、是等ニ對シテノ大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○和田國務大臣 今述べラレマシタ北海道ノ林政ノ細カイコトハ私ハ能ク存ジマセヌガ、私ハ是ハ將來中央集權的ニヤルベキ部分トサウデナイ部分ガ自ツト出テ來ルト思フノデアリマス、例ヘバ開拓トカサウ云ツタモノハ、是ハヤハリ中央統一アル方針ノ下ニ行ヒマシテ、ソレニ從ツテ地方ガヤツテ行ク、斯ウ云フコトデアツテ、地方ガテンム「バラ／＼」ニヤラレテハ、是ハ敵ハヌノデアリマス、隨ヒマシテサウ云フ大キナモノニ付テハ、ヤハリ中央ノ統一シタ方針ニ從ツテ、具體的ニ地方デ其ノ旨ヲ受ケテヤツテ行ク、斯ウ云フコトデアリマセヌト、實際上ノ行政ハ出來ニクイト思ヒマス、況シテ地方ニ分權致シマスレバ、經濟ノ面ニ於テハ出來ルダケ全國ガ一ツニナツテ動クヤウナ方向ニ持ツテ行キマシテ、出來ルダケ地方ノ所謂惡イ意味ノ「ブロック」主義ト云フモノハサウ云フ面カラモ本當ニ打破シテ行カナレバナラナイ時デアリマツノデ、私トシテハサウ云ツタモノハヤハリ中央ノ統一アル方針ニ從ツテ行ツテ行ク、サウシテ地方ノ分權ト云フモノモ非常ニ必要デアリマツガ、地方々々ニ於テハ大キナ方針ノ下デソレゾレノ特色ヲ活カシテ地方ノ行政ト云フモノヲ旨ク運籌シテ行ク、斯ウ云フ風ニ進ムノガ私ハ理想ダト思ツテ居ルノデアリマシテ、總テガバラ／＼ニナツテシマフト云フノデハドウカト考ヘテ居リマス

○永井委員 内務當局ニ御尋ネ致スノデアリマツガ、内務大臣ハ豫算總會ニ於テ次期拓計調査會ヲ設ケルト云フコトヲ答辯シテ居ルノデアリマツガ、此ノ拓計調査會ト云フノハ官制デアルノカ、閣議決定デアルノカ伺ヒタイ

○吉岡説明員 只今閣議決定デヤリタイ積リデ話ヲ進メテ居リマス

○永井委員 先程來ノ北海道ニ於ケル開拓部ノ問題、林政部ノ問題ニ對スル内務省當局ノ所見ヲ承リタイノデアリマス

○吉岡説明員 開拓部並ニ林政部ノ問題ニ付テ御話ガゴザイマシタガ、或ハ農林大臣ノ御答辯ト多少食違フ點ガアルカモ存ジマセヌ、私共事務當局ト致シマシテハ、林政ニ致シマシテモ其ノ他土木ノ問題ニ致シマシテモ、ヤハリ綜合的ニ考ヘ、勿論其ノ場合北海道ダケノ立場カラデナク、國全體ノ要求ヲ容レマシテ、綜合的ニ考ヘテ施策實行シテ行クコトガ必要ダト考ヘマスノデ、拓計等モ從來ト同ジヤウナ意味ニ於テ繼續ラシテ、總テノ問題ヲ綜合的ニ立案ラシテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○永井委員 我々ハ之ヲ内務省ト農林省トノ「セクト」的ナ一ツノ繩張爭ヒデアルト云フ風ナ考ヘ方デハナシニ、モウト純粹ナ立場ニ立ツテ、地方ノ行政ト云フモノガドウ云フ風ナ形デ行ツタナラバ、本當ニ現地ノ實情ガ具體的ニ昂揚サレテ行カト云フ立場デ考ヘテ行カナレバナラヌト思ヒマス、例ヘバ現在ノ此ノ間豫算決定シマシタ六十億ノ豫算ノ消化ノ問題ニ付キマシテモ、閣議デハ之ヲ決定シテソレ／＼豫算ヲ立テタノデアリマツガ、聞ク所ニ依リマスト、G・H・Qデハサウ云フ閣議ナシカハ問題デハナイ、現地デドウ云フ風ナ具體的ナ計畫ガアルノカ、現地カラ盛リ上ゲタ所ノ豫算ヲ持ツテ來イ、中央本省地方ノ實情ガ分ラナイデ、紙ノ上ニ唯數字ヲ書イタダケノモノデアリカヌト云フノデ、六十億ノ豫算ノ編成替ニ今日ヲ廻シテ居ルト云フヤウナコトヲ聞イテ居ルノデアリマツガ、其ノヤウニ如何ニ中央ガ一ツノ權限ヲ持ツテ「ペーパー・プラシ」ヲ立テマシテモ、ソレガ現地ニ行ツテ其ノ通りニ動カナイト云フコトデアツテハイカナイ、ドウシテモ現地カラ盛リ上ツテ來タ所ノ計畫ト云フモノガ全國的ニ綜合サレテ、サウシテ地方ト現實ニ動ク所ノ地方行政トガ有機的、綜合的ニ是ガ運ブト云フ風ナ形ガ出來テ行カナレバナラヌト考ヘルノデアリマス、例ヘバ林政ナラ林政、開拓ナラ開拓ト云フモノガ獨立シテ行ハレルモノデハナイノデアリマシテ、例ヘバ林政ノ關係カラ言ヒマスト、事業場ト云フモノハ毎年場所ガ變リマス、農林省ノ所管ニ於テ林道ハ出來マスケレドモ、林道カラ輸送シテ來テソレカラ驛マデ運ビ付ケル所ノ道路ハ、内務省ノ所管ニアルノデアリマシ

テ、内務省ノ道路ノ計畫ト獨立シテ素材ト云フヤウナモノハ運ベナ
イ、農林省ハ農林省デ計畫ヲ立テ
ル、内務省ハ内務省デ道路網ヲ計
畫ヲ立テ行ク、是ガ「マツチ」
シナカウナラバ、木材ト云フモ
ノハ出テ來ナイノデアリマス、デ
アリマスカラドウシテモ地方ニ於
テ、例ヘバ開拓ノ場合ニ於キマシ
テモ何處ノ澤ヲ開拓スル、サウシ
テ開拓スルナラ道路モ通信モ電話
モ鐵道モ一切ノモノガ綜合的ニ地
方ノニ動ク、斯ウ云フ形ガ出來テ
行カナケレバナラナイト私ハ考ヘ
テ居ルノデアリマス、唯其ノ場合
農林省ノ所轄ニアルベキ林政開拓
ト云フモノヲ農林大臣ガ少シモ知
ラヌ、サウシテ内務省ノ所管ニ於
テ、北海道ハ北海道デ動イテ居
ル、斯ウ云フコトデハイケナイト
思ヒマスノデ其ノ關係ニ於テハ企
畫ハ本省デ持ツ、サウシテ地方ノ
實際のナ行政ハ地方廳デヤルト云
フコトデナケレバナリマセヌ、斯
ウ云フ事柄ハ單ニ北海道ダケノ問
題デナクテ、地方長官會議毎ニ地
方ノ行政ノ綜合的ノ運営ト云フコ
トガ常ニ地方長官カラ要望サレテ
居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデ
アリマス、又私ハ此ノ場合見逃シ
テナラヌコトハ、地方長官ガ公選
サレルトコトニナツタ、サウシテ官
吏ト云フノハ暫定的ノ身分デアツ
テ職デ是ガ公吏ニナル、斯ウ云フ
關係カラ致シマシテ、農林省バカ

リデナク、内務省ニ於キマシテ
モ、地方廳ハ地方ニ於ケル固有
事務ダケヲヤツテ行クノダ、サウシ
テ國政事務ハ段々本省ニ引上ゲテ
來ル、是モ本省デヤツタ方宜イ
ノダ、アレモ本省デヤツタ方宜イ
ノダト云フ風ニ、サウ云フ仕事
ヲドンノ本省ニ引上ゲテ來ル傾
向ガ、漸次顯著ニナツテ來ツ、ア
ルコトハ私ハ見逃セナイコトデア
ルト思フ、斯ウ云フコトハ官僚ノ
溫存ノ圖ル所ノ一ツノ具體的ナ現
ハレデアルトシテ注視シテ居ル譯
デアリマスガ、斯ウ云フ事柄ニ對
シテドウシテモ地方行政ハ綜合的
ニヤツテ行カネバナラヌト考ヘマ
スガ、是等ニ對スル農林當局ト内
務當局ノ所見ヲ承リタイ
○和田國務大臣 是ハ地方制度ガ
ドウ云フ形ニナルカニ依ツテ相當
變ツテ來ルト思フノデ、マダハツ
キリシタ御答ヘハ本當ハ致シ兼ネ
ルト思フノデアリマス、成程仰シ
ヤルヤウナ地方分權ニ於ケル綜合
性ト云フモノハ、私ハヤハリ相當
行政ノ上デ考ヘテ行カネバナラヌ
ト思フ、唯地方分權ニ於ケル綜合
性ヲ強調スル餘リ、國全體トシテ
ノ綜合性ヲ忘レテ來ルト、是モ困
ツタモノニナルト思フノデアリマ
シテ、ソレ等ノ點ニ付テ、地方制
度ヲドウヤツテ行カ、又具體的
ニ各分野ニ依ツテドウ云フ風ニス
ルカト云フコトデ餘程違ツテ參リ
マスノデ、甚ダ殘念デアリマスガ

具體的ニ御答ヘ致シ兼ネルノデア
リマス、アナタノ仰シヤイマスヤ
ウナ點ハ今後ノ問題トシテ相當殘
ルト思ヒマス、ドノ程度ヲ中央集
權のニ一貫シテヤルカ、又ドノ程
度ヲ地方ノ綜合性ノ立場カラ之ヲ
大キナ方針ニ從ツテ而モ綜合的ニ
調整シテヤツテ行カ、ソレ等ノ
點ニ付テハ今後ノ大キナ問題トシ
テ、我々トシテモ十分検討シテ行
キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス
○吉岡閣員 只今ノ地方行政ノ
綜合的ノ問題ニ付テノ御意見、私
非常ニ贊成デゴザイマス、勿論地
方ノ綜合性ヲ強調致シマス場合
ニ、各方面カラ見マシタ檢討ガ足
リナイト云フ點ガアラウカト思ヒ
マス、サウ云フ點ハヤハリ中央ニ
於テ能ク連絡ヲ執ツテヤツテ行ケ
マス問題ト考ヘル譯デアリマス、
只今ノ御意見ハ非常ニ贊成致シ
マス
○永井委員 内務當局ヘノ御尋ネ
ハ是ダケデアリマス、次ニ農林
大臣ニ聽イテ置キタイト思フノ
デアリマスガ、ソレハ此ノ林業會
法ノ後ニ來ルベキモノハ、ドウシ
テモ森林ノ國家管理ノ方向ニ向ツ
テ行カネバナラナイノデハナイカ
ト云フ考ヘヲ持ツノデアリマシ
テ、其ノ立場カラ御尋ネ致シタイ
ノデアリマスガ、例ヘバ農耕地ニ
於キマシテハ、農地調整法ガ出來
マシテ、サウシテア、云フヤウナ
進歩的ナ方法ニ依ツテ農村ノ封建

制ヲ拂拭スル、地主的ナ性格ヲ拂
拭スルト云フコトニ運シテ置キナ
ガラ、山林ノ部面ニ於テハ放ツタ
ラカシニシテ、農地調整法ガ出來
マシタ爲ニ、サウ云フ地主ノ資
本、或ハ事業家ノ資本ト云フモノ
ガ相當山林ノ中ニ入ツテ來テ居
ル、大キナ山林ヲ營利的ナ目的デ
買取ツテ運營シヨウト云フ傾向ガ
顯著ニ出來テ來テ居ルノデアリマ
ス、數字ニ依ツテ明カデアリマス
ヤウニ、二十町歩以上ノ所有者ハ
六萬二千人デアツテ、此ノ面積ガ
實ニ三百九十八萬町歩、四百萬町
歩ニ近い面積ヲ占メテ居ルノデア
リマス、二十町歩以下ノ所有者ハ
三十三萬人デアツテ、其ノ面積ハ
二十町歩以上ノ面積ノ倍位ナ七百
五十一萬町歩ニ過ギナイノデアリ
マス、人數ハ百倍以上アツテ、面
積ハ倍デアルト云フヤウナコトカ
ラ申シマシテモ、如何ニ山林ガ大
キナ資本ト大キナ所有者ニ依ツテ
營利的ニ運營サレテ居ルカラ示シ
テ居ルト云フコトガ、此ノ事實カ
ラモ分ルノデアリマスガ、農林大
臣ハ農地調整ハ耕地ノ問題ダケ
ダ、山林ハ何時マデモ放ツタラカ
シテ置イテ宜シイト云フ御考ヘデ
アルノカ、近キ將來ニ於テ是等ノ
問題ニモ手ヲ觸レテ行ク御考ヘデ
アルカ、此ノ點ヲ承リタイノデア
アリマス
○和田國務大臣 農地ノ方ニ於キ

マシテモ、土地ノ所有ト云フ點ニ
於キマシテハ、今回ハ在村地主一
町歩ト云フコトデ非常ニ制限ハ致
シタノデアリマスルガ、經營ノ面
ニ於キマシテハ、自分ガ自分ノ土
地ヲ持チ、之ヲ經營致シテ行キマ
スル面ニ於キマシテハ、原則トシ
テハ制限致シテ居ナイノデアリマ
ス、隨ヒマシテ或ル程度大キナ經
營ト云フモノノ存續、而モ其ノ經
營ガ非常ニ生産力ガ高イ、又對來
ノ日本ノ農業ガ典型的ナ小農國ニ
踰越スルコトナク、中ニハソコニ
科學ノ發達ニ從ツテ、又技術ノ進
歩ニ從ツテ、一ツノ經營的ナ進歩
ヲシテ行ク餘地ヲ取ツテ置クコト
ハ非常ニ必要デアリマシテ、是ハ
或ル程度ノ大キナ經營ノ存在ト、
「アモクラシ」トハ、私ハ立派
ニ兩立スルト考ヘテ居ルノデアリ
マス、山林ニ於キマシテハ之ヲ小
サナ土地所有ニ分割致シマスルコ
トハ、山林其ノモノノ持チマス
ル、農地ト違ツタ公共的ナ性質、
治山治水其ノ他カウ言ヒマシテ私
ハ適當デアナイト思ヒマス、山林ノ
所有形態ハ何處ノ國ヲ見マシテ
モ、小所有ニ寧ろ分割スルモノデ
ナクシテ、大所有、或ハ國家ト
カ、其ノ他ノ大キナモノガ持ツ
テ、之ヲ一方ニ於テハ公共的ナ見
地カラ管理シテ、一方カラハ國土
ノ保持ト云フコトニ努メテ居ルノ
デアリマシテ、山林ニ付キマシテ
ハ私ハ今直チニ農地ノヤウナコト

ヲヤルコトハ考ヘテ居リマセヌ、唯山林ニ於キマシテモ、其ノ經營ノ面ニ於キマシテハ、是ガ公ノ見地カラ或ル程度ノコトハ現在ト雖モ致シテ居ルノデアリマス、ト申シマスノハ、民有林ニ付キマシテモ施業案ヲ編成スルコトヲ致サセテ居ルノデアリマシテ、此ノ山林ノ所有ガ無計畫ニ、又無暗ニ之ヲ濫伐スルヤウナコトハ避ケマシテ、國土ノ改善ト治山、治水ト云フヤウナ點カラ、サウ云ツタ計畫性ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ多少考ヘテ異ニシテ考ヘナケレバナライノハ、私ガ本議會ニ於テモ申シマシタヤウニ里山デアリマス、是ハ農業ト密接ニ結付イテ居リマシテ、日本ノ農村ト云フモノハヤハリ山ヲ離レテハ考ヘラレナイモノガ大部分デゴザイマスノデ、是等ノモノニ付キマシテハ、地元民ノ生活——薪炭、採草、其ノ他ノ農業經營ノミナラズ、農民自身ノ生活ト云フ面カラ、其ノ山ノ經營ト云フコトモヤハリ考ヘル必要ガアルノデアリマシテ、ソレ等ノモノニ付キマシテハ、ヤハリサウ云ツタ立場カラ山林ニ付テノ問題ハ處理シテ行キタイト考ヘテ居リマス、差當ツテ未墾地ノ開發ニ付キマシテハ、今回總テ御審議願ヒマスル農地調整法ニ於キマシテ、ソレ等ノ點ヲ十分考慮シマシタ規定ヲ置キマシテ、今日ノ開拓ガ農民ノ生活ニ即シテ、又經營

ニ即シテ行キマスルヤウナ事柄ヲ規定致シテ居ル譯デアリマス、森林ニ付キマシテ今直チニ農地ト同ジヤウナ方式ニ於ケル國家管理ヲヤルト云フトハ却テ不合理デアリ、又効果モナク、森林自體ノ生産力ハ寧ロ低下スルコトニナリマスルノデ、只今ノ所ハアナタノ仰シヤイマスヤウナ事柄ハ私トシテハ考ヘテ居リマセヌ

○永井委員 森林ハ公共性デアルト云フコトヲ一方ニ認メテ居ル、サウシテ此ノ森林ノ立ツテ居ル山林ト云フモノハ、之ヲ個人ノ所有ニ放任シテ居ル、サウシテ資本ノ必然ノ性質トシテハ、是ガ營利的ニ動イテ行クコトハ必然デアリマシテ、是ハ否定スルコトハ出來ナシ、山林ノ所有者ト、森林ノ經營ノ公共性ト云フモノ、相矛盾スル性質ノモノヲソコニ立ツテ置イテサウシテ森林ノ公共性ヲ強調シ、林野ノ急速ナル綠化ヲ圖ルコトハ、是ハ本ニ依ツテ魚ヲ求ムル如キモノデアツテ、決シテ是ハ目的ヲ達スルコトハ出來ヌト私ハ思フノデアリマス、私ハ森林ノ所有ヲ個人ニ任シテ置イテ、サウシテ其ノ所有者ガ自然ノ値上リヲ待ツト云フヤウナ態度ヲ放任シテ置ケルヤウナ日本ノ國情デアリマスルナラバ、ソレモ姑ク宜シイト考ヘルノデアリマスガ、今日ハ森林資源ノ關係カラ申シマシテモ、殊ニ利用度ノ高イ私有林ニ於キマシテハ、之ヲ急速ニ綠化シナケレバナ

ハ、之ヲ急速ニ綠化シナケレバナライノデアリマス、之ヲ急速ニ綠化致スト致シマスルナラバ、是ハドウシテモ勞働階級ノ挺身ニ俟タナケレバナライノコトデアリマス、勞働階級ノ挺身ノ部面ニ於テハ、森林ハ國家ノ公共性デアルト云フコトデ挺身サセル、サウシテ此ノ勞働階級ニ挺身サセテ結果ガ、ソレヲ所有シテ居ル所ノ資本家ノ利益ノ擲取ヲ助長スル所ノ結果ニナルノダ

〔水口委員長代理退席、委員長着席〕
斯ウ云フコトデアツテハ、私ハ決シテ爲政者ノ執ルベキ態度デハナイ、私ハ斯様ニ考ヘルノデアリマス、隨テ森林ノ公共性ヲ本當ニ之ヲ強調シ、此ノ綠化ヲ急速ニ圖ラナケレバナライノコト云フ要請ゾ一方ニ考ヘテ參リマスルナラバ、ドウシテモ林野ノ營利的ナ資本支配ノ排除ト云フコトハ根本的ニ之ヲ考ヘテ、サウシテ勞働階級ノ特段ニ挺身ニ依ツテ之ヲ急速ニ圖リ、又植林ノ面ニ於キマシテモ、或ハ造林ノ面ニ於キマシテモ、現在ノ技術ノ段階デハイケナイノデアリマシテ、之ヲ個々ノ小サナ業者ノ技術ノ向上ニ俟ツト云フコトダケデハイケナイノデゴザイマシテ、國家的ノ規模ニ於ケル所ノ技術ノ向上ヲ圖ツテ行カナケレバナライト思フノデアリマス、何レノ點カラ考ヘマシテモ、眞ニ森林ノ公共性ト云フコトヲ重點的ニ考ヘマ

スナラバ、ドウシテモ國家管理ニ進ンデ行クヨリ外ニ進ンデ行ク途ハナイト私ハ考ヘルノデアリマス、大臣ハ是等ノ矛盾ヲドウ云フ風ニ考ヘテ居ルノカ、サウシテ又急速ナル綠化ト云フモノヲ所有者ノ營利的ナ經營ニ放任シテ置イテ、急速ニ是等ノ綠化ガ出來ルト考ヘルノカ、或ハ此ノ林業界ニ於ケル所ノ技術ノ向上ト云フモノヲ個々ノ業者ニ放任シテ置イテ宜シイノカ、國家的ノ規模ニ於テ之ヲ取上

ゲル考ヘハナイノカ、是等ノ點ニ付テ御尋ね致シマス

○和田國務大臣 御答ヘ致シマスガ、林業ノ技術ノ點ニ付キマシテハ、是ハ國ト致シマシテ御承知ノヤウニ相當ナ力ヲ入レテ居ルノデアリマシテ、林業試驗場其ノ他ノ色々ナ試驗場ヲ今後ト雖モ十分活用シマシテ、國家的ニ技術ノ増進ヲ圖ツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、森林ノ國家管理ト云フ此ノ國家管理ノ内容デアリマスルガ、是ガ具體的デアリマセヌノデ御答ヘ致シ兼ネル點ガアルノデアリマスガ、是ハ、現在ノ民有林ニ付テ、大キナモノニ於キマシテハソレヲヤハリ自由ニシテ居ルノデハナイノデアリマシテ、或ル程度國家的ノ見地カラ、必要ガアリマスレバ、ソレニ對シマシテ今申シマシタヤウニ施業案ヲ編成モ致サ

セ、又或ハモノニ依リマシテハ、治山治水ト必要デアリマスレバ、サウ云フ方面ノ制限モ致スコトガ出來ルヤウニナツテ居ルノデゴザイマス、〔ナツテ居ツテモヤツテ居ナイカラ駄目ダ〕ト呼ブ者アリ〕必ズシモソレハヤツテ居ラナイカモ知レマセヌガ、制度トシテハサウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ勞働ノ問題デアリマスルガ、是ハ御承知ノヤウニ只今ノ林業勞働ト云フモノハ、モノニ依ツテ非常ニ違フノデアリマスルガ、可ナリ浮動性ガアルト私ハ思フノデアリマス、隨ヒマシテ、現在ノ勞働關係ソレ自體ノ儘デハ十分ナ效果ヲ發生スルト云フコトハ私ハ中々難カシイト思ヒマス、ソコデハ將來ノ問題トシテ、林業專業ノ勞働者其ノモノヲドウ云フヤウニ取扱ツテ行クカト云フ問題ハ大キナ問題トシテ殘ツテ居ルノデゴザイマスルガ、是等ノ點ニ付キマシテハ、今後ノ情勢ヲ見テ適當ニ處分スルノ方然ルベキ考ヘ方ダ、私ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、實際上、一ツノ經營者ガ經營ヲヤツテ行キマス上ニ於キマシテハ、全體ノ勞務者ト資本ト云フモノガ結付キマシテ、初メテ林業ニ於テモ效果ヲ舉ゲルト云フコトハ御話ノ通りデアリマス、勿論唯單ニ經營者ダケノ利益ノ觀點カラ行政ヲヤツテ行クト云フコトハ考ヘテ居リマセヌガ、何ヲ申シマシテモ、現在ノ大キナ林業經營ト云フモノ

ハ、之ヲ急速ニ綠化シナケレバナライノデアリマス、之ヲ急速ニ綠化致スト致シマスルナラバ、是ハドウシテモ勞働階級ノ挺身ニ俟タナケレバナライノコトデアリマス、勞働階級ノ挺身ノ部面ニ於テハ、森林ハ國家ノ公共性デアルト云フコトデ挺身サセル、サウシテ此ノ勞働階級ニ挺身サセテ結果ガ、ソレヲ所有シテ居ル所ノ資本家ノ利益ノ擲取ヲ助長スル所ノ結果ニナルノダ

〔水口委員長代理退席、委員長着席〕
斯ウ云フコトデアツテハ、私ハ決シテ爲政者ノ執ルベキ態度デハナイ、私ハ斯様ニ考ヘルノデアリマス、隨テ森林ノ公共性ヲ本當ニ之ヲ強調シ、此ノ綠化ヲ急速ニ圖ラナケレバナライノコト云フ要請ゾ一方ニ考ヘテ參リマスルナラバ、ドウシテモ林野ノ營利的ナ資本支配ノ排除ト云フコトハ根本的ニ之ヲ考ヘテ、サウシテ勞働階級ノ特段ニ挺身ニ依ツテ之ヲ急速ニ圖リ、又植林ノ面ニ於キマシテモ、或ハ造林ノ面ニ於キマシテモ、現在ノ技術ノ段階デハイケナイノデアリマシテ、之ヲ個々ノ小サナ業者ノ技術ノ向上ニ俟ツト云フコトダケデハイケナイノデゴザイマシテ、國家的ノ規模ニ於ケル所ノ技術ノ向上ヲ圖ツテ行カナケレバナライト思フノデアリマス、何レノ點カラ考ヘマシテモ、眞ニ森林ノ公共性ト云フコトヲ重點的ニ考ヘマ

スナラバ、ドウシテモ國家管理ニ進ンデ行クヨリ外ニ進ンデ行ク途ハナイト私ハ考ヘルノデアリマス、大臣ハ是等ノ矛盾ヲドウ云フ風ニ考ヘテ居ルノカ、サウシテ又急速ナル綠化ト云フモノヲ所有者ノ營利的ナ經營ニ放任シテ置イテ、急速ニ是等ノ綠化ガ出來ルト考ヘルノカ、或ハ此ノ林業界ニ於ケル所ノ技術ノ向上ト云フモノヲ個々ノ業者ニ放任シテ置イテ宜シイノカ、國家的ノ規模ニ於テ之ヲ取上

ニ付キマシテハ、ヤハリ林業經營其ノモノトシテハ公共性ト云フ面ガアリマス、之ヲ其ノ儘營利的面ニダケ放置シテ置クト云フコトハ國トシテハドウカト思ヒマス、ソレ等ノ公共性ト云フ點ニ付テハ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、併シテナクノ仰シヤルヤウニ、今現ニ持ツテ居リマス所ノ森林所有ニ付テハ、之ヲ直チニ國家的ナ管理ニ移ス、或ハ農地ト同ジヤウナ形ニ於テ分散スルコト云フコトハ、是ハ私ハ只今ノ所ドウカト思フノデアリマシテ、其ノ點ニ付テハ未墾地ノ關係ノ限度ニ於テ考ヘルノガ妥當ガ、私ハ斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○永井委員 私モ大臣ノヤウニ農地ノ如ク之ヲ細分スルコト云フコトハ妥當デナイト考ヘマス、森林ノ公共性ヲ本當ニ伸バス爲ニハ、細分シナイデ之ヲ集團經營ニ持ツテ行ツテ、經營ヲ協同組合化シテ方向ニ持ツテ行カナレバナラナイト私ハ考ヘルノデアリマス、國家管理ノ方式ニハ色々アリマセウ、資本主義的ナ立場ニ於ケル國家管理モアリマスシ、社會主義的ナ過程トシテノ國家管理モアルノデアリマシテ、其ノ内容ニ於テモ色々アルデアリマセウガ、我々ノ主張スル所ノ國家管理方式ト云フモノハ、是ハ社會主義計畫經濟ヲ

實現スル爲ノ一段階トシテノ國家管理デアアル、斯ウ云フ立場ニアルノデアリマス、サウシテ森林ト云フモノハ非常ニ地味ナモノデアリ、國土ノ保全ノ上カラ申シマシテモ、其ノ公共性ノ及ボス影響ノ重大ナ點カラ考ヘマシテモ、洵ニ重大デハアルノデアリマスガ、實際トシテハ一般ガ之ヲ閑却シ勝チデアアル、空氣ヤ水ニ對スル利用ト同ジヤウニ之ヲ閑却シ勝チデアアル、サウ云フヤウナ點カラ申シマシテ、現在森林行政ト云フ事柄ニ付テハ一般ノ關心ガ薄イノデアリマスガ、本當ニ之ヲ踏込シテ、サウシテ森林ノ行政ト云フモノヲ本當ニ考ヘテ、サウシテ日本ノ國土ニ於ケル今ノ森林ノ現狀ト云フモノヲ考ヘ、國土ノ保全ノ前途ト云フモノヲ色々考ヘテ參リマス時ニハ、之ヲ一個人ノ營利的ナ經營ニ放任シテ置クト云フコトハ、ドウ云フ立場ヲ考ヘテ見マシテモ、私ハ之ヲ承認スルコトハ出來ナカラウト思フノデアリマス、大臣ノ言フノハ、森林ノ公共性ト個人ノ所有ノ營利的ナ經營トノ調節ト云フダケノ話デアリマシテ、或ル場合ニ於テハ、個人ノ營利的ナ經營ヲ重ク見マスル爲ニ、森林ノ公共性ニ相互踏込シテ之ヲ削リ取ルヤウナコトモ敢テシナレバナラス、或ル場合ニハ、個人ノ所有シテ居ル山ハ、水源ノ涵養ノ上カラ申シマシテモ、國土ノ保全ノ上カラ申

シマシテモ、之ヲ伐ルコトガ出來ナイト云フ場合ハ之ヲ伐ツテハナラスト云フコトニナルノデアリマス、サウシマスト、之ヲ所有シテ居ル所有者ハ經營上非常ニ困ツテ來ルノデアリマシテ、個人ノ所有ニ對スル一ツノ侵害デアリマス、サウ云フヤウナ點カラ考ヘマシテモ、サウ云フ個々ノ難カシイ折衝ニ手間取ツテ、サウシテ森林ノ公共性ト云フ本質ヲ伸スコトノ出來ナイヤウナ機構ノ上ニ立ツテ運營ヲシヨウト云フヤウナ考ヘ方ヲ一擲シテ、サウシテ本當ニ森林ト云フモノノ立ツ國家的ナ基礎ト云フモノノ、民族のナ基礎ト云フモノヲ與ヘテ、サウシテ之ヲ本當ニ國家永年ノ計畫トシテ斯ウ云フヤウナ劃期的ナ時代ニ於テ出發スル、斯ウ云フ態度ガナレバナルマイト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ集團經營ニ於ケル經營ノ協同組合化ト云フ事柄ニ付テ大臣ノ答辯ヲ煩ハシマス

○和田國務大臣 是ハ、現在森林所有者ニ森林組合ヲ作ラシメテ居ルノデアリマシテ、其ノ森林組合ニ對シマシテハ相當ノ國家管理ヲ致シテ居ル語デアリマシテ、是ハ森林組合其ノモノヲ本當ニ活カシテ働カシ、又ソレニ對シマスル國家的ナ管理ト云フモノヲヤリマスルナラバ、御話ノヤウナ目的ハ大半達シ得ラレルノデハナカラウカト私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、森林ノ共同經營ト云フノハ、森林所有者タケノ組合ヲ作ツテ、ソコデ其ノ森林ニ對シマシテノ共同ノ施業案ヲ作り、又ソレデ共同ニ作業ヲヤツテ行ク、斯ウ云フ御話デアアルト思フノデアリマスガ、是等ハヤハリ現在ノ森林組合ト云フモノデ相當アナクノ仰シヤイマスヤウナ公共性ト云フ見地カラ來ル管理ハ執ツテ居ルノデアリマシテ、森林ト云フモノガ、御承知ノヤウニ是非非常ニ公共性ノ強イモノデアリマス、是ハ軍口農地ヨリモ先ダツテ、公共性カラ來ル森林所有者ノ色々ナ制約ト云フモノハ法制ノ上ニ於テハ早クカラ出來テ居ルノダト云フ風ニ私ハ理解シテ居ルノデアリマス

○永井委員 所見ヲ異ニ致シテ居リマス、アトハ意見ニナリマスカラ此ノ程度ニ止メテ置キマス、若シ大臣ガ他ニ御用務ガオアリニナリマスナラバ、私ハ爾餘ノ質問ハ大臣ガイラツシヤラナクテモ結構デアリマス、次ニ御尋ネ致シタイコトハ林業勞務ノ問題デアリマス、先程大臣モ、寸此ノ問題ニ觸レラレタノデアリマスガ、林業勞務ハ御承知ノ通りニ專業勞務ガ少クテ兼業勞務ガ非常ニ多イノデアリマスガ、戰時中ノ經驗カラ考ヘマシテモ、勞務ヲ漸次專業化シテ行ク體制ヲ執ツテ行カナレバナラス、其ノ勞働ノ專業化ヲ圖ツテ行クニハ、ドウ云フ風ノ御考

ヘヲ持ツテ居ラル、カ、又此ノ兼業勞務ガ現實トシテ非常ニ多イノデアリマスガ、此ノ兼業勞務ヲドウ云フ風ナ形態ニ於テ之ヲ維持培養シテ行クカト云フ問題デアリマス、例ヘバ林間ニ移民マシテ、サウシテ農業ト林業勞務トヲ結付ケタ經營ヲ合理化シテ行クヤウナ方法モ一ツノ方法デアリマセウシ、又林野ニ於テ牧畜ヲヤツテ、蜜蜂ヲ飼フトカ、羊ヲ飼フトカ、或ハ牛ヲ飼フトカ、サウシテ形ニ於テ一面林業勞務ニ携ハツテ行クト云フヤウナ結び付キノ方法モアリマセウシ、色々アルト思フノデアリマシテ、今後ニ於キマシテハ從來ト變リマシテ、急速ニ此ノ植栽ノ方面ヲヤラナレバナリマセウ、植栽ノ方ヲヤルコトニナレバ、苗圃カラ、種子採取カラ、之ニ附屬スル所ノ色々ナ事業ヲ急速ニ擴大強化シテ行カナレバナラナイノデアリマシテ、量的ニ見マシテモ、質的ニ見マシテモ、技術ヲ漸次向上サセテ行クト云フ方向ヲ取ツテ行カナレバナラヌト思フノデアリマスガ、當局ニ於テハ林業勞務ノ對策トシテドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマセウカ、承リタイト思ヒマス

○鈴木(逕)政府委員 御尋ネノ林業勞務デゴザイマスガ、昭和十九年ノ統計ニ依リマス、林業ノ勞務者ハ合計二百六十七萬人中、專業者ガ六十七萬居リマス、其ノ中

ヘヲ持ツテ居ラル、カ、又此ノ兼業勞務ガ現實トシテ非常ニ多イノデアリマスガ、此ノ兼業勞務ヲドウ云フ風ナ形態ニ於テ之ヲ維持培養シテ行クカト云フ問題デアリマス、例ヘバ林間ニ移民マシテ、サウシテ農業ト林業勞務トヲ結付ケタ經營ヲ合理化シテ行クヤウナ方法モ一ツノ方法デアリマセウシ、又林野ニ於テ牧畜ヲヤツテ、蜜蜂ヲ飼フトカ、羊ヲ飼フトカ、或ハ牛ヲ飼フトカ、サウシテ形ニ於テ一面林業勞務ニ携ハツテ行クト云フヤウナ結び付キノ方法モアリマセウシ、色々アルト思フノデアリマシテ、今後ニ於キマシテハ從來ト變リマシテ、急速ニ此ノ植栽ノ方面ヲヤラナレバナリマセウ、植栽ノ方ヲヤルコトニナレバ、苗圃カラ、種子採取カラ、之ニ附屬スル所ノ色々ナ事業ヲ急速ニ擴大強化シテ行カナレバナラナイノデアリマシテ、量的ニ見マシテモ、質的ニ見マシテモ、技術ヲ漸次向上サセテ行クト云フ方向ヲ取ツテ行カナレバナラヌト思フノデアリマスガ、當局ニ於テハ林業勞務ノ對策トシテドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマセウカ、承リタイト思ヒマス

○鈴木(逕)政府委員 御尋ネノ林業勞務デゴザイマスガ、昭和十九年ノ統計ニ依リマス、林業ノ勞務者ハ合計二百六十七萬人中、專業者ガ六十七萬居リマス、其ノ中

一割三分ガ女ニナツテ居リマス、御説ノ通りハ、兼業者ガ非常ニ多ウゴザイマス、此ノ專業ト申シマスモノハ、年間百五十日以上働ク者ヲ言ヒマス、次ニ第一種、第二種ト分ケマシテ、百五十日カラ九十日以上、之ヲ第一種、九十日以下ヲ第二種ト致シマシテ、勞務ニ色々差別ヲ付ケテ居リマスガ、戰爭中ハ徵用其ノ他色々ノ關係デ、已ムナク多クノ勞務者ノ移動ガアツタ爲ニ、此ノヤウナ兼業者ハ非常ニ多クナリマシテ、戰後ノ經營ト致シマシテハ、仰シヤル通り是等ニ専門ノ技術ト技能ヲ具ヘサセタイト思ヒマス、今度ノ計畫ニ於キマシテモ、昭和二十一年度ニ於キマシテハ一應二百六十七萬人ノ勞務者ガ二百二十八萬、約四十萬人ヲ減ラシテ、專業ノ傾向ヲ帶ビテ指導スルコトニナツテ居リマス、此ノ内容ニ付キマシテモ、御説ノヤウニ、或ルモノハ國有林ノ施業案ヲ作ル爲ノ勞務者ト技術者ヲ養成スル、第二ニ民有林ノヤハリ施業案ニ對スル技術者ヲ養成スル、或ハ林道開設ニ付キマシテモ、製炭ニ付キマシテモ、其ノ他製炭價格ニ付キマシテモ、ソレゾレノ技術者ト勞務者ヲ技術ニ指導シテ行キタイト云フノデ、本年

ニ養成シテ行カウ、一割ノ技術者ガ居リマシテ、サウシテ十三萬ノ勞務者ヲ養成スル、斯様ニ致シマシテ、之ニ依リ日本ノ戰後ノ經濟モ最モ科學的ニ、經濟的ニ、能率的ニヤル爲ニ、專業ニ進ムヤウナ方針ヲ執ツテ居リマス

○永井委員 昨日モ話ガアツタノデアリマスガ、此ノ法案ノ中ニハ、林業勞務ニ對スル考ヘヲ殆ド盛ツテ居ナイ、私ハ驚クベキコトデアアルト思フノデアリマシテ、少クトモ林業界ノ民主化ヲ圖ラウトスル上ニ於キマシテハ、此ノ問題ヲ無視シテハ斷ジテ民主化ハナイ、ソシテ今林業勞務者ガドウ云フ風ナ勞働條件、ドウ云フヤウナ生活條件ノ下ニ虐ゲラレテ居ルカト云フコトハ、少シク心ヲ潜メテ現實ヲ見マスナラバ、是ハ涙ナクシテ見ルコトハ出來ナカラウト思フノデアリマス、例ヘバ勞務者ニ對スル物資ノ配給ヲシテ居ルノデアリマスガ、酒デアルトカ、衣料品デアルトカ、色々ナ物資ヲ配給シテ居ルノデアリマスガ、是ハ殆ド時期的ニモ惡イノデアリマシテ、時期ヲ失シテカラサウ云フモノガ來ル爲ニ、殆ドサウ云フモノハ業者ノ手ニ入ツテ居テ勞働者ノ所マデ達シテ居リマセヌ、又非常ニ山ノ中デ、足場ノ惡イ所デア、云フヤウナ危險ナ仕事ヲシマス爲ニ、一年間ニ於ケル死亡者傷害ニ因ツテ死ヌ者ガ百數十名アルドラウト

思ヒマス、又足ヲ折ツタリ、手ヲ折ツタリ、背骨ヲ折ツタリスルト云フヤウナコトデ、一生涯不具トナルヤウナ重大ナ傷害ヲスル者モ、全國ヲ通ジマスト何千人ノ數字ニ上ルドラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ人達ニ對スル保險ト云フヤウナモノモ現在殆ド行ハレテ居ナイノデアリマシテ、例ヘバソレノ山ノ地域ニ於テ、共濟制度ニ依ツテ若干ノ香典デアルトカ、若干ノ入院料トカ云フモノヲ支出スルダケデアアル、サウシテサウ云フ所ニ居テ働イタ爲ニ怪我ヲシテ、一生其ノ人ハ敗殘ノ憂キ目ヲ見ナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ放任サレタ儘ニナツテ居ルノデアリマス、又馬搬ノ關係ニ於キマシテモ、籤出シデアルトカ、玉曳デアルトカ、サウ云フ急坂ナ所ノ危險ナ仕事ニ從事スル爲ニ、馬ヲ殺シタト云フヤウナ事柄ハ、一年間ニ非常ニ多イノデアリマスガ、是等モ唯其ノ馬搬關係ノ者ダケガ若干ノ金ヲ出シ合ツテ共濟制度ニシテ居ルダケデアツテ、其ノ間ニ於ケル所ノ實情ト云フモノハ洵ニ原始的ナ、殘虐ナ、投ガヤリナ方法ニ放任サレテ居ルノデアリマス、又山小屋ニ於ケル生活條件ト云フカ、是ハ又驚クベキモノデアリマシテ、衛生的ナ見地カラ見テモ、娛樂的ナ見地カラ見テモ、テンデ問題ニナラヌ、コンナ所ニ當局モ亦テンデ改善シヨウト云フ

ヤウナ考ヘモ持タズ、心ヲ配ツテ居ラナイ、又冬季節青年ナドガ山ニ働キニ行クノデアリマスガ、青年學校其ノ他町村ノ教育施設ニ依ツテ色々訓練サレテ居ル生徒達ガ、此ノ山ニ行ツテ働イテ居ル間ニ、雜居ノ生活ヲスルノデアリマスカラ、其處デ煙草ヲ喫フコトモ、配ヲ飲ムコトモ、女ヲ買フコトモ覺エテ、サウシテ淳良ナ農村ニ其ノ青年ガ歸ツテ來テ、サウ云フ惡イ影響ヲ村落ニ持込シテ來、ト云フヤウナ譯デ、現在林業勞務ニ對スル施設ト云フモノハ全ク考慮ニ入レテ居ラヌト云フヤウナ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、唯木材ノ價格ハドウスルトカ、配給ハドウスルトカ、サウ云ツタ面ニダケ眼ヲ轉ジテ、斯ウ云フ森林ヲ維持スル爲ニ、木材ヲ生産スル爲ニ、其ノ蔭ニ如何ニ多クノ勞働者ガ犠牲ニナツテサウシテ間カラ間ニ葬ラレテ居ルカト云フ面ヲ少シモ取上ゲテ居ナイト云フコトハ驚クベキ事柄デアルト私ハ思フノデアリマスガ、是等ニ對シテ當局ハドウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマスカ

○鈴木(張)政府委員 本法案ニ、先ヅ第一ニ是等勞働者ニ對スル施設ガ入ツテ居ラナイデハナイカト云フ御話デアリマスガ、第四條第一項ノ第二號ニ「會員ノ林業ノ改良發達を圖るため必要同共施設」此ノヤウニ當初カラ此ノ問題ニ付テハ相當ニ研究シナクテハナ

ラヌ問題デアリマスノデ、本案ニ於キマシテハ、共同施設ノ中ニ、先ヅ勞務者共同施設ヲ考ヘヨウ、厚生施設モ考ヘテ居ル、健康保險組合ハ其ノ在ル所ノ市町村ト連絡ヲ執ツテ十分ヤツテ行カナクテハナラヌ、サウシテ又今度ハ勞務者ノ將來ノ企業欲ノ出ルヤウナ研究所ヲ立テ、行カウト云フヤウニ、此ノ中デ相當ニヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

次ニ山ニ於ケル所ノ色々擲取ガアルノデヤナイカ、山ノ非常ナ苦勞ナ生活ニ對シテ一般ノ理解ガナイト云フ御話デゴザイマスノデ、御説ノ通り洵ニ此ノ點ハ殘念ニ思ヒマス、併シナガラ恐ラク日本ノ戰後ノ經濟ノ再建ハ森林ヨリ生レル、我々人間ガ自然ノ中ニ入ツテ、アノ大自然ニ打タレテ、初メテ本來ノ人間性ニ歸ツテヤリ得ルノデアツテ、寧ロ彼處ニ若イ青年ガ行ツテ勤勞シ、或ハ事業ニ携ツテ、サウシテ巷ニ歸ツテ來マシテ日本ノ再建ガ出來ルト考ヘテ居ルノデゴザイマス、山ノ事業ハ非常ニ大仕事デゴザイマス、一面又是等ノ事業ノ資本家トカ、或ハ企業者ガ如何ニシテ勞務者ヲ使ツテ居ルカ、森林ニ於ケル勞務ノ狀況ハ決シテ居ナガラニシテ一目瞭然トハ分ラヌ、隨テ山間地ニ於ケル經營ト云フモノハ、其ノ經營者ガ人格、技能共ニ備ツテ居ル者デナカ

ラヌ問題デアリマスノデ、本案ニ於キマシテハ、共同施設ノ中ニ、先ヅ勞務者共同施設ヲ考ヘヨウ、厚生施設モ考ヘテ居ル、健康保險組合ハ其ノ在ル所ノ市町村ト連絡ヲ執ツテ十分ヤツテ行カナクテハナラヌ、サウシテ又今度ハ勞務者ノ將來ノ企業欲ノ出ルヤウナ研究所ヲ立テ、行カウト云フヤウニ、此ノ中デ相當ニヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

次ニ山ニ於ケル所ノ色々擲取ガアルノデヤナイカ、山ノ非常ナ苦勞ナ生活ニ對シテ一般ノ理解ガナイト云フ御話デゴザイマスノデ、御説ノ通り洵ニ此ノ點ハ殘念ニ思ヒマス、併シナガラ恐ラク日本ノ戰後ノ經濟ノ再建ハ森林ヨリ生レル、我々人間ガ自然ノ中ニ入ツテ、アノ大自然ニ打タレテ、初メテ本來ノ人間性ニ歸ツテヤリ得ルノデアツテ、寧ロ彼處ニ若イ青年ガ行ツテ勤勞シ、或ハ事業ニ携ツテ、サウシテ巷ニ歸ツテ來マシテ日本ノ再建ガ出來ルト考ヘテ居ルノデゴザイマス、山ノ事業ハ非常ニ大仕事デゴザイマス、一面又是等ノ事業ノ資本家トカ、或ハ企業者ガ如何ニシテ勞務者ヲ使ツテ居ルカ、森林ニ於ケル勞務ノ狀況ハ決シテ居ナガラニシテ一目瞭然トハ分ラヌ、隨テ山間地ニ於ケル經營ト云フモノハ、其ノ經營者ガ人格、技能共ニ備ツテ居ル者デナカ

ラヌ問題デアリマスノデ、本案ニ於キマシテハ、共同施設ノ中ニ、先ヅ勞務者共同施設ヲ考ヘヨウ、厚生施設モ考ヘテ居ル、健康保險組合ハ其ノ在ル所ノ市町村ト連絡ヲ執ツテ十分ヤツテ行カナクテハナラヌ、サウシテ又今度ハ勞務者ノ將來ノ企業欲ノ出ルヤウナ研究所ヲ立テ、行カウト云フヤウニ、此ノ中デ相當ニヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

次ニ山ニ於ケル所ノ色々擲取ガアルノデヤナイカ、山ノ非常ナ苦勞ナ生活ニ對シテ一般ノ理解ガナイト云フ御話デゴザイマスノデ、御説ノ通り洵ニ此ノ點ハ殘念ニ思ヒマス、併シナガラ恐ラク日本ノ戰後ノ經濟ノ再建ハ森林ヨリ生レル、我々人間ガ自然ノ中ニ入ツテ、アノ大自然ニ打タレテ、初メテ本來ノ人間性ニ歸ツテヤリ得ルノデアツテ、寧ロ彼處ニ若イ青年ガ行ツテ勤勞シ、或ハ事業ニ携ツテ、サウシテ巷ニ歸ツテ來マシテ日本ノ再建ガ出來ルト考ヘテ居ルノデゴザイマス、山ノ事業ハ非常ニ大仕事デゴザイマス、一面又是等ノ事業ノ資本家トカ、或ハ企業者ガ如何ニシテ勞務者ヲ使ツテ居ルカ、森林ニ於ケル勞務ノ狀況ハ決シテ居ナガラニシテ一目瞭然トハ分ラヌ、隨テ山間地ニ於ケル經營ト云フモノハ、其ノ經營者ガ人格、技能共ニ備ツテ居ル者デナカ

ツタラ、決シテ成功シナイノデア
リマス、人格技能が備ツテ居ル爲
ニ、アノ親爺ノ爲ナラ怪我シテモ
宜イ、必ズ増産シヨウト云フ意欲
ガ一般ニ出ナカタナラバ、彼等
ハ山ノ蔭樹ノ蔭ニ隠レテ遊ンデ居
ツテモ勞銀ハ取レルノデアリマ
ス、斯様ナ見地カラ言ヒマスルト
寧ロ企業者ノナカデ、或ハ資本家
ト致シマシテハ、山ノ資本家ガ最
モ眞面目デアリ、自身ノ人格ヲ磨
キ、且又技能ヲ磨イテ居ルト言
ツテ差支ヘナイノデゴザイマス、
或ハ二、三ノ山ニ於テハ、使ツタ
者ガ怪我シテモ構ハヌモノガアル
カモ知レマセヌケレドモ、一番強
イ友愛精神ハ、寧ロ山間僻地ノ事
業者ニアルト見テ差支ヘナイと思
ヒマス、併シナガラ御説ノ通り是
等ノ事業ハ非常ニ資本ガ小シ過ギ
ル、サウシテ山間地ニ於キマシ
テ、設備ガナイ、一旦怪我ヲ致シ
マシタナラバ十何里下ラナケレバ
ナラス不便ガアルノデアリマス、
是等ニ付キマシテハ、國ト致シマ
シテモ相當ノ補助政策モ立テテ行
カナケレバナラヌト思ヒマス、又
民間人ノ事業家ト致シマシテモ、
茲ニ盛ツテアル所ノ共同施設ヲ完
膚ナキマデニ活力シテ、是等ノ勞
務者ガ喜ビ勇シデ事業ノ出來ルヤ
ウニ、サウシテ將來是等ニ勞務者
デナクシテ直チニ企業者ニナレル
指導ガ欲シト思ヒマス、斯様ナ
見地カラ是等ノ厚生施設ニ依リマ

シテ、將來勞務者ガ企業者ニナレ
ル所ノ生活ノ改善ト事業意欲ヲ涵
養シテ行キタイト存ジマス
○永井委員 ソレカラ勞働賃銀ヲ
決メルニ付テハ、勞働組合ヲ認メ
テ、其ノ間ニ於ケル協定デ行クノ
カ、從來ノヤウナソレノ山ノ
實情ニ應ジテヤウテ行クノカ、ソ
レカラ從來デスト、經營ガ天候條
件ニ支配サレルコトガ非常ニ多イ
爲ニ、旨ク行ク時ハ相當儲カ
ル、旨ク行カナイト大キナ損ヲス
ル、損ヲシタラ勞働賃銀ヲ拂ハナ
イデ企業者ハ雲隠レシテ逃ゲテシ
マフト云フコトガ多イノデアリマ
スガ、サウ云フヤウナ場合、若シ
業者ニ支拂能力ガナイト云フ場合
ニハ何等カノ方法ニ依ツテ、森業
會ナリ何ナリ大キナ方ノ組方ニ於
テ之ヲ保證スル途ヲ講ズルコトモ
考ヘテ行カナケレバナラヌト思フ
ノデアリマスガ、此ノ勞働賃銀問
題ニ付テドウ云フヤウニ考ヘテ居
ラレルカ
○鈴木(強)政府委員 勞働賃銀ノ
問題デゴザイマスガ、勿論其ノ森
業會ニ於キマシテ、勞働組合ガ結
成サレマスナラバ、勞働協約ニ依
ツテ賃銀ノ制定トソレ等ノゴトガ
確保出來ルト思ヒマス、出來ナイ
所ハ從前通りヤウテ居ラレルコト
ト存ジマス、尙ホ事業ガ失敗シテ
勞働賃銀ガ取レナイ、是ハ勞働法
デ勞働賃銀ヲ保障シテ居リマスガ
ラ、此ノヤウナ心配ハナイト思ヒ

マスガ、或ル場合ニ於キマシテハ
組合ニ於テ森業業者ガ責任ヲ取ル
コトモ、或ハ御説ノ通り肝要カト
思ヒマス
○永井委員 委員長カラノ御注意
モアリマスノデ、此ノ程度デ……
○森委員 午後八時半ヨリ再
開スルコトニ致シマシテ、是ニテ
暫ク休憩致シマス
午前十一時四十五分休憩
午後零時四十九分開議
○森委員 休憩前ニ引續キ會議
ヲ開キマス 綿貫君
○綿貫委員 重複シテ居リマシタ
ラ御注意願ヒマス、内地ト北海道
ノ林政ノ統一及ビ治水ノ砂防ノ統
一、此ノ點ト林業行政ノ機構改革
ト云フ點ニ付テノ御所見ヲ御伺ヒ
シタイト思ヒマス
○中尾政府委員 林政ノ統一問題
ニ付キマシテハ從來カラ論議セラ
レテ居リ、又研究サレタ問題デア
リマスガ、特ニ戰爭終了後、敗戰
ノ結果領土ガ半減致シマシタノニ
伴ヒマシテ、森林ノ面積モ大體半
減シタ實情ニアリマス、此ノ森林
統一ノ必要ハ、特ニ戰前ヨリモ必
要性ヲ増シテ居ルコト存ジテ居
リマスシ、特ニ狹イ森林カラ全國
民ノ民生安定ヲ圖ルニ必要ナ材
料ニ薪炭材ノ生産ヲ圖ル爲ニハ、
ドウシテモ統一サレタ綜合的ナ經
營方針ヲ以テ施業ヲシナケレバナ
ライ關係ニアリマスノデ、北海

道ノ國有林並ニ内地ノ國有林ノ林
政ヲ統一スルコトハ、極メテ必要
デアルト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、是ハ他省トノ關係モアリマス
ノデ、今後慎重ニ研究致シマシ
テ、善處致シタイト存ジテ居リマ
ス、ソレカラ砂防ノ統一ノコトデ
アリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ
モ、從來トモ論議セラレタ問題デ
アリマス、此ノ砂防ノ統一強化ヲ
圖リ、森林地内ニ於ケル砂防事業
ノ成果ヲ收メマス爲ニハ、ドウシ
テモ森林ノ施業ト同時ニ考ヘナケ
レバナラスヤウナ關係ニアルト存
ズルノデアリマス、其ノ爲ニ砂
防、森林、治水ノ統一ハドウシテ
モ其ノ必要ガアルト存ジマスノ
デ、此ノ件ニ付キマシテモ、關係
省ト緊密ナル連絡協議ヲ遂ゲマシ
テ善處シテ行キタイト考ヘテ居リ
マス
○綿貫委員 森林、治水ノ現狀ト
特ニ災害防止林業施設ト云フ項目
ガアリマシテ、此ノ事業ヤウテ
居ルヤウデアリマスガ、其ノ實情
ニ付テ伺ヒタイ
○中尾政府委員 森林治水ノ重要
性ニ鑑ミマシテ、政府ニ於キマシ
テハ從來實行致シテ居リマシタ治
水事業ノ整備擴充ヲ圖リマスバカ
リデナク、更ニ治水並ニ災害防止
事業ノ擴大強化ヲ圖ル必要ガアル
ト認メマシテ、終戦後ニオキキマ
ス林野ノ現況ニ即應スベキ森林治
水ニ災害防止林業施設ノ劃期的、

計畫ノ樹立ノ爲ニ、只今全國ニ互
リマシテ基本調査ヲ實施中デアリ
マス、其ノ實態ヲ把握シマシテ、
其ノ調査ノ結果ニ基キマシテ劃期
的ノ計畫ヲ樹立致シマシテ、實行
スル方針デ居ルノデアリマス、尙
ホソレト並行致シマシテ本年度ノ
豫定事業デアリマス治水事業、是
ハ第二期治水事業デ二十三年マデ
續クノデアリマスガ、其ノ方ノ本
年度ノ事業並ニ災害防止、是モ第
二期ノ災害防止計畫ニ依ツテ實施
シテ居リマス、是ハ本年度限りノ
事業デアアルノデアリマスガ、ソレ
等ノ事業並ニ十八年度、二十年
ニ於キマス災害ノ復舊事業等ニ付
キマシテ只今實行ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、大體ノ事業ノ内容、
其ノ分量ニ付キマシテ申上ゲマス
ト、治水事業ニ於キマシテハ、大
體直轄事業並ニ補助事業ニ分レル
ノデアリマスガ、三千五百町歩ノ
面積ニ對シマシテ、約三千七百十
萬圓程度ノ經費ヲ以テ實行致シテ
居ルノデアリマス、尙ホ又災害防
止林業施設ノ方ノ事業ハ、大體是
モ直轄事業並ニ補助事業ヲ合ハセ
マシテ、一萬一千七百町歩程度ノ
面積ニ對シマシテ、五千二百萬圓
程度ノ經費ヲ以テマシテ、只今實
行ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙
ホ十八年度、二十年度ノ災害地ノ
復舊事業ニ付キマシテハ、三千五
百町歩程度ノ面積ニナツテ居リマ
スガ、之ニ對シマシテ二千二百萬

圓ノ豫算ヲ以テマシテ、只今實行ヲ致シテ居ル次第アリマス、大體事業ノ概要ハ以上ノ通りデアリマス

○**總實委員** 災害防止林業施設ハ第二期大體本年度終ルノデヤナイカト考ヘテ居リマスガ、豫算ノ少イ割ニ拘ラズ相當成績ノ見ルベキモノノアルコトハ私共承知シテ居リマス、此ノ際此ノ時コソ第三期事業トシテ飛躍的ナル擴充ヲ圖ル、詰リ豫算モウント之ニ計上致シマシテ、時局ニ即應シタル事業經營ヲナスベキデアルト考ヘマスガ、當局ノ御考ヘテ承リタイト存ジマス

○**中尾政府委員** 先刻申上デマシタ通り、只今全國ニ互リマシテ實態調査モ致シテ居リマスルシ、此ノ災害防止林業施設ハ、御説ノ通り本年度第二期方終リニナリマスノデ、來年カラハ只今調査致シテ居リマスノヲ基礎ト致シマシテ、大々的ナ計畫ヲ立テテ實行スル豫定デアリマス

○**總實委員** 森林組合ノ育成方針ニ付テ承リタイト思ヒマス

○**平川政府委員** 森林組合ハ未ダ設立後比較的日ガ淺イノデ、其ノ重要性ニ拘リマセヌガ、地方ニ依リマシテハ其ノ發達ノマダ十分デナイモノモアリノデアリマス、先ツ是ガ育成ノ一ツノ有力ナル手段ト致シマシテ技術員ヲ擴充スルト云フコトガ、實際ノ仕事ノ上ニ於

テ必要デハナイカト考ヘマシテ、本年度ニ於キマシテモ相當額ノ豫算ヲ計上致シマシテ技術員ノ助成ヲ致サウト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ外法制的ニハ現在ノ森林法ヲ基礎ニ致シマシテ、是ガ實際ノ十分ノ活動ヲ致シヤウニ、今回ノ林業會法等ノ運用ニ依リマシテ、強化ヲスルヤウニ指導シテ参リタイト考ヘテ居リマス

○**總實委員** 外ノ地方ハ存ジマセヌガ、私共ノ縣ニ於キマシテハ、縣木聯ト云フモノガ出來テ居リマス、是ガ地方木材ニ代ウテ今後ノ木材ノ取扱ヲヤラウト云フヤウナ考ヘ方ノ下ニ、新シク出來マス所ノ此ノ林業會ト云フモノヲ無視シタヤウナヤリ方ガアルヤウニ聞イテ居リマスガ、此ノ縣木聯ト云フノハドウ云フ性質ノモノカ御存ジアリマセヌカ

○**平川政府委員** 現在木材統制ノ關係カラ致シマシテ、木材配給統制規則デ地方長官ノ指定スル機關ニ縣内ノ統制ヲ圖ラセテ居ルノデアリマス、昨年ノ末頃カラ致シマシテ、地木社ノ實際ノ勢力ガ甚ダ衰ヘテ參ツタ地方ガアル譯デゴザイマス、サウ云フ地方ニ於キマシテハ、之ニ代ルベキモノトシテ業者ノ任意的ナ團體ヲ作ラセ、之ニ場合ニ依リマシテハ統制權ヲ與ヘルト云フコトモヤツテ居ル縣ガアル譯デアリマス、御話ノ縣木聯ハドウ云フ性質ノモノデアリマスカ

或ハサウ云ツタ性質ノ統制的ナ權限ヲ持ツタモノデ地方長官カラ指定ヲ受ケテ居リマスモノカ、或ハ單ニ任意的ニ業者間ノ親睦、或ハ事業ノ發展ヲ圖ルト云フヤウナ意味ノ任意的ノモノデアリマスカ、其ノ點縣ニ依ツテ違ヒマスノデハウキリ致シマセヌガ、縣ニ依ツテサウ云フモノガ出來テ居ル所モアル譯デアリマス

○**總實委員** サウ致シマス、森林組合ノ性格ト、所謂新機構ニ依ルト云フカ、新シク發生シテ居ル縣木聯ト云フモノトノ關係ハドウナルカ、御伺ヒ致シマス

○**平川政府委員** 此ノ縣木聯ト云フノハ、恐ラクハ丁度今回ノ法律ノ所謂林產組合ニ當ルモノデハナカラウカ、恐ラク木材業者等ノ組合デアラウト思ヒマス、森林組合ノ方ハ固ヨリ森林所有者ノ團體デアリマスノデ、假ニ其ノ縣木聯ガ實際ニ於テ縣下ノ木材業者等ノ綜合的ナ團體デアリマスルナラバ、是ガ母體トナツテ林產組合ヲ作リマシテ、サウシテ一方ニアル森林組合側ト共ニ林業會ヲ設立スルト云フ一ツノ措置ニモナラウカト思フノデアリマス

○**總實委員** サウスルト、各府縣ノ交流材、是ガ今云ツタヤウナ性格ノ縣木聯ト云フモノノ手ヲ通ジテ取扱ヲサセテ貰ヘルモノナリト云フヤウナコトガ新聞紙上等ニ載ツテ居リマスガ、此ノ點ハドウナ

リマスカ、御伺ヒ致シマス

○**平川政府委員** 交流材ノ取扱ニ付キマシテハ昨日局長カラ御説明ガゴザイマシタヤウニ、林業會ノ割當ニ從ヒマシテ各縣ノ業者、或ハ其ノ團體デアアル林產組合等ガ林業會ノ認證ヲ得テ、其ノ割當ニ從ツテ取引ヲスルト云フコトニナリマスノデ、必ズシモ或ル者ガ獨占的ニ取扱フコトニハナリマセヌ、唯林業會ノ一ツノ統制ノ枠ニ從ツテ取扱ヲスルト云フコトニナリマスルノデ、今御話ノヤウナ縣木聯、或ハソレノ代リマシタ團體ガ取扱フコトモ差支ヘナイ譯デアリマスルガ、其ノ外ノモノモ扱ヒ得ルト云フコトニナリマス

○**總實委員** サウスルト、縣外移入材、或ハ北海道材ノ移入ト云フヤウナモノノミノ取扱ヲ專門ニシタ所ノ組合組織ガ獨占ヲヤルト云フコトハ斷ジテナイ、斯様ニ心得テ宜シイ譯デスカ

○**平川政府委員** 獨占的ニヤルト云フコトニハナラナイ譯デアリマス、唯ソレ等ノ交流材ヲ扱ヒマスル業者ガ任意的ニ集マリマシテ、サウシテ此ノ林產組合ヲ作ルト云フコトハ差支ヘナイ譯デアリマス、併シ固ヨリ林產組合モ加入、脱退自由デアリマス、ソレ等ニ參加シナイ者ニ對シテ之ヲ禁止スルト云フコトハ出來ナイ譯デアリマス

云フ譯ナンデス、私共ノ縣デ移入材ガ六割以上ニナル、所ガ今ノ地方木材ヲ解散シタ幹部連中ガ新シク會社ヲ擡ヘテ、其ノ會社デハ移入材ヲ專門ニ扱フノダ、他ノ者ニハ扱ハセナイノダト云フコトカラ、非常ニ輿論ガ喧シクナツタノデ、伺ツタ譯デアリマスガ、其ノ點ハ能クテ承知シマシタ

次ニ木統法ノ廢止ニ依リ、日本、地木、特ニ地木ノ清算ニ當ツテ、財産ノ處分ニ對スル指導方針ハ如何デアリマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

○**中尾政府委員** 御答ヘ致シマス、地木社ノ方ノ財産ノ處分ノコトニ付キマシテハ聯合軍カラノ指示ノ關係モアリマスシ、財産ノ內生産施設ハ元ノ所有者ガ希望致シマス場合ハ、其ノ元ノ所有者ニ返シヤウニ指導ヲ致シテ居リマス、其ノ方法ト致シマシテ、現在地木社カラ直グサマ個人ニ返スコトガ色々ナ都合デ急速ニ涉ラナイト云フヤウナ場合モアルカト考ヘテ居リマスガ、斯ウ云フ場合ニハ、地木社ヲ早ク解散シナケレバナラナイ關係モアリマスノデ、此ノ場合ニハ過渡的ナ措置トシテ地區のニ組合ナリ或ハ會社ナリヲ作ツテ、一時ソレニ包括的ニ移讓シマシテ、サウシテ漸次地區のニ出來タ組合或ハ會社ノ方デ、生産施設デ元ノ所有者ガ希望スル者ガアル場合ニハ、漸次其ノ地區會社ノ方デ返シ

テ行クト云フ風ニ指導致シテ居リマス、又木材ノ生産上サウババニシテハドウシテモ生産増強ハ期シ難イノデ、或ル程度分散シナイド固マツテ置イタ方宜イト云フ地方ニ對シテハ、ヤハリ地區別ノ組合ナリ會社ナリニ作ツテ其ノ繼續シテ實行シテ行ク箇所モアラウト思ヒマス

○綿貫委員 此ノ財産ノ大部分ハ、立木ト製材工場等デアルト考ヘマスガ、特ニ此ノ立木ニ付テハ主人ガ出征シテ居ルトカ、或ハ戰死シタトカ云フ慮ニ乗ジマシテ、軍ノ名ニ依ツテ殆ド恐喝ノニ無價ニ近イ値デ買取り、之ヲ會社ニ入レズシテ、其ノ地本社ノ幹部ガ第三者ニ之ヲ闇カラ闇ヘト賣却ヲ致シテ、數十、數百萬ノ私腹ヲ肥ヤシテ居ル者ガ數多イノデアリマス、其ノ實情ハ涙ナシニハ見ラレマセヌ、而モ既ニ處分サレテシマツタモノハ、是ハ形ガナイシ、軍ノ名ニ隱レテ居ル以上已ムヲ得マセヌケレドモ、現在尙ホ本ガ立ツテ居ルケレドモ、所有權ガ移ツテ居ルト云フコトデ、非常ニ地方問題ヲ醸シテ居ルモノガ多イノデアリマスガ、是等ニ對シテモ、之ヲ分散セシメルコトハ生産増強上都合ガ惡イト云フヤウナリ實デ以テ、其ノ本人ノ希望ニモ拘ラズ、之ヲ返シテヤラナイト云フコトハ甚ダ不合理デアリ洵ニ殘酷ナコトデアルト思ヒマスノデ、私ハ

此ノ製材工場ニシロ、殊ニ立木ニ於テハ、應全部ニ希望ガアルナラバ返シテ、其ノ上デ話合デ再ビ新シイ地區ノ組合ガ之ヲ纏メルト云フ風ニスベキデアルト考ヘルノデアリマスガ、如何御考ヘニナルカ、尙ホ製材工場デアルトカ或ハ機械、立木ヲ返シテヤル場合ニ値段ヲドウヤウナ程度ニ決定セシメル御方針デアルカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

○中尾政府委員 只今御話ノヤウニ、半強制的ニ買上ゲマシタヤウニ立木ニ付キマシテハ、出ルタケ元ノ所有者ニカヘスヤウニ指導致シタイト有ジテ居リマス、勿論是ハ立木ガケデナク、製材工場ニ於キマシテハ先刻モ申上ゲマシタヤウニ、其ノ元ノ所有者ガ希望スル場合ハ必ズ返スヤウニ指導致シテ行キタイト思ヒマス、尙ホ其ノ價格ノ點デアリマスガ、是ハヤハリ聯合軍カラノ指示モアリマスノデ、現在ノ統制價格デ返スヤウニ致サセタイト思ヒマス

○綿貫委員 現在ノ統制價格デ返スト云フコトハ非常ニ無茶ナ話デアリマスガ、指示ガアレバ已ムヲ得マセヌカラ了承致シマシタ、次ニ日本鉋ニ地木ノ解散ニ當リマシテ、清算人ヲ設ケマスガ、之ヲ會社ノ役員ノミニ限定致シテ居ルト云フコトハ非常ニ危險デアリマシテ、一般株主カラモ必ズ三分ノ或ハ半分ト云フモノヲ加ヘルヤウ

ニスルコトガ、最モ私ハ妥當デナイカト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ對スル御指導方針ヲ承リタイ

○平川政府委員 清算人ハ原則トシテ役員ガ之ニナル譯デアリマスガ、併シ總會ニ於キマシテ別ノ人ヲ選任スルト云フコトモ出來ル譯デアリマス、是ハ最後ノ解散ヲ決議致シマス際ノ總會ノ決議ニ依ルト云フコトニ致シタイト思ヒマス

○綿貫委員 通り、遍カラ行ケハサウデアリマスガ、ヤハリ最後ノ株主總會ニ於キマシテ、一般株主中カラ或ル程度ノ者ヲ選任スルヤウニ御指導ニナルコトガ必要デアル、斯様ニ私ハ考ヘルノデゴザイマスガ、唯任意ニ任セテ置クト云フコトハ、此ノ問題ヲ釀シテ居ル際ニ甚タ面白クナイ、モウ一步進メテ申シマスナラバ、私ハ今度出來マス所ノ林業會ト云フモノノ中ニハ、絶對ニ從來ノ地本社ノ關係アル人、特ニ幹部ノ方々ノ、參加ハ排除スルヤウニ御指導ヲ戴ク、サウシテ二年或ハ三年致シマシテ、ソレ等ノ「ブロック」前ノ、何ト申シマスガ集團ノ我々ノ意思ニ反スル行動ヲ阻止シタ上デ、又改メテ加入ヲスルト云フヤウニ指導シナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘマスルカ、其ノ點法規上ト云ビヒマスカ、政府ノ肚トシテ指導ガ出來ナイモノカドウカ、併セテ伺ヒタイ

於キマシテハ、林業會及ビ林産組合等ノ問題ニ致シマシテモ、或ハ地木、日本ノ解散ノ問題ニ致シマシテモ、専ラ民間ノ意思ト云フモノヲ非常ニ尊重致シマシテ、民主主義的ト申シマスガ、官廳ノ方ノ餘リ監督ガマシイコトハ、極端ノ場合以外ハ餘リヤラナイト云フ大體ノ立テ方ニ致シテ居リマス、何カ特殊ノ件ニ依リマシテ非常ニ特殊ナ弊害或ハ特ニ監督ヲ加ヘル必要カアルト云フヤウナ具體的ノ場合ニ於キマシテハ、或ハ御話ノ如キ指導ヲ致ス場合モ出テ來ルカト思ヒマスガ、一般的ニ申シマスレバ、極力組合員ナリ或ハ社員ナリノ總意ト云フモノニ任セルト云フ考ヘ方ヲ致シテ居リマス、特殊ノ場合ニ於キマシテ特ニ其ノ必要性ガアルト認メラレマス場合ニ於テハ指導致シテ行ク積リデアリマス

○綿貫委員 能ク御分リデセウケレドモ、當局トシテハソレ以上ノコトハ中々仰シヤリニキイト思ヒマスカラ了承致シマシタ、尙ホ本法ニハ消費者ト申シマスガ、消費組合側ハ參加ヲシテ居ラナイ、詰リ生産ハ消費アツテノ生産デアリマスカラ、ヤハリ消費ノ部而モ此ノ要素ノ「ウツ」シテ加入サセル方ガ妥當デナカラウカ、斯様ニ考ヘマスガ、其ノ點如何デアリマスカ

○平川政府委員 林業會ニ於テモ林産組合ニ於テモ、林業ナリ或ハ林産業ニ密接ナル關係ヲ有スル事

業ヲ營ム者ト云フモノヲ會員又ハ組合員ニナリ得ルヤウニ致シテ居リマスガ、此ノ密接ナル關係ヲ有スル事業ヲ營ム者ト云フノガ、御話ノ林産物ヲ需要スル側ノ可ナリ大キナ部分ヲ占メルデハナカラウカ、例ヘバ土建業者或ハ木工業者、是ハ最終ノ需要者デハアリマセヌケレドモ、併シ林産物ト云フ立場カラ見レバ、需要者ノ立場ニアル、可ナリ大キナ部分ガ之ニ入ル譯デアリマス、純粹ノ最終需要者ニ付キマシテハ、之ニ組合員或ハ會員トシテ參加ハセシメテ居リマセヌケレドモ、例ヘバ林業會ノ特別議員ト云フヤウナモノハ、是ハ學識經驗アル者ト云フヤウニナツテ居リマスガ、サウ云ツタ部類ノ特別議員ノ中ニ、消費者ノ意思ヲモ反映セシメ得ルヤウナ、廣イ立場ノ人ヲ入レルト云フ運用ガ出來ルカト思ツテ居リマス

○綿貫委員 企業許可制度並ニ府縣「ブロック」制、此ノ制度ヲ今、以テ廢止シナイデ何時マデ存續スルカ此ノ點ニ付テ御尋ネ致シマス

○平川政府委員 企業許可制度ニ付キマシテハ、是ハ此ノ自治統制ヲヤリマス必要ナル間ト云フヤウニ考ヘテ居リマス、詰リ經濟安定本部ト云フヤウナ機構ガ存續致シマシテ、何等カノ形ニ於ケル物資ノ統制ト云フモノガ必要デアル間ハ、餘リ素リニ誰デモ自由ニ之ヲヤレルト云フコトニナリマス

ト、自治統制モヤリニクイデハナ
カラウカト云フ意味ニ於キマシ
テ、經過的ニ此ノ企業許可制度ヲ
存置スルヤウニ致シテ居リマス、
勅令デ其ノ期間ヲ定メルコトニ致
シテ居リマス、經濟安定本部ノ存
續期間トハ一致セシムル考ヘデ
アリマス

○總務委員 ソレト關聯致シマシ
テ、薪炭ノ統制ヲ廢止スル意思ハ
ナイカ、特ニ帝國薪炭統制會社ト
申シマスカ、是ハ生産モシナケレ
バ配給モヤラナイ、殆ド働カズニ
眠リ口錢ノミヲ取ツテ居ル會社デ
アリマス、當然斯ウ云フモノハ止
メサシテシマフベキデアルト考ヘ
マスガ、如何ニ御考ヘデアリマセ
ウカ、尙ホ道府縣林產燃料組合、
薪炭生産組合、生産團體或ハ都道
府縣燃料配給統制組合、ソレカラ
農業會ガ一部取ツテ居ル所謂配給
機關ニ依リ取扱ト云フモノハ、是
ハ何レモ中間搾取機關トハ斷言出
來マセヌケレドモ、チリム、バラ
バラノ取扱ヲ致シテ居リマシテ、
其ノ能率ガ上ラナイコトダケハ誰
シモ認メル所デアリマス、一部デ
ハ全部木炭ハ農業會取扱ハセロト
云フヤウナコトモ言ハレマスガ、
私ハ此ノ農業會ガ販賣購買ノコト
ヲ全部取扱ツタリ或ハ加工事業ヲ
ヤツタリ、色々ナコトヲヤル以外
ニ金融マデ抑ヘテ居ツテ、所謂獨
占ノ弊ニ陥ツテ居ル爲ニ、將來此
ノ農業會ト云フモノハ餘程改革ヲ

行ハナケレバナラス、其ノ現ハレ
トシテ所謂農業協同組合ガ出來
ルモノト考ヘテ居リマスガ、此ノ
農業會ニ取扱ハスト云フコトハ、一
寸贊成シ兼ネマスケレドモ、今後
ノ町村財政ガ非常ニ窮屈ニナル、
其ノ意味ニ於テ町村ガ收益事業ヲ
行フコトハ好マシイコトデアルト
云フ風ニ內務當局アタリガ言ツテ
居ルコトニ鑑ミマシテ、此ノ木炭
ヲ全部生産地ハ生産地ノ町村、消
費地ハ消費地ノ町村ニ扱ハシテ、
サウシテ適正ナル手数料ヲ各町村
ニヤルト云フコトニ致シマスレ
バ、非常ニ統制ガ取レ、且ツ町村
ノ役場モ財政的ニ潤ハセルコトト
存ジマスガ、此ノ點ニ付キマシテ
如何ニ考ヘテ居ラレカト云フコ
ト、尙ホ木炭ノ本年度ノ需給ノ見
透シト云フ點ニ付テ御尋ネ致シタ
イト思ヒマス

○中尾政府委員 只今ノ所薪炭ハ
指定サレテ居リマセヌデ、本法案
ニ依ツテ早速實施致シマスノハ木
材ニ付テノミ考ヘテ居ルノデアリ
マス、薪炭ノ問題ハ只今關係方面
ト協議中デアリマシテ、見透シガ
付ケバ指定スル積リデ居リマス、
ソレカラ帝國薪炭ノ問題デアリマ
スガ、帝國薪炭ハ普通炭ノ生産事
業ハ致シテ居ルノデアリマスガ、
只今「ガス」用木炭ノ配給モ致シテ
居リマスシ、又「ガス」用薪ノ配給
モ致シテ居ルノデアリマスガ、色
色生産機關方面、或ハ又配給機關

方面トノ關係モアリマスノデ、此
ノ調整ニ付テハ只今慎重ニ考慮研
究ヲ致シテ居リマス、尙ホ薪炭ノ
配給ノ方式デアリマスガ、是ハ只
今色々御話ガアリマシタ通り、中
間ニ色々機關ガアルノデアリマ
スガ、只今薪炭ノ方ハ政府ノ特別
會計ニ依リマシテ買取並ニ配給ヲ
致シテ居リマス、其ノ中間ニ於テ
買取輸送、是ハ小運送ノ方デアリ
マシテ、發驛マデノ輸送デアリマ
スガ、之ヲ代行セシメテ居ル組
合、是モ農業會ガヤツテ居ル部面
モアリマスシ、或ハ燃料統制組合
デヤツテ居ル部面モアリマス、或
ハ又一部薪炭燃料株式會社デヤツ
テ居ル部面モアルノデアリマス、
一部錯綜シタ面モアリマスノデ、
此ノ方式ニ付キマシテハ、只今慎
重ニ研究ヲ致シテ居リマス、不合
理ナ點ハ此ノ際ニ正シテ行キタイ
ト考ヘテ居リマス、尙ホ此ノ薪炭
ノ取扱ヲ町村ニヤラセタラドウカ
ト云フ御意見デアリマスガ、此ノ
コトニ付キマシテハ、今マデ町村
ニ取扱ハセルコトニ付テハ考ヘテ
居リマセヌデシタガ、御意見ノコ
トモアリマスノデ、更ニ研究シテ
見タイト考ヘマス

○總務委員 文部大臣ガ御出席ニ
ナリマシタノデ一言ダケ御伺ヒ致
シマス、先般本會議ニ於テ御答辯
ヲ戴カウト思ヒマシタガ、時間ノ
關係デ其ノ儘ニナリマシタガ、唯
一點御伺ヒシタイノハ、從來トモ

重要デアツタニハ違ヒアリマセヌ
ケレドモ、動トモスルト等閑視サ
レマシタ所ノ林業ト云フカ、林政
ト云フモノガ、今後ノ我が國ノ事
情トシテハ非常ニ重要視シナケレ
バナラス現狀ニアルノデアリマシ
テ、之ニ對シテハ教育ノ方針モ自
ラ重大視サレル所以デアラウト考
ヘマスガ、大臣ノ林業ニ對スル所
ノ教育ノ根本方針ニ付テノ御抱負
ヲ承リタイス様ニ考ヘマス

○田中國務大臣 文部省ト致シマ
シテハ、從來林業ノ方面ニ付テノ
教育ハ御承知ノ通り大學ナリ或ハ
高等專門學校ナリ、或ハ實業學校
ナリニ於テ、或ル程度マデ實施ヲ
シテ參ツタノデアリマスガ、併シ
今日我が國家ノ狀態ヲ考ヘテ見マ
スト、戰時中ノ森林ノ濫伐等ノ結
果、現ニ木材ノ不足ヲ來シ或ハ又
洪水ノ原因ニモナツテ居ルト云フ
ヤウナ、林業ト云フモノガ如何ニ
今後ノ日本國家ノ再出發ニ對シテ
重要デアアルカト云フコトヲ、朝野
ヲ舉ゲテ痛感シテ居ルヤウナ次第
デアリマシテ、此ノ林業方面ニ對
スル教育ニ付テハ、其ノ振興ニ付
テ更ニ一段ノ考慮ガ拂ハレナケレ
バナラナイト存ジマス、専門技術
者ノ養成ト云フヤウナコトモ、今
後益々其ノ需要ガ増加スルニ違ヒ
ナイト存ジテ居リマス、又一般ノ
森林愛護ト云フヤウナ思想ニ付テ
モ、初等教育ニ於テモサウ云フ精
神ヲ徹底サセル必要ガアルノデハ

ナイカ、色々不始末カラ火災ヲ起
スト云フヤウナコト、其ノ他森林
愛護ノ精神ガ足ラナイ爲ニ徹底サ
セル必要ガアルノデハナイカ、色
色不始末カラ火災ヲ起スト云フヤ
ウナコト、其ノ他森林愛護ノ精神
ガ足ラナイ爲ニ國家ガエライ損失
ヲ招クト云フヤウナコトモ從來ア
ツタ譯デアリマスカラ、サウ云フ
意味合ニ於テ一般的ニ國民ノ間ニ
森林愛護ノ精神ヲ徹底サセルト云
フヤウナ普通ノ教育ノ方面ニ於キ
マシテモ、大イニ力ヲ注グ必要ガ
アルト云フコトヲ痛感致シテ居リ
マス、即チ或ハ高等專門教育、專
門家ヲ養成スルト云フ意味ノ教育
ニ於キマシテ、或ハ一般國民教育
ニ於キマシテ、林業ト云フモノニ
對シ教育ノ面カラ多大ナル考慮ヲ
拂ハナケレバナラナイト云フ風ニ
存ジテ居ル次第デゴザイマス

○總務委員 之ヲ具體的ニ申シマ
スナラバ、國民學校ノ高等科ニ林
業ニ對スル科目ヲ取入レルトカ云
フコトモ、ツツノ現ハレデアリマセ
ウガ、私ハ北陸ニ居リマシテ雪國
デアツテ特殊ノ地帯デゴザイマス
ガ、其ノ山間部ニ於ケル所ノ山村
ノ子弟ハ十里、二十里ヲ出テ行カ
ナケレバ中等教育ヲ受ケルコトガ
出來ナイ、併シ皆向學心ニ燃エテ
居ル、而モ平地ニ出テ行ツテ學
ダ所ノ學問ハ山ニ歸ツテモ殆ド聞
テ、私ハ眞ノ山村ノ眞中ニ山林學

校ト云ヒマスカ、農林學校ヲ設立致シマシテ、食糧事情等ノ關係モゴザイマスシ、現地ニ於テ製絲デアルトカ、蠶絲ト云フヤウナ山間獨特ノサウ云ツタ科目ト併用致シマシテ、是非トモ山間、子弟ノ教育ニ意ヲ用ヒテ戴キタイ、斯様ニ考ヘマスガ、其ノ具體的ノ案ニ付テノ御考ヘハゴザイマセヌデセウカ

○田中國務大臣 只今御指摘ニナリマシタヤウナコトハ、私ハ非常ニ必要ナコトダト存ジマス、實ハ從來ノ教育ト致シマシテハ中央集權的、全國畫一的ニナツテ居リマシテ、教育ガ農山漁村等ノ特殊性ヲ考慮シテ、十分彈力的ニヤルヤウナコトガ出來テ居リマセヌ、此ノ點非常ニ遺憾ニ思ツテ居リマス、今度教育行政ノ方ノ制度ヲ改革致シマス時ニハ地方ノ實情ト云フモノヲ考慮致シマシテ、地方分權的ニ制度ヲ改メヨウトシテ居リマスカラ、隨テ例ヘバ全國ヲ數個ノ「ブロック」ニ分ケマシテ、ソコニ教育ノ地方的ノ企畫本部ノヤウナモノガ出來マス、サウ云フ所デ地方ノ實情ニ應ジタヤウナ風ニ企畫シ得ルヤウニ致シタイと思ヒマス、山村ノ林業ニ付テノ知識ヲ與ヘルト云フヤウナコトモ可能ニナルト云フ風ニ考ヘテ居リマス次第デゴザイマス

○總務委員 文部大臣ノ御答辯能ク諒承致シマシタ

○井出委員 關聯致シマシテ文部大臣ニ御尋ネ致シマス、大學ノ演習林デゴザイマスガ、從來東京帝大ハ髓カ朝鮮ニアツタヤウニ思ヒマス、京都帝大ハ臺灣ニ持ツテ居ツタヤウニ思ヒマスガ、斯ウ云ツタ海外領土ノ喪失ニ伴ヒマシテ、此ノ演習林ノ補充ヲ内地ノ國有林アタリヘ求メルト云フヤウナ御考ヘハゴザイマセヌデセウカ

○田中國務大臣 是ハ大學ノ方デ若シ要望ガアリマスナラバ考慮致シタイと思ツテ居リマス、演習林ノ問題ハ現在大學ガ持ツテ居ル演習林ニ付テモ、色々輿論ガゴザイマスヤウデゴザイマス、併シ只今仰セノヤウナ意味ニ於キマシテモ、實現ガドノ程度ニ於テ、可能デアルカ、是ハマダ分リマセヌノデゴザイマス、サウ云フ要望ガ大學ニアリマスナラバ、詰リ研究上或ル程度ノ演習林ヲ求メナケレバナラナイト云フヤウナコトデアリマスナラバ、大學當局ノ要望ニ依ツテ考慮シナケレバナラナイコトデアルト存ジマス

○井出委員 演習林ニ付テ何カト色々輿論ガアルヤウデゴザイマスガ、此ノ點ニ付テハ大臣モ御認識ニナツテ居ラレルヤウデアリマスカラ、此ノ程度デ關聯質問ヲ終リマス、運輸關係ニ付テ——俗ニ山デ木ヲ貫ツタヤウナモノダト言ヒマスガ、輸送ノ件ハナイ所ノ木材ハ幾ラ論ジテ見テモ意味ヲ成サ

ナイ、此ノ見地カラ輸送ノ問題ニ付テ運輸省當局ニ御伺ヒ致シタイ、私ハ現在ノ我が國ノ經濟ハ輸送經濟ダト云フヤウナ獨斷的ナ考ヘ方ヲ持ツノデアリマス、輸送力コソハ生産増強ノ根源デアル、輸送力即生産力デアル、生産ト輸送トハ二ツニシテハツデアル、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、輸送機關ノ圓滑迅速ヲ活動自體ガ生産ノ擴充トナルモノデアル此ノ意味ニ於テ、海陸一體ノ一聯の輸送ノ強化ガ今日最モ必要トシテ強ク叫バレテ居ル所以デアリマセウ、特ニ鐵道輸送ノ兩端ヲ扼シテ居リマス所ノ貨物自動車輸送、是ノ使命ハ、木材ニ關スル限り重要ナル「ポイント」ヲ制スルモノデアリマス、戰後經營上缺クコトノ出來ナイ木材其ノ他ノ林產物ト云フヤウナモノ、所謂原產物資ガ奧地ニ於テ生産ヲサレタダケデハ何等ノ價值ヲ生ジマセヌ、之ヲ輸送スルコトニ依ツテ、初メテ其ノ用ヲナスコトハ今更中スマデモナイコトデアリマス、此ノ意味ニ於テ新規幹線林道ノ大規模ヲ開發ヲ斷行致シマスコトハ勿論ノコトデアリマスガ、既設林道トノ關聯、又國縣道、町村道、鐵道軌道流木路ト云フヤウナモノヲ一貫シテ關聯性ヲ持タセテ、バラバラノ道路行政ヲ一貫シタル所ノ道路網計畫ノ下ニ實施シ完成シナケレバナラス、此ノ意味ニ於テ今日マデ運輸省ガ自分ノ所ノ營業ニ

屬スル「トラック」道路ニハ其ノ關係スル縣道道路ノ改修費ヲ折半シテ持ツト云フコトマデハヤリマスケレドモ、其ノ鐵道ノ培養線トモナルベキ山間道路ニ對シテハ、何等之ニ助成トカ協力ヲ致シテ居ラヌ、私ハ是ハ當然協力モシ、培養線デアル故ニ其ノ道路ニ對スル助成ヲナスベキモノデアル、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、當局ハ如何ニ御考ヘデスカ

〔委員長退席、氏原委員長代理著席〕

○滿尾政府委員 省營自動車ノ路線ニ付キマシテハ、建設及ヒ其ノ後ノ維持ニ對シテ、費用ヲ分擔シテ居リマスケレドモ、是ハ詰リ受益者負擔ト申シマスガ、サウ云フ意味デヤツテ居リマス、併シナガラ道路一般ニ付キマシテ、運輸省ノ會計ヲ以テマシテ補助致シマスコトハ、一寸ハ範圍ヲ逸脱シテ居ルカト思ヒマス、寧ロサウ云フ角度カラ考ヘルノデナク、御話ノヤウナ線ヲ進メテ參リマスレバ、斯ウ云フ陸上ノ運輸行政ヲ掌ツテ居リマスコトト、道路行政ト合體セシムベキモノデアル、之ヲ分離セシメテ置イデ、費用ノ分擔ナドヲ國有鐵道ニ持タセルコトハ、非常ニ困難デヤナイカ、寧ロ解決ノ方角ハ別途ニ考究サルベキモノデハナカラウカト思ヒマス

○總務委員 其ノ不合理ナル點ガアルカラ、左様申上ゲルノデアリマ

シテ、道路行政、特ニ山間部ノ道路、或ル所ハ林道デ非常ニ酷クナツテ居ル、或ル所ハ村道デ狹ク、蛇ガ蛙ヲ吞シグヤウデアアル、一貫シタ自動車ガ通ラヌノニ、其ノ道路ヲ一方ハ內務省關係デアアル、片方ハ農林省關係デアアルト云フコトデハイケンナイ、何トシテモ一貫シタモノニシナケレバナラス、而モ其ノ上ヲ走ル所ノモノヲ扱フノハ運輸省デアアル、サウスレバ、茲ニ運輸省ト云フモノヲモウ少シ太キクシテ、陸運省ト云フカ何ト云フカ知リマセヌガ、擴大致シマシテ、道路ノ總テヲ握ツタ所ノモノニシナケレバナラス、斯様ニ考ヘルノデアリマシテ、此ノ意味ニ於テ運輸當局トシテ此ノ道路行政ヲ運輸省ノ掌握下ニ、管轄下ニ是非收メテ、オヤリニナル勇氣ト信念ガアルカドウカヲ伺ヒタイ

○滿尾政府委員 事務當局ト致シマシテハ、私ハ自動車行政ヲ管理シテ居ル者デゴザイマスガ、ドウシテモ我が國ノ道路運送ト致シマシテハ、道路ト其ノ上ヲ走ル自動車ノ輸送、其ノ他陸運一般トハ、合體スルコトガ最モ望マシイト考ヘマシテ、實ハ昨年ノ秋以來其ノ方向ニ聊カ微力ヲ盡シテ居リマスケレドモ、我が國ノ官廳組織ノ實際ハ中々難カシウゴザイマシテ、其ノ考ヘハ簡單ニ通ラナイデ居ル實情デゴザイマス

○補資委員 森林鐵道ノ敷設ト云

フコトハ、直チニ收益ガ上リマセヌケレドモ、先程中上ゲマシタ森林ノ重要性ニ鑑ミマシテ、當然考ヘテ戴カナケレバナラヌト存ズルノゴザイマスガ、是等ニ對スル御考ヘ竝ニ計畫等ニ付キマシテ、御意見ヲ承リタイド思ヒマス

○補資委員 其ノ森林鐵道ト仰シヤイマスノハ、國有鐵道ノ一部トシテノ森林鐵道デアリマス、モウ一ツ之ヲ例ヲ引キマスナラバ、今度國有トナリマス所ノ御料林ノ中ニ、森林鐵道ヲ引イテ居ル、ア、云フモノマデモ全部運輸省ノ管下ニ收メテ、之ヲ維持運輸ヲヤルト云フコトモ、運輸ノ統制上望マシイコトデアル、斯ウ云フ意味合ヒニ於テ、今後水力電氣ガ開發サレ、盜人ヲ擱マヘテ繩ヲ綱フノデハイケナイ、今カラ森林鐵道ヲ敷イテ、原產物資ノ輸送ヲヤル、又水力ノ發電計畫ガ實施サレル時ニ於テハ、直チニ鐵道ニ依ツテ機械ガ運バレルト云フ所ノ森林鐵道ノ敷設ト云フコトニ付テノ御意見ヲ承リタイ

○補資委員 生憎ト御質問ノ要點ニ觸レマシテハ、私ノ所管外ノコトデゴザイマシテ、餘リ肯綮的御回答ハ難カシイデアリマスガ、唯部内ニ居ル者トシテ、一般

情勢ヲ便宜上中上ゲマスナラバ、只今ノ占領下ニ於ケル國有鐵道ト致シマシテ、來年度、本年度アタリノ新線建設ノ費用ハ、G・H・Qノ方カラ非常ナ削減ヲサレタノデゴザイマス、大體ノ考ヘ方ガ幹線ノ輸送力ニ於テ、戰災ヲ受ケテ非常ニ低下シテ居リマスルノデ、之ヲ速急ニ復舊セヨ、其ノ方ニ全力ヲ舉ゲルヤウナ政策ヲ執ツテ居ラレマス、勿論論者トシテモ其ノ方向デアリマシタガ、極端ニ新線ハ抑ヘテ、何ハ措イテモ復舊ニ努力スベシ、斯ウ云フ方向デゴザイマス、隨テ最近失業救済等ノ爲ニ又若干ノ新線ヲ追加サレテハ居ルヤウデアリマスケレドモ、是ハマダ極メテ微々タルモノデ、積極的意圖ヲ以テ、色々ナ社會ノ實情ニ合フヤウニ、其ノ需要ヲ充ス爲ノ新線計畫ト云フモノハ、未ダ其ノ時機デナイカノヤウニ見テ居リマス

○補資委員 關係筋ノコトナレバ、其ノ點ヲ打切ツテ置キマス、道路ノコトヲサツキカラヤカマシク言ヒマシタガ、如何ニ道路網ガ四通八達シ、路面ガ良クナツタト致シマシテモ、之ニ配スルニ貨物自動車ガ相當ナケレバナラナイ、是ガナケレバ佛作ツテ魂ヲ入レナイモノデアアル、アナタノ方ノ御關係デ言ヘバ「レール」ハ敷設シタケレドモ、上ヘ乗セル所ノ貨車モナケレバ石炭モナイト云フヤウナモノデアリマシテ、山林ノ物資ヲ

出ス爲ニハ道路ガ第一デアル、道路ハ出來タガ、今度ハソレヲ運ブ所ノ自動車ガ潤澤デナケレバナラヌ、斯ウナルノデアリマスガ、現在貨物自動車ノ國內ノ製造狀態ハドウナツテ居ルカ、ソレカラ「アメリカ」カラ一萬臺バカリ輸入ノ手續ガ濟ンダヤニ聞イテ居リマス、是ハ運輸省ガ山間部ノ餘り條件ノ好クナイ所ノ輸送ヲスル爲ニ、其ノ何割カヲ省營トシテ持ツテ、原產物資、林產物ノ輸送ニ當ルトモ聞イテ居リマスガ、其ノ「バーセンテージ」ハ何ボデ、一般ニハドウ云フ風ナ輸送ヲスルノカ、特ニ山間部ノ輸送ニ相當重點ヲ置イテ配給スルコトガ好マシイ

○補資委員 自動車ノ問題ニ付キマシテハ、我方國ノ生産高ハ大體G・H・Qカラ月産千五百輛ノ「トラック・シャーシー」ノ製造ヲ許可サレテ居リマス、乘用車ハ許可サレテ居リマセヌ、其ノ實績ニ於キマシテハ、本年ノ二月マデハ大體月産五百臺未滿デゴザイマシタ、昨年ノ十月頃ノ許可デアリマス、所ガ此ノ三月カラ實績ガ舉リマシテ、三月ニハ千臺ヲ一寸出マシタ、最近デハザツト千五百輛位ノ生産ヲ見テ居リマス、所ガ資材ノ面ニ於キマシテ甚ダ心細イ實情デアリマス、商工省ガ公式ニ自動車ノ製造ノ資材トシテ、例ヘバ鐵

鋼ヲ割當デマシタモノハ、一四年期ニ對シテ四千「トン」位デアリマス、所ガ實際要ルノハ、二萬「トン」位要ル、隨テ千五百臺造ツタノハ、何デ造ツタカト言ヘバ、マア隱匿物資ト云ヒマスカ、軍關係ノ所謂「ストック」ノモノヲ方々カラ擧集メテ、正式「ルート」以外ノ資材ニ依存シテソレヲ造ツテ居ル、所ガ一體斯様ナ非公式ノ資材ニ、何時マデ依存シテ行ケルカト云フ點ニ、私ハ此ノ問題ノ一ツノ山ガアルト考ヘテ居リマス、製造業者ニ於テハ色々ナ困難ヲ克服シテ、生産能力ハ割合上ツテ來テ居ルノデアリマスケレドモ、資材ノ永續性ト云フ問題デ、前途ハ必ズシモ樂觀ヲ許サナイ、斯ウ思ツテ居リマス、輸入ノ問題ニ付キマシテハ、先般來色々巷間傳ヘラレタノデアリマスルガ、噂ノ方ガ少シ先定リヲ致シテ居リマシテ、實ハソレ程具體化致シテ居リマセヌ、併シナガラ見込ガナイカト云フト、サウモ言ヘナイノデアリマシテ、色々ナ資料ヲ出シマシテ、是非考ヘテ戴キタイト云フ懇請ハシテ居リマス、併シシカト御報告申上ゲル段階ニハマダ至ツテ居リマセヌ、ソレカラ山間ノ木材等ノ原產物資ノ輸送ニ付キマシテハ、實ハ輸送力ノ足りナイ時デゴザイマスカラ、是非此ノ方面ニ重點ヲ置イテ輸送致スヤウニ指導ヲ致シテ居リマス、省營自動車ノ部門ニ

於キマシテハ固ヨリデゴザイマシテ、ドウモ民間ノ「トラック」ノ實情ガ、割合ニサウ云フ重量品デ道ノ惡イ山ノ中ニ入ルノ好マナイ傾向ガアル、且又運賃等モ相當行ハレテ居ルヤウニ見マシタノデ、私ハ四月ノ初メカラ大體省營デ今マデヤツテ居ナカッタ「トラック」營業ヲ始メテ、指導運送ト致シマシテ、是ハ二百五十輛デゴザイマシタカラ僅カデゴザイマスガ、兎ニ角公定價格デドンナ歩ノ惡イ所デモドン／＼入ツテ行ツテ重要ナ物資ヲ送ルヤウニ、隨テ數量ハ少イナガラソレガ民間ノ「トラック」業者ヲ刺戟致シマシテ重要ナ輸送ニハ別ルイ輸送ヲ致スヤウニト云フ積リデ左様ナコトヲ只今始メテ居リマス、全國三十二箇所バカリデサウ云フ仕事ヲ今ボツボツ始メテ居リマス

○補資委員 サウ致シマス「トラック」ニ對スル國內生産並ニ輸入ニ付テノ輸送ハ餘リ輝カシイモノデナイ、斯様ニ了承シテ宜イト云フコトデゴザイマス

○補資委員 國內生産ニ付キマシテハ、結局原資料ノ供給ノ如何ニ懸ツテ居ルト考ヘラレマス、ソレカラ輸入ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ相手方ノ肚ノ問題デゴザイマシテ、當方ト致シマシテハ色々ト御願ヒハ致シテ居リマス、隨テ米軍ノ好意ニ依リマシテ、強チ悲觀スルコトモナイカト考ヘテ

出ス爲ニハ道路ガ第一デアル、道路ハ出來タガ、今度ハソレヲ運ブ所ノ自動車ガ潤澤デナケレバナラヌ、斯ウナルノデアリマスガ、現在貨物自動車ノ國內ノ製造狀態ハドウナツテ居ルカ、ソレカラ「アメリカ」カラ一萬臺バカリ輸入ノ手續ガ濟ンダヤニ聞イテ居リマス、是ハ運輸省ガ山間部ノ餘り條件ノ好クナイ所ノ輸送ヲスル爲ニ、其ノ何割カヲ省營トシテ持ツテ、原產物資、林產物ノ輸送ニ當ルトモ聞イテ居リマスガ、其ノ「バーセンテージ」ハ何ボデ、一般ニハドウ云フ風ナ輸送ヲスルノカ、特ニ山間部ノ輸送ニ相當重點ヲ置イテ配給スルコトガ好マシイ

○補資委員 自動車ノ問題ニ付キマシテハ、我方國ノ生産高ハ大體G・H・Qカラ月産千五百輛ノ「トラック・シャーシー」ノ製造ヲ許可サレテ居リマス、乘用車ハ許可サレテ居リマセヌ、其ノ實績ニ於キマシテハ、本年ノ二月マデハ大體月産五百臺未滿デゴザイマシタ、昨年ノ十月頃ノ許可デアリマス、所ガ此ノ三月カラ實績ガ舉リマシテ、三月ニハ千臺ヲ一寸出マシタ、最近デハザツト千五百輛位ノ生産ヲ見テ居リマス、所ガ資材ノ面ニ於キマシテ甚ダ心細イ實情デアリマス、商工省ガ公式ニ自動車ノ製造ノ資材トシテ、例ヘバ鐵

鋼ヲ割當デマシタモノハ、一四年期ニ對シテ四千「トン」位デアリマス、所ガ實際要ルノハ、二萬「トン」位要ル、隨テ千五百臺造ツタノハ、何デ造ツタカト言ヘバ、マア隱匿物資ト云ヒマスカ、軍關係ノ所謂「ストック」ノモノヲ方々カラ擧集メテ、正式「ルート」以外ノ資材ニ依存シテソレヲ造ツテ居ル、所ガ一體斯様ナ非公式ノ資材ニ、何時マデ依存シテ行ケルカト云フ點ニ、私ハ此ノ問題ノ一ツノ山ガアルト考ヘテ居リマス、製造業者ニ於テハ色々ナ困難ヲ克服シテ、生産能力ハ割合上ツテ來テ居ルノデアリマスケレドモ、資材ノ永續性ト云フ問題デ、前途ハ必ズシモ樂觀ヲ許サナイ、斯ウ思ツテ居リマス、輸入ノ問題ニ付キマシテハ、先般來色々巷間傳ヘラレタノデアリマスルガ、噂ノ方ガ少シ先定リヲ致シテ居リマシテ、實ハソレ程具體化致シテ居リマセヌ、併シナガラ見込ガナイカト云フト、サウモ言ヘナイノデアリマシテ、色々ナ資料ヲ出シマシテ、是非考ヘテ戴キタイト云フ懇請ハシテ居リマス、併シシカト御報告申上ゲル段階ニハマダ至ツテ居リマセヌ、ソレカラ山間ノ木材等ノ原產物資ノ輸送ニ付キマシテハ、實ハ輸送力ノ足りナイ時デゴザイマスカラ、是非此ノ方面ニ重點ヲ置イテ輸送致スヤウニ指導ヲ致シテ居リマス、省營自動車ノ部門ニ

出ス爲ニハ道路ガ第一デアル、道路ハ出來タガ、今度ハソレヲ運ブ所ノ自動車ガ潤澤デナケレバナラヌ、斯ウナルノデアリマスガ、現在貨物自動車ノ國內ノ製造狀態ハドウナツテ居ルカ、ソレカラ「アメリカ」カラ一萬臺バカリ輸入ノ手續ガ濟ンダヤニ聞イテ居リマス、是ハ運輸省ガ山間部ノ餘り條件ノ好クナイ所ノ輸送ヲスル爲ニ、其ノ何割カヲ省營トシテ持ツテ、原產物資、林產物ノ輸送ニ當ルトモ聞イテ居リマスガ、其ノ「バーセンテージ」ハ何ボデ、一般ニハドウ云フ風ナ輸送ヲスルノカ、特ニ山間部ノ輸送ニ相當重點ヲ置イテ配給スルコトガ好マシイ

○補資委員 關係筋ノコトナレバ、其ノ點ヲ打切ツテ置キマス、道路ノコトヲサツキカラヤカマシク言ヒマシタガ、如何ニ道路網ガ四通八達シ、路面ガ良クナツタト致シマシテモ、之ニ配スルニ貨物自動車ガ相當ナケレバナラナイ、是ガナケレバ佛作ツテ魂ヲ入レナイモノデアアル、アナタノ方ノ御關係デ言ヘバ「レール」ハ敷設シタケレドモ、上ヘ乗セル所ノ貨車モナケレバ石炭モナイト云フヤウナモノデアリマシテ、山林ノ物資ヲ

出ス爲ニハ道路ガ第一デアル、道路ハ出來タガ、今度ハソレヲ運ブ所ノ自動車ガ潤澤デナケレバナラヌ、斯ウナルノデアリマスガ、現在貨物自動車ノ國內ノ製造狀態ハドウナツテ居ルカ、ソレカラ「アメリカ」カラ一萬臺バカリ輸入ノ手續ガ濟ンダヤニ聞イテ居リマス、是ハ運輸省ガ山間部ノ餘り條件ノ好クナイ所ノ輸送ヲスル爲ニ、其ノ何割カヲ省營トシテ持ツテ、原產物資、林產物ノ輸送ニ當ルトモ聞イテ居リマスガ、其ノ「バーセンテージ」ハ何ボデ、一般ニハドウ云フ風ナ輸送ヲスルノカ、特ニ山間部ノ輸送ニ相當重點ヲ置イテ配給スルコトガ好マシイ

出ス爲ニハ道路ガ第一デアル、道路ハ出來タガ、今度ハソレヲ運ブ所ノ自動車ガ潤澤デナケレバナラヌ、斯ウナルノデアリマスガ、現在貨物自動車ノ國內ノ製造狀態ハドウナツテ居ルカ、ソレカラ「アメリカ」カラ一萬臺バカリ輸入ノ手續ガ濟ンダヤニ聞イテ居リマス、是ハ運輸省ガ山間部ノ餘り條件ノ好クナイ所ノ輸送ヲスル爲ニ、其ノ何割カヲ省營トシテ持ツテ、原產物資、林產物ノ輸送ニ當ルトモ聞イテ居リマスガ、其ノ「バーセンテージ」ハ何ボデ、一般ニハドウ云フ風ナ輸送ヲスルノカ、特ニ山間部ノ輸送ニ相當重點ヲ置イテ配給スルコトガ好マシイ

居リマス

○總務委員 ドサクサ紛レニ、軍カラ多數ノ自動車ガ、放出サレタカ盗ンデ出タカ知りマセヌガ、兎ニ角一般ニ流レ出タノデアリマスガ、是ガドレ位アツタノカ、又今日ドウ云フ所ニ紛レ込ンデ居ルノカ、此ノ自動車ガ所謂自家用貨物自動車ト同様ニ間行爲ノ温存體デアルト云フコトハ衆知ノ事實デアリノデアリマス、斯ウ云フモノガアリマス爲ニ、林産物ニ對スル新ウシタ法案ガ出来、或ハ官治、或ハ自治統制ト名前ハ變リマスガ、或ル程度ノ統制ヲ加ヘヨウトシデモ、此ノ統制ガ非常ニ亂レル譯デアリマシテ、是等ノ横流シト云フヤウナ原因ヲナス所ノ自動車ニ對スル取締措置ト云フモノニ付テ如何ニ考ヘテ居ラレマスカ

○浦尾政府委員 軍用自動車ノ放出ニ付キマシハテ、昨年G・H・Qノ好意ニ依リマシテ、陸軍車デハ千五百輛バカリ、海軍車デ二千三百輛バカリ、ザット一萬一千輛位ノモノガ日本政府ニ還付シテ貰ツタ、所謂特殊物件ト云フコトニナリマシテ、内閣ニ於テ特殊物件處理委員會ト云フモノガ出来、其ノ中ノ自動車部門ニ關シテ私共ニ配付ノ具體案作成ノ御要求ガアツタ、私共ハ其ノ任ニ當リマシテ、特殊物件處理委員會ノ承認ヲ經マシテ之ヲ配付致シマシタ、所ガ此ノ車ノ實情ハ非常ニ惡カツタ、八

月十五日ニ終戦致シマシテ、大體

其ノ車ノ引取ニ掛ツタノハ十二月カラ一月、二月ト云フノデ、ソレマデノ間ノ保管ノ費ト云フモノハ非常ニ不明確ニナツタ爲ニ、實際ハ車ガドレダケアルカト云フコトモ確カメ得ナカツタ、大體實績ヲ捉ヘテ計畫致シマシタノデハ暇ガ掛リマスノデ、陸軍ノ當時ノ當局カラ大體ドノ軍管區ニハドレダケアル管ダト云フ資料ヲ貰ツテ配付計畫ヲシマシタノデ、實地ト合ハナイヤウナ面ガ多々出テ來タコトガ一ツ、ソレカラ車ノ狀態ニ付キマシテモ、其ノ間相當時間ガ經チマシタノデ、部品ヲ取ラレシマフトカ、色々ナ状態ニナリマシテ實際ハヨク分リマセヌデスガ、凡ソノ見込トシマシテ、動ク車ハ三割位デナカツタカ、其ノ他ノモノハ相當多額ヲ修繕費ヲ加ヘナケレバ動カナイ、或ハ又形ダケアルケレドモ、幾ラ修繕シテモ動カスト云フヤウナ車モ相當アツタコトト想像サレテ居リマス、是等ノモノニ付キマシテハ、所謂重要物資ノ輸送ト云フコトヲ念頭ニ置キマシテ、一ツノ理念ヲ持つテ分ケテ譯デアリマス、所ガ、實際世ノ中ニ流レ出テ開ノ根源ニナリマシタモノハ、終戦直後ニソレノ一部隊カラ直取引デ、個人的ナ色々ナ事情ガアツタラウト思ヒマスガ、公式ノ「ルート」ヲ通ラナイイ民間ノ車ノ實情ハ非常ニ惡カツタ、是ハ

ヨク分ラヌ、マア推定デゴザイマ

スガ、約七千輛ハアツタラウト思ヒマス、隨テ此ノ七千輛ノ車ハ、最モ車ノ良イ狀態ノモノガ逃ゲタ、デアリマスカラ、是ハ殆ド全部動ク車デアツタニ違ヒナイト想ヒマス、殘シテアツタモノハ皆ボロ自動車デアル、此ノ七千輛ノ行キマシタ先ハドウモ餘リ立派ナモノデナイ、昨年ノ秋ニ正規ノ「ルート」ニ配給ヲ致シマス時ニ地方長官ニ通牒ヲ出シマシタガ、其ノ配給精神ニ依ツテ事實上民間ノ手ニ入ツタ不適當ナ人達ノ持つテ居ル車ニ付テ配置換ヘテ斷行スル、再配置換ヘテスベシト云フ通牒ヲ地方長官ニ出シタノデアリマスケレドモ、ドウモ其ノ指令ガ必ズシモ忠實ニ遵奉サレナカツタ、色々地方ノ政治の事情等モアリ、有力者ノ手ニ入ツテ居ルト云フヤウナモノガアルンダラウト思ヒマスガ、縣ニ依リマス、非常ニ正確ニ、自分ノ所ノ車ヲ調べ見タラ斯ウ云フ工合ニナツテ居ツタ、ソレヲ通牒ノ精神ニ基イテ私ハ斯ウ云フ工合ニ配置換ヘテ致シマシタト云フ新舊對照表ヲ送ツテ來ラレタ所モアル、是ハ大分縣知事デアリマスガ、斯ウ云フヤウナ非常ニ立派ナ知事サンモ居ラレル、併シ多クノ知事サンハ其ノ點ノ履行ニ付テハ餘リ的確デナカツタト私ハ考ヘルノデアリマス、隨テ是ガ世ノ中ニ横行シテ居ル種デアリマシ

テ、私共非常ニ憫シデ居リマス、

實ハ七月下旬ニ、東京都内ニ於テ警視廳ガ車輛ノ運賃ノ一齊檢査ヲ致シマシタ、所ガ、成程營業車ノ中ニモ若干ノ違反者ガ出マシタ、併シナガラ其ノ件數ハ少クテ、自家用車デ營業行爲ヲシテ居ルモノガ壓倒的ニ多カツタ、又規定料金ヲ超過シテ居ル程度ニ於キマシテモ、營業車ニ於キマシテハ一件ダケ三倍位取ツタモノガアリマスガ、其ノ他ハ六割カラ七八割位ノ超過デアル、所ガ自家用ノ間ヲヤツテ居リマスモノハ三倍四倍ハ軒並ニアル譯デアリマス、コ、ラニ於キマシテモ、我が國ノ輸送ノ分野ト云フモノヲ實ハ此ノ七千輛ガ本ニナツテ色々ト面白クナイ現象ヲ出シテ居ルノダト考ヘテ居リマス、今度ノ議會ニ自動車交通事業法ノ一部改正ノ法律案ヲ提出シテ居リマスガ、此ノ中デ、自家用ニ關スル取締ノ條項ヲ入レマシテ之ヲ強化シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○總務委員 今監理局長ハ省營デ以テ山間部ノ引合ハナイ所ヲ圓滑ニ運賃ヲヤラセテ居ル、而モ非常ニ明朗ニ運賃ヲシテ居ル、斯ウ仰シヤツタノデアリマスガ、一體ソレナラバ、「タイヤ」ハ幾ラデ買ツテ居ルカ、「ガソリン」ハ幾ラデ買ツテ居ルカ、斯ウ云フ問題ニナリマス、民間ノ今日ノ「トラック」業者ノコトヲ聽キマス、

「タイヤ」一本二千圓カラ三千圓、「ガ

ソリン」ガ五十「ガロン」入一本二千五百圓カラ三千圓、四千圓、「モビール」ガ五千圓、部品亦之ニ準ズル、斯ウ云フコトデハ明朗ニナラス、農家ガ米ヲ賣ル、ソレハ片方公定價格デ、農機具ヲヤレバサウ云フコトハ起ラヌト同様デアリマシテ、運輸省ダケガ明朗ナル官業ヲヤルノデナクシテ、外ニモ範ヲ示シテ、民業ニ於テモ明朗ナル運賃ヲヤラスノニハ、ヤハリ御役所ト同様ニ「タイヤ」デアルトカ、燃料デアルトカ、或ハ其ノ他ノ部品ヲ容易ク入手セシメルヤウニシナケレバナラス、此ノ見地ヨリ致シマシテ、今日ノ「ガソリン」デアルトカ、或ハ「タイヤ」等ノ「」是ハ或ハ商工省關係カ知りマセヌケレドモ、是等ノモノノ現在狀況及ビ將來ノ見込ニ付テ御伺ヒシタイ、特ニ林産物資ヲ運ブ所ノ山間道路ハ非常ニ峻嶮デアリマシテ、「トラック」ノ「タイヤ」ノ如キモ傷ミガ非常ニ多イノデアリマス、此ノ意味ニ於テ今日山間部ノ木炭、木材ヲ出スノニ自動車ガアリナガラ「タイヤ」ガ入手出來ナイト云フコトデ、雪空ヲ控ヘテ其ノ二割、三割モガ運ベナイト云フ現狀ニアルノガ例年ノ例デアリマス、當局トシテハ是等林産物資輸送ニ對スル自動車ニ對シマシテハ、燃料、「タイヤ」ヲ特配シテ民間ノ自動

車ヲ十分ニ其ノ能力ヲ發揮セシメ
ルコトガ林産物生産ノ終局ノ目
的ヲ達成セシメル所以デナカラウ
カ、斯様ニ考ヘルノデアリマス
ガ、御意見ヲ伺ヒタイ

○滿尾政府委員

實ハ我方國ノ輸
送界ヲ考ヘマシテ車ノ何處ニ一
際路ガアルカト考ヘマスト、私ハ
車ノ臺數ヨリモ燃料ヤ「タイヤ」
ノ問題ダト考ヘマス、「タイヤ」ノ
事情ハ五萬輛車ガ走ルトシマシテ
補充ノ「タイヤ」ガ四十二萬本バ
カリ要ル、其ノ外ニ今休ンデ居ル
車デ起サウトシテ居ル車ノ分ガ十
萬本バカリ、新シイ車デ一萬三千
本位ソレヤ是ヤデ年ニ六十一萬本
バカリ要ル、之ヲ「ゴム」ノ量ニ
シマストザツト一萬九千「トン」
バカリ要ル、斯ウ云フ一應ノ見透
シヲ立テテ居リマス、所ガ我方國
ニザツト生「ゴム」ガ三萬トン位
アツタ、其ノ中外國ヘ見返リ物資
トシテ割合ニ質ノ良イ所ガ一萬
「トン」バカリ出ル、殘リノ良ク
ナイ分ガ二萬「トン」バカリアル
ト云フヤウナ恰好ニナツテ居リマ
ス、生「ゴム」ノ供給力ノ面ニ於
テ是レ亦非常ニ芳バシクナイ情勢
ニアル譯デアリマス、隨テ二十一
年度ノ第一四半期分ノ割當ハ僅カ
ニ三萬六千本位シカ配當シテ居ラ
ヌ、是デハ足りマセヌ、隨テ「タ
イヤ」ノ面ニ付キマシテハ、「ゴ
ム」ノ供給源ト云フ問題デハ餘
程考ヘナケレバナラヌト思ツテ居

リマス、ソレカラ油ノ方デ申シマ
スト、大體月ニ二萬「トン」位我
我ハ要ルト計算シテ居リマスガ、
之ニ對シテ實際ハ五割五分、一萬
一千「トン」位シカ入ツテ居ラス
ト云フコトデ、是等モ色々事情ヲ
訴ヘマシテ輸入ノ要請方ヲ今後努
力シテ行カウト云フ譯デアリマス

○總務委員

只今ノ結論トシテ、
運輸省ノ方ニ於テ一番重點トスル
所ニ「タイヤ」トカ「ガソリン」
ヲ分ケヨウト言ハレルノデアリマ
スガ、今日山間部ノ雪空ヲ控ヘタ
所ニハ特別ノ考慮ヲ拂ツテ戴キタ
イコトヲ特ニ強調シテ置ク次第デ
アリマス

○滿尾政府委員

重點配給ノコト
ニ付テハ若干考ヘテ居リマス、殊
ニ今回ノ聯合軍關係ノ宿舍、兵舍
用ノ輸送材ニ付キマシテハ九ニ聯
ノ印ヲ押シマシテ「ガソリン」ノ
特別ノ指示配給ヲ致シテ居リマ
ス、尙ホ聯合軍以外ノ木材ノ產地
ニ付キマシテモ、ヤハリ若干サウ
シタ氣持ヲ籠メテヤツテ居リマス
ソレカラ運賃ノ問題ハ、大體「ト
ラック」ノ公定運賃ヲ決メマス時
ニハ、決シテ燃料、部品其ノ他ヲ

公定價格デ計算シテ居リマセヌ、
私ノ方トシテハ理窟ヲ抜キニシ
テ、全國ノ典型的ナ業者ヲ拾ヒ出
シ、其處ヘ行ツテアタカハ「ガソ
リン」ヲ幾ラデ買ツタカ、部品ヲ
幾ラデ買ツタカト云フコトヲ聞
テ聽キマシテ、ソレヲ「ベース」
ニシテ運賃ノ改正ヲ致シマシタ、
現在ノ運賃ハ今年ノ三月ニ變ヘタ
モノデゴザイマスガ、鐵道運賃ニ
連レテ改正スルト云フ考ヘデナ
ク、假令鐵道ガ上ゲナクテモ「ト
ラック」運賃ノ實情ニ即シテ上ゲ
ナケレバ無理ダトアレバ上ゲマ
ス、現ニサウシテ居リ、今後モサ
ウ考ヘテ居リマス、最近ノ實情ト
致シマシテハ、業者ノ側カラハ餘
リ値上ノ要求ハ出デ居リマセヌ、
寧ろ値上ノ要求ヨリモ燃料、部品
ノ方ノ話ガ強イノデアリマスガ、
若シサウ云フヤウナ形勢デアレバ
直ガ調査モ致シマス、適當ニ考慮
致シマスガ、目前ノ問題トシテハ
餘リ緊急ノ問題トシテソレハ提出
サレテ居リマセヌ

○總務委員

私共ハ業者ノ聲デナ
クシテ、木材ノ價格ト云フ點ニ非
常ニ關聯ガ多イ、木材ノ値段ノ大
部分ヲ占メルモノハ輸送賃デアリ
マス、此ノ意味ニ於キマシテ、今
是方三倍トカ何トカト云フコトニ
ナリマス、是ハ大分農林省ノ方
ノ影響モ大キイモノデアリマスガ
ラ、其ノ意味ニ於テ御伺ヒシタノ
デスガ、了承致シマシタ

次ニ運送店ノ問題デスガ、是ハ
前ニ一驛一店主義ト云フモノヲヤ
ツテ評判ガ悪カツタノデアリマス
ガ、終戰直前直後ヲ通ジテ、全國
殆ド丸通一色ニ塗り潰サレタト云
フ形ニナリマシテ、ドウモ「サー
ビス」ガ悪い、木炭ヲ折角山カラ
出シテ參リマシテモ、野晒シデア
リマス、上屋一ツ簷一ツ掛ケナイ
ト云フ爲ニ、俄モ腐ツテシマツテ
非常ナヒドイコトニナツテ居ル、
ヤウノ山カラ出シテ來タ木炭ガ
意味ヲ成サスト云フコトニナツテ
居ル、此ノ實情ヲ見ルニ付ケマシ
テ、ドウモ此ノ日本通運ト云フヤ
ウナ全國一ツノ統制會社ハ甚ダ面
白クナイ、我々一般國民トシテモ
サウデアリマスガ、特ニ此ノ木炭
生産ノ苦勞ヲ日ノ前ニ見テ居リマ
ス所ノ私共トシテ、アノ大事ナ木
炭ガアンナ目ニ遭ハサレテ居ルノ
ヲ見マス、其ノ感ヲ深クスルノ
デアリマシテ、木材トハ縁ノ遠イ
ヤウナ問題デアリマスガ、又關聯
性ヲ持チマスノデ、此ノ日本通運
ト云フモノヲ解體シテ、地方人ガ
モット「サービス」ノ好イ地方ノ
運送店ヲ經營スルト云フコトニナ
ラナイモノカト云フコトヲ御伺ヒ
シタイト思ヒマス

○滿尾政府委員

日本通運ノ問題
ニ付キマシテハ、終戰後ニ於キマ
シテ、日本ノ實情ニ即シテドウ考
ヘルカト云フコトヲ研究致シマシ
タ、ソシテ今年ノ三月ニ方針ヲモ

ウ一遍再檢討致シマシテ、運輸省
トシテノ省議ヲ決メ、日本通運ニ
必要ナル指示事項ヲ出シマシテ、
其ノ時並ニ現在ノ考ヘデゴザイマ
スガ、運送店ノ免許制度ハ是非之
ヲ堅持シテ行ク、ソレカラ又日本
通運ノ全國的體制ニ付キマシテ
ハ、是ハ中々利害得失ガ錯綜シテ
居リマシテ、其ノ爲ニ非常ナ研究
ヲシテ見タノデアリマスガ、結論
ト致シマシテハ、此ノ全國的體制
ヲ崩サヌコトニスル、併シナガラ
ナ大男總身ニ智慧ガ廻リ兼ネタ缺
陥ガ徐々ニ出デ居リマスカラ、是
ノ改正ニ付キマシテハ十分命令ヲ
出ス、斯ウ云フコトニ致シマシ
テ、人事等モ社長副社長以下全部
刷新致シマシテ、スツカリ入レ替
ヘタ譯デス、サウシテ其ノ實績ヲ
今日マデ見テ居ル譯デアリマス
ガ、尙ホ獨占ト申シマシテモ、免
許業者ト云フモノガ全國ニ七百五
十人位居ル、其ノ中ニハ特定ノ會
社ニ附屬シテ特定ノ貨物ダケヲ扱
フ限定免許ト云フ人モ居リマス
ガ、一般ノ免許ヲ持ツテ居ル人ガ
マダ三百人以上居ル、デスカラ全
國ノ驛ニシテ見レバ大部分ガ日通
ニナリマシタケレドモ、マダサウ
デナイ業者モ相當居ル、殊ニ關東
地方アタリハ殆ド日通ノ統合ハ伸
ビテ居ナイ、サウ云フ實情ニゴザ
イマス、是ニハ色々議論ガアリ
マス、併シ結局日通獨占デアル爲
ニ「サービス」ガ悪いデハナイ

カ、此ノ點ハ十分反省シナケレバ
ナラヌコトデアリマシテ、此ノ點
ニ付テハ重々氣ヲ付サセテ居リ
マス、尙ホ木炭ノ取扱等ニ關シマ
シテハ、實ハ日通ダケノセイデナ
イ場合モアリマス、日通ノ至ラヌ
點モゴザイマス、又鐵道側ニ於テ
必要ノ施設ヲ怠ツテ居ル、驛ノ方
ノ施設ガ至ラヌト云フヤウナコト
モ加ハツテ居リマス、又場合ニ依
リマス、私ガ地方ノ局長ヲシテ
居リマシタ時ナンカノ經驗ニ依リ
マス、驛マデ持ツテ來タ後ノ木
炭ノ出荷ノ指示ガ一向來ナイ、何
時マデモ命令ガ來ナイ爲ニ置イテ
オカレルト云フヤウナ場合モナキ
ニシモアラズ、斯ウ云フヤウナコ
トデゴザイマスガ、御指示ノ點ニ
付キマシテハ、今後トモ十分氣ヲ
付ケサセルコトニ致シマス

○總實委員 最後ニ、賠償物資ト
シテ全國的ナ機械類ガ取上ゲラレ
テ居ルヤウデアリマス、所ガ此ノ
機造ヲ致シマス材料トシテノ木
材、是ハ大變ナモノラシイデス
ガ、是ハドレ位要ル御見込デアル
カ、ト云フコトヲ運輸當局ニ承ル
ト云フコトハ、聞ク所ニ依ルト、
此ノ機械類ノ取外シカラ、是ノ梱
包、船積ニ至ルマデ、日本通運ノ
社長ガ新シイ會社ノ社長トナツ
テ、其ノ賠償物資荷造會社ト云ヒ
マス、其處ノ社長ヲ兼ネテ、一
本デヤル、其ノ木材ノ見積價格ハ
何ボデアルカ知リマセヌケレド

モ、常識的ニ考ヘタ材料ノ三倍位
ノ見積ヲ出シテ居ルト云フ風評ガ
飛ンデ居リマスノデ、所謂暗イ影
ガ差シタヤウナコトガ世間デ流布
サレテ居リマス、此ノ意味ニ於
テ、木材ヲドレ立御使ヒニナル見
當デアルカ、荷造材料トシテハ一
石ドレ位ノ御見込デアアルカト云フ
コトガ御分リデシタラ、此ノ際承
ツテ置キタイ

○滿尾政府委員 賠償物資ノサウ
云フ荷造其ノ他ニ付キマシテ、日
通モ參加致シマシテ一ツノ組合ヲ
作ツテ當ラウト云フコトハ聞イデ
居リマスガ、併シ日通ノ社長ガ社
長ヲ兼ネルトカ何トカ云フコトハ
私ハマダ存ジテ居リマセヌ、ソレ
カラ木材ノ荷造價格等ノコトモ恐
ラクハマダソコマデ決マツテ居ラ
ヌノデハナイカ、二三日前ヤツト
工場ノ大體確定ナモノガ御發表
ニナリマシタ程度デ、恐ラクサウ
云フ數量ノ計算等ノコトモ是カラ
手ヲ着ケルノデハナイカ、恐ラク
ハ道途ノ浮説デアラウト私ハ存ジ
マス

○總實委員 運輸關係ノ方ハ是デ
了承致シマシタ
○氏家委員長代理 他ノ委員諸君
ニ運輸關係ノ御質問ガアレバ
ゴザイマセヌカ

○總實委員 農林當局ニ伺ヒマ
ス、保安林ノ問題デアリマスガ、
是ハ隨分古イ昔ニ決定シタラシイ
ノデスガ、今日モ其ノ儘デ放置サ
レテ居リマス、此ノ整備ニ關シテ
ハ如何ナル御方針デアアルカ伺ヒ
タイ

○中尾政府委員 保安林ハ戰時中
ニ於テモ相當伐採モサレ、又今ノ
食糧増産等ニ因ンデ、部分的デハ
アリマスガ幾分開墾サレタヤウナ
所モアリマス、更ニ又保安のニ
餘リ重要デナイヤウナ部分モア
リ、或ハ更ニ進ンデ、保安林デナ
イ所デナイ所デ非常ニ重要性ヲ増
シテ來タ所モアル實情ニ鑑ミマシ
テ、只今保安林ノ實態ニ付テ調査
ヲ致シテ居リマス、是ハ整備ヲ致
ス考ヘデアリマス

○總實委員 先程一寸途中ニナツ
タノデスガ、御答辯ナカッタヤウ
デスガ、本年ノ木炭、是ハ此ノ法
案トハ直接關係ナイカモ知レマセ
ヌガ、私共ハ當然此ノ法案ニ入ツ
テ來ルベキモノダト考ヘテ居リマ
ス、又國民生活上缺クベカラザ
ルモノデアアル關係上伺フノデス
ガ、木炭ノ供給關係ノ見透シハド
ウナツテ居リマス

○中尾政府委員 木炭ノ供給關係
ハ、只今御承知ノ通り非常ニ逼迫
ノ狀況ニアルノデアリマシテ、本
年度ノ需要量ハ、軍需又ハ軍需工
業用ガ相當量、削減致シマシタ爲
ニ、相當減少ヲ見タノデアリマス
ガ、反面ニ於キマシテ、又復員
者、或ハ引揚同胞援護用トシテ相
當量ノ増加ヲ見マシタ爲ニ、需要
量ハ前年度ニ比ベマシテ相當増加

ヲ見テ居ルヤウナ狀態ニアルノデ
アリマス、木炭ニ於キマシテ約一
一〇程度ノ増加ヲ見、又薪ニ於キ
マシテ六〇程度ノ増加ヲ致シテ居
ルヤウナ狀況ニアルノデアリマ
ス、一方供給面、即チ生産關係
ハドウデアアルカト申シマス、前
年度ハ非常ニ成績方面白クアリマ
セヌデ、木炭ニ於キマシテ、生産
計畫ニ比ベマシテ債力ニ五〇〇ノ
實績ヲ示シテ居ルニ過ギナイノデ
アリマス、即チ二百三十一萬「ト
ン」ノ豫定ニ對シマシテ、實績ハ
百十五萬「トン」ニ過ギナカッタ
ノデアリマス、又薪ニ於キマシテ
モ五五〇ノ實績デアリマス、數字
的ニ申上ゲマス、七千三百萬總
積石ニ對シマシテ、生産ノ實績ガ
四千萬總積石ト云フヤウナ極メテ
悪い實績ヲ示シテ居ルノデアリマ
ス、本年度ニナリマシテカラノ成
績ハドウカト申シマス、第一回
半期ノ實績デアリマスガ、是ハ本
年ノ四月カラ實施致シマシタ食糧
ノ實績主義ニ依リ特配、又金融措
置、是ハ薪炭ハ全部新圓デ買ヘル
ト云フヤウナコトニ相成リマシタ
爲ニ、四月カラ幾分生産ノ狀況ハ
好轉シテ參ツテ居ルノデアリマ
ス、好轉致シマシタト申シマシテ
モ、サウ特ニ良クナツタト云フノ
デハナク、一月、二月、三月ニ比
ベマシテ幾分上向ニナツテ來テ居
ルノデアリマス、其ノ實績ハ、四
月ニ於キマシテハ大體豫定量ノ

五〇〇デアリスガ、五月ガ六四〇、
六月ガ九七〇ト云フヤウニ、大體
豫定ニ對比致シマシテ成績ガ上昇
シテ參ツテ居ルノデアリマスケレ
ドモ、最近七月ニ入りマシテカ
ラ、ヤハリ食糧ノ關係幾分又下
向ニツナテルノデアリマス、實ハ
本年度ノ冬ノ需給ノコトヲ思ヒ合
ハセマス、變慮ニ堪ヘナイ情勢
ニアルノデアリマス、之ニ對シマ
シテ政府ト致シマシテハ、七月一
日カラ夏山ノ増産増送運動ヲ展開
致シマシテ、極力増産ニ努メマス
ト共ニ、生産致シマシタモノノ増
送ヲ圖ツテ居ルヤウナ次第デア
リマス、尙ホ一面ニ於キマシテ、
此ノ冬ノ需要ニ合ハセマス爲ニ生
産期ニ於キマシテ、此ノ夏山増産
増送運動期間中ニ約十萬「トン」
ノ備蓄ヲスルヤウナ方法モ講ジテ
居ルノデアリマス、極力生産増強
ニ努メテ居ルノデアリマスガ、
先刻申上ゲマシタヤウナ情勢ニア
リマスルノデ、實ハ色々ト心配ヲ
致シテ居ルヤウナ次第デアリマ
ス、併シ此ノ薪炭、木炭、薪材ノ
生産増強ニ付キマシテハ、此ノ上
トモ努力致ス積リデアリマス、大
體情勢ハ以上ノ通りデアリマス

○總實委員 大體分リマシタガ、
昨年マデハ軍需會社ガアリマシ
テ、實際ノ話ガ所謂自家用ト稱シ
マシテ、山ヲ買ツタ如ク見セテ、
自分デ自ラガ焼イテ居ルト云フヤ
ウナ脱法的ノ形式ヲ履ミマシテ、

五〇〇デアリスガ、五月ガ六四〇、
六月ガ九七〇ト云フヤウニ、大體
豫定ニ對比致シマシテ成績ガ上昇
シテ參ツテ居ルノデアリマスケレ
ドモ、最近七月ニ入りマシテカ
ラ、ヤハリ食糧ノ關係幾分又下
向ニツナテルノデアリマス、實ハ
本年度ノ冬ノ需給ノコトヲ思ヒ合
ハセマス、變慮ニ堪ヘナイ情勢
ニアルノデアリマス、之ニ對シマ
シテ政府ト致シマシテハ、七月一
日カラ夏山ノ増産増送運動ヲ展開
致シマシテ、極力増産ニ努メマス
ト共ニ、生産致シマシタモノノ増
送ヲ圖ツテ居ルヤウナ次第デア
リマス、尙ホ一面ニ於キマシテ、
此ノ冬ノ需要ニ合ハセマス爲ニ生
産期ニ於キマシテ、此ノ夏山増産
増送運動期間中ニ約十萬「トン」
ノ備蓄ヲスルヤウナ方法モ講ジテ
居ルノデアリマス、極力生産増強
ニ努メテ居ルノデアリマスガ、
先刻申上ゲマシタヤウナ情勢ニア
リマスルノデ、實ハ色々ト心配ヲ
致シテ居ルヤウナ次第デアリマ
ス、併シ此ノ薪炭、木炭、薪材ノ
生産増強ニ付キマシテハ、此ノ上
トモ努力致ス積リデアリマス、大
體情勢ハ以上ノ通りデアリマス

實際ハ生産、價格ト言ヒマスカ、
公定價格ノ三倍、五倍デ以テ買入
レテ居ル、サウスルト府縣ハ其ノ
生産高ノ半分ヲ公定價格デ取上ゲ
ル、ソレデ以テ成績ガ上ツタ、斯
ウ言ツテ居ツタ、殆ド其ノ軍需會
社ノ分以外ニハ生産ト云フモノハ
アリマセヌ、少クトモ富山縣ノ如
キハナイ、全部軍需會社ノ分ヲ半
分取上ゲテ居ル、ソレデ以テ生産
シテ居ツタ、今年ハ是ガナイ、サ
ウスルト公定價格ナシカデハ到底

木炭ガ一俵モ入手出來ナイ、今デ
モ生産ガ或ル程度出來テ居リマス
ガ、實際ノ受渡ニナルト、如何ニ
切符ヲ賣ヒマシテモ、農村ハ昨年
度同様空切符バカリデアル、サウ
スルト農村ハ之ニ對シテ米ヲ運バ
ナケレバナラヌ、米ト交換デス、
大體木炭二十俵、三十俵乃至四十
俵程度ト米一俵デス、表ハ配給切
符、正式ノ「ルート」ノ形式ハ執
リマスケレドモ、實質ノ現物ノ受
渡ハソレダケデハ手ニ入ラナイ、
ソレガ出來ル所ノ者ハ宜イケレド
モ、出來ナイ所ノ者ハドウナル
カ、今年ハ渴水ガヒドイデセウ、
今日ハ辛ウジテ東京アタリデハ電
熱器デヤツテ居ル、各季ハ電熱ニ
依ル燃料ハ勿論ノコト、暖房ノ
電熱ハ至難デハナイタト私ハ思
フ、斯ク考ヘマス時ニ、木炭ノ實
際ノ入手ト云フコトノ見透シガ付
カスト、國民不安ハソコニ恐ルベ
キ何物カラ示驗スルコトニナリハ

シナイカト思フ、ト云フコトデ唯
單ニ官廳ノ机上ノ「プラン」ダケ
デハ甚ダ憂慮ニ堪ヘナイ、故ニ折
角此ノ上トモ御努力アラシコトラ
私ハ念ノ爲ニ附加ヘテ、此ノ點ハ
是レ以上追究スルノデハアリマ
セヌ

次ニ御料林、國有林ニ對シマス
ル所ノ國家ノ需要ト云フ觀點カラ
如何ナル措置ヲ御執リニナルカ、
如何特別ノ御用意ガアルカ如何ヲ
御伺ヒ致シテ置キマス

○中尾政府委員

我が國ノ國有林
野ノ總面積、北海道ヲ除キマシタ
内地ノ面積ハ約四百二十九萬町步
ヲ占メル廣大ナルモノデアルノデ
アリマスルガ、此ノ廣大ナル面積
ヲ所有スル國有林ノ管理經營策如
何ガ地方ノ産業、經濟、又ハ地元
ノ山村民ノ生活安定ニ重大ナル影
響ヲ與ヘマスバカリデナク、全國
民經濟ニモ密接ナ關係ヲ有スルモ
ノデアリマスルノデ、農林省ト致
シマシテハ、國有林ノ經營ニ付キ
マシテハ常ニ國家需要ニ最大ニ寄
與スルト思ハレルヤウナ方法ニ依
リマシテ、管理經營ヲ行フコトト
致シテ居ルノデアリマス、將來モ
此ノ方針ニ依リマシテ、益々効率
的且ツ合理的ニ運營ヲ致シテ行キ
タイト考ヘテ居ル次第デゴザイマ
ス、現在ノ國有林ニ對シマスル緊
急ノ國家需要ハ中スマデモナク戰
災復興用材、其ノ他民生安定上必
要ナ用材、或ハ國民生活上不可缺

ナ薪炭ト云フヤウナモノノ供給力
ノ増強、ソレカラ森林資源ノ維持
培養ト云フコトデアアルト思フノデ
アリマス、特ニ用材、薪炭等ノ龐
大ナル需要見込ニ對應致シマシテ
ハ、立木ノ賣拂乃至ハ伐採ヲ積極
的ニ行フ外ナイト考ヘル次第デア
リマス是ガ爲ニハ、國有林ニ於キ
マシテハ、本年ノ二月ノ臨時措置
ト致シマシテ、營林局長ニ通牒ヲ
致シマシテ、國有林ノ立木ニ付キ
マシテハ、治水、又國土保安上

重大ナ支障ノナイ限り、一應何レ
ノ林分モ伐採ノ對象林分ト考ヘル
ヤウニ明示ヲ致シタノデアリマ
ス、尙又ソレニ引續キマシテ、本
年ノ四月一日省令ヲ以チマシテ、
國有林ノ賣拂ノ方法ノ特例ノ指示
ヲ致シタノデアリマスガ、是ハ賣
拂手續ノ簡素化ヲ圖リマスト共
ニ、適正ナル價格ニ依ツテ拂下
致シマシテ、用材、薪炭材ノ製造
ヲ業トスル者ニ對シマシテ隨意、
契約ニ依ツテ賣拂ガ出來ルヤウナ
措置ヲ致シタノデアリマス、以上
申上ゲマシタヤウニ、色々ノ方法
ヲ講ジマシテ、今年度拂下分量ノ
増加ヲ圖リマシタバカリデナク、
尙ホ本年度カラ奥地林道ノ施設ノ
擴充ヲ致スコトニ致シマシテ、研
伐事業ノ増加モ積極的ニ致スヤウ
ニ取計ラヒテ致シテ居ルノデアリ
マス、尙ホ其ノ外開拓關係デアリ
マスガ、是モ國有林ニ於キマシテ
モ、此ノ開拓事業ノ達成ニ付キマ

シテ、積極的ニ協力致スコトニ致
シマシテ、大體國有林全體ノ中約
九萬町步ノ豫定地ヲ開放致スコト
ニ致シテ計畫ヲ致シテ、モウ一部
既ニ實行中デアリマス、尙ホ此ノ
外從來カラ地元施設ト致シマシ
テ、地元民ノ民生安定ト、ソレカ
ラ地方産業ノ經濟復興ノ見地カラ
致シマシテ、國有林ノ約六十八
「パーセント」ニ當ル面積ヲ委託
林、或ハ又簡易委託林、或ハ部分
林、或ハ放牧採草地ト云フヤウナ
モノニ指定致シマシテ、共用ヲ致
シテ參ツテ來テ居ルノデアリマ
ス、此ノ地元施設ノ方ニ付キマシ
テハ、今後モ尙ホ内容ヲ檢討致シ
マシテ、將來更ニ充實シテ國有林
經營ト地方經濟トノ調和ニ付キマ
シテ、一層研究ヲ進メテ行キタイ
ト考ヘテ居リマス、又御料林ニ付
キマシテハ、是ガ國有林ニ移管サ
レマシタ曉ニハ、只今申上ゲマシ
タヤウナ國有林ト同様ナ方針デ管
理經營致シテ行キタイト考ヘテ居
ル次第デアリマス

○總務委員 國有林ノ立木ハ立木
トシテ拂下ゲルノガ原則デア
ルカ、或ハ用材又ハ製品化シ、或ハ
木炭ヲ造ルトカ云フヤウナ所マデ
行クノガ建前デアアルカ、其ノ點ヲ
伺フト共ニ、製品並ニ立木ノ賣渡
制度ニ付テハ、特賣制ガ原則カ、
公賣制ガ原則カ、此ノ二點ニ付テ
御伺ヒ致シマス

○中尾政府委員

國有林ノ今ノ立
木ノ拂下方法デアリマスガ、現在
國有林ニ於テ官行新伐事業ヲ行ヒ
マシテ、丸太ニシテ拂下ゲテ居リ
マス所ハ、大體跡地更新ノ際ニ相
當技術ヲ要スルヤウナ箇所、詰リ
立木ノ儘拂下ゲルノガ不適當デア
ルヤウナ林分ニ付テデアリマス
ガ、サウ云フヤウナ箇所ト、ソレ
カラ搬出其ノ他ノ施設デ相當大規
模ナ、而モ綜合シタ計畫ガ必要デ
アリ、多額ノ經費ヲ要スル箇所
デ、民營トシテ適當デナイト云フ
ヤウナ箇所ヲ、主トシテ奥地林分
デアリマスガ、ソレ等ノ爲ニ開發
スル所ノ林分ニ付キマシテハ、從
來官行新伐ニ依ツテ實行シテ居ル
ノデアリマス、其ノ他ノ所ハ出來
ルダケ立木ノ儘拂下ゲル方法ヲ執
ツテ居ルノデアリマス

ソレカラ第二番目ノ御尋ネノ特
賣ト公賣ノ問題デアリマスガ、從
來公定價格制ガアリマセヌ場合、
戰前マデハハ公賣制度ニ依ツテ
居ツタノデアリマス、特ニ必要ナ
モノニ付キマシテハ、一部特賣ヲ
實施シテ參ツタノデアリマスガ、
大部分ハ公賣ヲ實施シテ居ルノデ
アリマス、只今公定價格制下ニ於
キマシテハ、特賣ニ依ル外ハナイ
カト考ヘルノデアリマス、又特賣
致シマス場合モ、先達テモ説明致
シマシタガ、兎ニ角從來ヤリ來ツ
タ特定ノ人ダケニ特賣スルト云フ
ノデナクテ、實際實力ガアリ、設
備モアリ、信用モアリ、而モ現在

ノ復興用材等ノ緊急需要ニ役立タルコトガ出來ルヤウナ實際ノ實カノアル人ニ拂下ガテ行キタイ、其ノ方針ヲ只今ヤツテ居リマス、其ノ他薪炭材ハ地元關係ガアリマシテ、從來カラ其ノ地元ニ慣行特賣ヲヤツテ居リマススケレドモ、用材ニ付テハ只今申上ゲタヤウナ方法ニ依ツテヤツテ居リマス

○**總務委員** オ百姓ガ木炭燒マデヤルコトハドウカト思ヒマスノデ、其ノ點ハ我々實際ニ見マシテモ、餘リ感心シタコトデナイノデアリマスカラ、地元民ニサウ云フ慣行ニ依ツテヤラスト云フコトガ最モ好マシイコトデアルト云フコトヲ一言シテ置キマス

次ニ北海道材ノ内地移入ニ關シマシテハ、從來ハ日本木材ガ擔當シテ居ツタヤニ聞クノデアリマスガ、木統法ヲ撤廢セラレマシタ上ニ於テハ、如何ナル機關ニ依ツテ之ヲ移入サレルカ、而モソレマデノ過渡期間ハ如何ナル方法ニ依ツテ取扱フカト云フコトヲ御伺ヒ致シマス

○**中尾政府委員** 木統法ノ撤廢サレルマデハ所謂交流材デアリマスノデ、日本社ガ取扱フコトニ相成ルノデアリマス、其ノ後ノ取扱ノ方法ニ付キマシテハ、實ハ只今北海道廳カラモ來テ戴キマシテ、今日明日ニ互ツテ色々ト打合セ研究モシ、決定致シタイト考ヘテ居リマス

○**總務委員** 我が國ノ木材ノ現在及ビ將來ニ對スル所ノ國內需給ノ見透シ並ニ外材輸入ニ付テノ期待ト云フ點ニ付キマシテ御伺ヒ致シマスト共ニ、將來貿易ノ上ニ於テ木工品ヲ製品トシテ輸出スルト云フコトニナリマス、之ニ對スル原材料ハドウ云フ風ニナリテ御考ヘデアリマス、或ハ是ハ商工省關係カトモ思ヒマスガ、若シアナタ方ノ御所管デゴザイマシタラ、伺ヒタイノデアリマス

○**中尾政府委員** 御答ヘ致シマス、先ツ將來ノ此ノ木材ノ需給狀況ヲ御話シ致シマス前ニ、最近ニ於キマス狀況ニ付キマシテ極ク簡單ニ御説明ヲ致シマス、二十年度ニ於キマス木材ノ需給關係ニ付キマシテハ、既ニモウ御承知ノコトト思ヒマスガ、二十年度ノ生産狀況ハ計畫量ガ一億三百石デアツタノデアリマス、之ニ對シマシテ生産ノ實績ハ、昨年ノ終戰前ハ戰爭モ苛烈ニナツテ參リマシタ、色々ト生産上ノ條件ガ惡化致シマシタ爲ニ、戰前ニ於ケル前年度ノ同期ノ實績ノ約七割乃至八割程度ノ成績デアツタノデアリマス、所ガ終戰ト同時ニ社會的經濟的ノ混亂、又戰時中ニ於ケル統制經濟ニ對スル反動氣分等モ手傳ヒマシテ、段々ト生産狀況ハ甚ダシク惡クナツテ參ツタノデアリマス、實ハ政府ニ於キマシテモ變慮致シマシテ、入山増産運動其ノ

他色々ト對策ヲ講ジタノデアリマスガ、ツイ前年度ノ、終戰後ニ於キマシテハ、大體前年同期ノ實績ノ半分程度ト云フヤウナ停頓狀態ヲ示シマシテ、三月末デ一億三百萬石ニ對シマシテ、約六千五百萬石程度ノ實績ヲ示スニ過ギナカツタノデアリマス、更ニ本年度ノ第一四半期ノ實績デアリマスガ、第一四半期ノ實績モ大體前年度ニ引續キマシテ低調デアリマシテ、第一四半期デ約一億四千萬石程度ノ實績ヲ舉ゲタニ過ギナイノデアリマス、是ハ前年度ノ同期ノ實績ニ比較致シマス、七二%程度ニ相成ルノデアリマスガ、更ニ前年度ニ比ベマス、其ノ半分ト云フヤウナ數字ニ相成ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ狀況デアリマシテ、本年度ノ目標デアリマス七千五百萬石ノ確保ハ、只今ノ所中々困難ナ情勢ニナツテ居ルノデアリマス、併シ政府ト致シマシテハ、本法案ノ實施ニ依リマシテ相當量ノ増額ヲ期待致シテ居リマス、更ニ又凡ユル對策ヲ講ジマシテ、目標量ダケノ生産ニ努力致ス覺悟デアリマス、本年度ノ生産狀況ハ以上ノ通りデアリマスガ、今後此ノ需給ノ狀況ハドウナルカト申シマス、今年度ノ供給ノ豫定ハ七千二百萬石ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、只今マデ供給致シマシタモノハ、大體各用途別ノモノヲ計算致シマシテ、第一

四半期ノ豫定量ノ五二%程度ニ相成ツテ居ルノデアリマス、此ノ中一般用材ノ建築材ダケニ付テ申シマス、七二%程度ノ實績ヲ收メテ居ルノデアリマス、サウ云フ情勢ニアルノデアリマシテ、木材ノ方ノ需給ノ狀況ハ中々今後尙ホ一層ノ努力ヲ要スル狀態デアアルノデアリマス、此ノ生産狀況其ノ他カラ推察致シマシテ、内地ダケノ生産ヲ以テ致シマシテハ、此ノ需給ノ「バランス」ヲ取ツテ行クコトハ中々困難ノヤウナ實情ニモナツテ居ルト考ヘルノデアリマス、

〔氏原委員長代理退席、委員長着席〕
先刻モ申シマシタ通りニ、政府ニ於キマシテモ、出來ルダケノ努力ハ致ス積リデアリマススケレドモ、若シ事情ガ許サユウニ相成リマスルナラバ、外材ノ輸入ニ付キマシテモ、懇請ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ方ノ計畫モ只今立テテ居ルノデアリマス、其ノ點ハ色々見返リ物資ノ關係トカ或ハ輸送ノ關係等デマダ正式ノ交渉マデハ至ツテ居ナイ實情ニアルノデアリマス

○**總務委員** 私ノ質問ハ大藏、商工、厚生ノ三省ヲ留保致シマシテ、之ヲ以テ打切りマス

○**森委員長** 太田君
○**太田(秋)委員** 農林大臣ハ御目ニナリマセウカ
〔休息シタラ宜イデセウ〕ト呼ブ

○**森委員長** ソレデハ二十分程休憩致シマス
午後二時五十分休憩
午後三時三十分開議
○**森委員長** 是ヨリ開會致シマス——太田君

○**太田(秋)委員** 私ノ御伺ヒスルコトモ或ハ同僚議員各位ノ質問ト重複スル點ガアルカモ知レマセヌガ、私ハ原本ノ問題ニ付テ政府ノ施策ニ對シ要望スル點ヲ伺ツテ見タイノデアリマス、農林大臣ガ御見エニナリマセヌカラ局長サンニ御伺ヒスル點ヲ申上ゲタイト存ジマス、第一點ハ造林、官有林ノ綠化促進、官行研伐事業ノ整理改廢ノ要求デアリマシテ、我が國土ノ六割以上ヲ占メル所ノ森林經營ガ、新シイ日本建設ノ基本的國策ニ即應スルコトハ勿論デアリマス、國土保安、治山治水ハ勿論國家百年ノ將來ニ備フル重大ナ問題デゴザイマス、然ルニ我が國ノ森林ハ國有林、公有林、民有林共ニ多年ニ互リマシテ斫伐又ハ過伐ノ一途ヲ辿ツテ今日ニ至ツタノデアリマス、殊ニ戰時中ノ非常伐採ト云フモノガアリマシテ、其ノ跡地モ加ハリマシテ、是等ガ今日裸山ト化シテ居ルノデアリマシテ、荒廢ノ儘ニ放任サレテ居ルノデアリマス、尤モ是ハ戰時中長期ニ互ツテ軍需資材並ニ食糧増産等ノ爲メ、農山

村ノ勞務モ拂底シテ已ムヲ得ナカ
ツタコトトハ存ジマスガ、終戦後
ノ今日ニ於キマシテハ、我が國土
ガ縮小サレ、其ノ狹隘ナル國土ニ
八千萬同胞ガ永住ノ基礎ヲ置クノ
ニハ、森林ノ經營ハドウシテモ困
却出來ナイ問題ト思フノデアリマ
ス、ソコデ一年デモ早ク植増、綠
化ヲスレバ、ソレダケノ效果ハ現
ハレテ來ルノデアリマシテ、此ノ
コトタルヤ洵ニ緊要ノ問題デア
ルト思ヒマス、然ルニ此ノ林野ノ管
理經營ハ營林局ガ獨立シテ擔任サ
レテ居リマスガ、近年ハ官行斫伐
官行製炭、是等ノミニ重點ヲ置キ
マシテ、植増計畫ハ明治ノ末期、
或ハ大正年間ニ比シテ漸次改惡サ
レテ參ツテ居ルノデアリマス、今
日人工植林ニ適スル土地ガアルニ
モ拘ラズ、是等モ自然林ト稱シテ
放任サレテ居ルヤウナコトヲ見受
ケルノデアリマスガ、是等ノ森林
ノ復活ハ遲々トシテ未ダニ進ンデ
居リマセヌ、自然林デアアルカラ
シテ其ノ儘ニ放任シテ置キマスレ
バ、林相ヲ成スニハ相當ノ年限ヲ
要シマス、又營林局ハ御承知ノ通
リ各河流ノ流域ニ軌道ヲ敷設シテ
居リマス、是ハ勿論未ダ曾テ林道
其ノ他ノナイ流域ニ軌道ヲ敷設シ
テ、奥地ノ開發又ハ未利用木等拾
テテ居ツタモノヲ山カラ出シテ活
用スルト云フコトハ、國家ノ經濟
上カラ見テ最も宜シイコトデアリ
マスガ、併シ是等ノ水源地モ先ニ

ハ間伐ヲシテ居リマシタガ、段々
木材ノ需要ガ迫ツテ來ルニ伴レマ
シテ、保安林ト雖モ皆伐ヲシテ來
ルト云フ結果ニナツテ來タ爲ニ、
水源地ガ涸渴シテ參ツタノデアリマ
ス、其ノ一例ヲ申シマス、福島
縣ノ阿武隈山脈ハ常磐線ニ添ウテ
居リマスカラ、非常ニ輸送上ニ便
宜デアリ、又國有林野ニ行クマデ
ハ三、四里或ハ五、六里アルノデ
アリマシテ、各河川ノ流域ニハ何
レモ軌道ヲ敷設シテ居リマス、就
中飯田川ハ元二百石ノ水量ガアツ
タ川デアリマスガ、段々森林濫伐
ノ結果是ガ百石ニ下リ、或ハ涸水
期ニ於テハ四十石内外ニ激減シテ
居ルト云フ次第デアリマシテ、其
ノ灌漑面積千二百町歩ガ年々早
ニ依ツテ被害ガアリマス、早害ヲ
年々繰返シテ居ル原因ハ營林局ガ
水源林其他ヲ伐採シタコトニ基
スルノデアリマスガ、是等農地ニ
被害ヲ及ボスコトハ非常ニ大ナル
モノガアルノデアリマス、私ノ當
局ニ要求スル點ハ各河川ニ軌道ヲ
敷設シテ運搬ニ便利デアアルカラ、
又驛ニ近イカラ、或ハ東京方面ノ
消費地ニモ近イカラサウ云フ方面
ハ手取早ク物ヲ出ルシ、便利デア
リマセウガ、一面ニ於テハ農地ヲ
荒廢ニスルヤウナ極端ナ官行斫伐
ハ良クナイ、斯ウ云フ點ニ付テ私
ハ官行斫伐ヲ以テ又今マデ千占不
伐ノ奥地ニ入ルト云フコトハ、此
ノ場合我方國ノ現狀ニ鑑ミテヤル

コトハ當然デアリマス、併シ一通
リ伐リ盡シテ其ノ殘餘ノモノヲ飽
クマデモ伐採スルト云フコトハ見
合セテ貰ヒタイト云フコトヲ、私
ハ特ニ要望シテ已マナイノデアリ
マス、而シテ此ノ伐リ跡ニ對シマ
シテハ、自然林ヲ以テ適スル所ハ
自然林トシテ之ヲ植増シ、又人工
林トシテ植増スルモノハ速カニ之
ヲ植付ケテ水源涵養林ヲ速カニ復
舊シテ貰ヒタイ、故ニ於テ私ハ水
源涵養林ヲ先決問題トシテ取上ゲ
テ、此ノ植増ヲ進メテ貰フト同時
ニ、又私ノ聞ク所ニ依レバ官行事
業ハ、餘リニモ奥地ノ開發ニハ、
國ノ力ヲ以テテヤラナケレバナラ
スコトハ當然デアアルケレドモ、一旦
設備シタ跡ヲ、機械力ヲ集メテ伐
ルト云フコトハ、人件費バカリ掛
ツテ或ハ事業費バカリ要シテ、國
家ノ收入カラ言ツテモ餘リ利益デ
ハナイ、寧ろ不經濟デアルト云フ
コトモ聞イテ居ルノデアリマス
ガ、寧ろ國家ノ收益ガナカツタナ
ラバ、伐ツテモ差支ヘナイヤウナ
所ガアツタラ、是ハ其ノ地方々々
ノ林産組合ナドニ拂下ゲタ方ガ收
益ニナルト考ヘマス、私ノ縣ニ於
テモ、尙ホ奥地ノ開發ニハ進ンデ
他ノ力ヲ以テテヤツテ貰ハナケレバ
ナラスコトハ會津方面ニ多クアリ
マスガ、常磐線方面ハ殆ド伐リ盡
シテ居リマス、木炭ダケ出スニ付
テモ、木炭ダケト云フコトハ今需
要ノ迫ツテ居ル時デアリマスガ

ラ、伐ルナトハ申シマセヌガ、殘
サレタ水源地ヲ伐ルコトハ絕對止
メテ貰ヒタイ、サモナケレバ農業
ニ及ボス影響ハ甚大デアルト云フ
コトヲ能ク認識シテ戴キタイ、又
官行斫伐ニ付テハ或ル程度マデ現
地ニ應ジテ整理改廢シテ戴キタイ
ト云フコトヲ要望致シマス、是等
ノ點ニ付テ當局ノ御意見ヲ御伺ヒ
致シマス

○中尾政府委員 御答ヘ致シマ
ス、國有林ノ濫伐ノ結果、水源ノ
涸渴ヲ來シ流域ノ耕地ニ相當影響
ヲ與ヘテ居ルト云フ御話ヲ承リマ
シタガ、此ノ點洵ニ遺憾ニ存ズル
次第デアリマス、國有林ニ於テモ
戰爭中以來木材或ハ薪炭ノ龐大ナ
需要ニ即應致ス爲ニ、相當濫伐致
シマシタノハ事實デアリマシテ、
大體十九年度ニ於キマス伐採ノ狀
況ヲ見マシテモ、年平均伐採量ニ
比較シテ一四三％程度ノ伐採ヲ致
シテ居リマスシ、戰前ニ比ベマス
ト、約三倍近クノ伐採ニナツテ居
ル狀況デアリマシテ、其ノ結果御
說ノヤウナコトニ相成ツテ居ル次
第ハ洵ニ遺憾デアリマス、唯只今
マデハ戰爭遂行上必要ナ木材或ハ
薪炭ノ供出ト云フコトデ強ク指導
シテ參リマシタ爲ニ、サウ云フ結
果ニナリ、其ノ點甚ダ遺憾ニ存ジ
マス、唯從來トモ過伐ハ致シテ居
リマスガ、保安ノニ重要ナ森林ニ
付テハ、水源涵養林ダケデナク、
其ノ他ノ保安林ニ付テモ、伐採ニ
付テハ十分注意致シマシテ、伐採
率其ノ他デ加減スルヤウニ指導致
シテ居リマスガ、御說ノヤウナ結
果ニナツタ所ガアルト承リマシ
テ、甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマ
ス、今後ハ御說ノ通り一回伐ツタ
所ヲ又伐ル、坊主山ニスルト云フ
ヤウナ箇所ニ對シテハ、十分ノ注
意ヲ拂ハセルヤウニ致シタイト考
ヘル次第デアリマス、特ニ水源涵
養上必要ナ林分ニ付テハ、今後ハ
伐採率其ノ他ニ付テ相當注意ヲ拂
フヤウニ指導シテ行キタイト存ジ
マス、尙ホ官行斫伐箇所ノ整理ノ
御話モアリマシタガ、官行斫伐ヲ
致シテ居リマスノハ、先刻モ他ノ
御質問ニ御答ヘ致シタノデアリマ
スガ、兎ニ角奥山ノ林分デ更新ガ
非常ニムツカシイ、技術的ニ跡地
ノ更新ガ技術ヲ要スルト云フヤウ
ナ林分或ハ又奥山デ綜合的ナ搬出
施設ヲ要シ、多額ノ經費ヲ要スル
ヤウナ箇所ヲ原則トシテヤツテ居
ルノデアリマシテ、其ノ他ノ官行
ハ戰爭中特殊材ノ緊急供出ヲ命ゼ
ラレマシテ、其ノ特殊材ノ緊急供
出ノ確保ノ爲ニ、比較的近日山ノ
一部分モ薪材ニ依ツタ例ガアルノ
デアリマス、ソレ等ノ所デ立木處
分ニ適シテ居リマス所ハ出來ルダ
ケ今後モ立木處分ニ直シタイト云
フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
シ、又サウ云フ風ニ指導モ致シテ
行キタイト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、ソレカラ營林局署ノ方ハ今ノ

新伐事業ニ没頭シテ、跡地ノ造林事業ヲ閑却シテ居ルト云フ御話デアリマスガ、御説ノ通り戦争中ニ於キマシテハ、兎ニ角龐大ナル軍需其ノ他ノ重要ナ資材ノ需要ヲ充足致シマス爲ニ新伐事業ニ没頭致シマシテ、造林事業ハ殆ド勞務ノ關係モアリマシタガ、實行出來ナカツタノデアリマス、併シ戦後ニ於キマシテ造林事業ガ重要ナコトハ此ノ議會、委員會始マツテカラ屢ミ申サレタ通りデアリマス、政府ニ於キマシテモ造林ノ重要性ハ十分認識致シテ居リマスルシ、又熱意ヲ以テ造林ヲヤツテ行カナレバナラナイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、更ニ又營林局署ニ於テモ終戦後ニ於キマス造材事業ハ早急ニヤラナケレバナラスト云フコトヲ十分認識シマシテ、本年度カラ造林事業ノ根柢トナル所ノ初苗ノ事業、尙又種子ノ採取等ニ付キマシテハ、格段ノ努力ヲ致セルコトニ致シテ居リマシ、又營林局自身モ其ノ積リデ實行シテ居リマスカラ、戦時中或ハ戦時ニ引續キマシテ、公用材等ノ龐大ナル需要ヲ充ス爲ニ濫伐致シマシタ跡地ノ造林ニ付キマシテハ、特ニ早急ニ造林ヲ完了致シマスルヤウニ指令ヲ致シテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○太田(秋)委員 今御説明ヲ承ツテ私共其ノコトモテ承シテ居ルノデアリマス、一例ヲ舉ゲマシタ原

町營林署管内ニ於テハ、殘サレテ居タ材ハ構材ガ多クツタノデアリマス、私共地元ノ者トシ、立會ヘト云フヤウナ話モアツタノデ、立會ツタノデアリマスガ、其ノ山ヲ伐ラレルトハ全ク水源ノ關係モアルケレドモ、アノ頃ハ戦時中デスカラ已ムニ已マレズ伐ツタノデアリマス、ソレガ當時ハ道路關係モアリ、イケナカツタノデアリマシガ、今後ハ此ノ方面ニ一段ト御考慮ヲ願ヒタク、當局ノ善處ヲ要望スルノデアリマス

第二ノ質問ハ民有林ノ造林意欲ノ昂揚ト云フ問題、是モ種々關聯ガゴザイマス、此ノ植林意欲ノ減退ニハ種々ナル原因ガアリマス、其ノ一ツハ立木ノ價格ガ從來ノ公定價格ヨリ諸經費ヲ逆算式ニ依ツテ控除シテ、其ノ殘高ガ立木ノ代金ト評價サレタノデアリマス、此ノ關係ニアリマスノデ、搬出ニ全ク不便ナル民有林ハ、運搬費ニ多額ノ經費ヲ要シマシテ、全ク立木代ハ著シク低減サレテ來タノデアリマス、斯ルガ故ニ植林ハ生産的ニ考ヘルト全ク不經濟的デアリ、又之ヲ不採算林トモ稱シテ居ルノデアリマス、植林ヲシテモ引合ハナイト云フコトニナルノデアリマス、茲ニ於テ私共ノ要望スル問題ハ、例ハ搬出ノ困難ナル奥地ノ民有林ト雖モ、非常ニ植林ニ適シタ土地モ多クアルノデアリマス、斯ウ云フ奥地ノ山林ニ植林ヲ

サセナケレバナラナイノデアリマスガ、其ノ生産意欲ガ非常ニ減退シテ居ル原因ハ、今申シタ理山ニ依ツタノデアリマス、私ハ立木ノ代金ハ植林ノ生産費ノ原價計算ヲ基準トスルト云フコトハ、合法的デアルト考ヘマスケレドモ、併シ一々原價計算ヲスルコトハ木材ノ一率ノ公定價格ヲ以テ算出スルコトハ容易デナイト考ヘテ居ルノデアリマス、之ヲ又一定價格ノ範圍内デ行フコトハドウシテモ出來得ナイ結果ニナルノデ、此ノ不均衡ヲ如何ニシテ均衡ヲ取ルカト云フコトニナリマス、私共ハ政府ガ戦時中實施サレタ所ノ民有事業ヲ繼續強化シテ戴キタイコトヲ希望スルノデアリマス、此ノコトハ非常ニ合理的デアツテ、洵ニ當ヲ得タ政府ノ施策デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、不採算林ト認メラレル全ク搬出困難ナ山林ハ、原則トシテ全部ハ買上ゲテ賣ハナケレバ甚ダ弊害ヲ及ボス所ガ多イノデアリマス、戦時中各營林署ハ、自己ノ割當ヲ受ケタケケノ民有石數ヲ出セバ事足レリトシテボツボツ買ツタノデアリマス、ソレハ固ヨリ政府ノ補給裏付ノアル買ヒ方デアリマスカラ、此ノ方ハ業者モ喜ンデ應ジマス、又政府買上デスカラ安心シテ之ニ應ズルノデアリマス、併シ買上ニ殘サレタ森林ヲ誰ガ買フカト言ハバ、地方木材或ハ木材業者ガ之ヲ買取ルコトニ

ナル、サウスルト政府ノ買上ゲタ價格ト木材會社或ハ業者ノ買フ價格トノ間ニ、實際ニ於テハ差額ガ生ズルノデアリマス、ソコデ政府ガ全面的ニヤラバ全部買ツテ賣ヒタイト云フコトヲ希望スルノデアリマス、是等ノ財源ニ付テハ後デ申サゲタイト存ジマスケレドモ、之ヲ一應政府ガ全部買上ゲテ、サウシテ是等ノモノヲ地區生産組合ナリ、或ハ私ノ理想トシテハ、町村單位森林組合ニ伐出ヲ代行サセルコトニナレバ、非常ニ圓滿ニ行クノデアリナカト考ヘテ居ル次第デアリマス、其ノコトハ非常ニ單位森林組合ヲ育成強化スル上ニ於テモ便利デアル、又今度ノ改正法案ニ依ツテ林業會法ガ出來、林産組合モ單位組合モ之ニ加入シテヤルコトニナリマスレバ、是等ノ緊密ナル連絡ハ之ニ依ツテ圖ラレルト存ゼラレマスノデ、此ノ點モ非常ニ私ハ今後木材ノ供出ヲスル上ニ付テ效果のニ行フノデハナイカト考ヘルノデアリマス、若シ今申サゲタヤウニ之ヲ全面的ニ政府ガ買上ゲテ補給金ヲ出サナイコトニナルト、殘サレタモノハドウシテモ賣リマセスカラ、之ヲ買取ルニハヤハリ政府ガ買取ツタ値段位マデ其ノ原本ヲ評價シテ買取ラナケレバナラナイノデアリマス、サウシタ結果ガ何處ヘ行クカト云フト、其ノ結果ハ之ヲ逆算デ、從來ト違ツテ相當ノ運賃ノ増

シ金ヲ包含シテ居ル値段デアルカラ、公定價格デ納メテハ引合ハナイト云フ結果ニ業者ハナルノデアリマス、是ガ自然閣相場ニ流レル一ツノ原因ヲ成スノデアリマス、デアリマスカラ、原本ハ山デ何萬石買ツテモ實際政府ノ所期スルマデノ石數ニハ行カヌノハ、此ノ點カラ出テ來タモノデアリマスカラ、其ノ點特ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ申スマデモナク民有林ト云フモノハ、戦時中ニ於テハ勞務、運搬其ノ他ガ行詰ツテ居リマシタカラ、是等ハ全部成ベク運賃ノ掛ラナイ、戦時中或ハ國家ノ法律等ニ依ツテ所有者ノ理解ヲ受ケテ伐ツタノデ、大體ニ於テ私ノ縣ナドハ縣道ノ便利ノ宜イヤウナ所ハ殆ド伐リ盡シテ居リマス、今後ハドウシテモ奥地ニ入ルヨリシカナイノデアリマスカラ、此ノ奥地カラ出ス時ニハ、第一林道モ作ラナケレバナラナイ、或ハ今申サゲタヤウニ林道ヲ作ルトシテモ、搬出費ガ非常ニ掛ル、斯ウ云フヤウナ結果ニナルノデアリマス、私ノ深ク要望スル點ハ、是等ノ權衡ヲ圖ルニ付テ、民有政策ヲ繼續シテ戴キタイノデアリマス、是ハ政府ノ先程ノ御説明ヲ伺ヒマス、相當量ノ木材ヲ今年度ニ於テモ供出シナケレバナラヌト云フ御計畫ノヤウデアリマスガ、戦災復興計畫ノ用途ノ木材ハ中々容易ニ集マラヌト考ヘテ居リマ

シ金ヲ包含シテ居ル値段デアルカラ、公定價格デ納メテハ引合ハナイト云フ結果ニ業者ハナルノデアリマス、是ガ自然閣相場ニ流レル一ツノ原因ヲ成スノデアリマス、デアリマスカラ、原本ハ山デ何萬石買ツテモ實際政府ノ所期スルマデノ石數ニハ行カヌノハ、此ノ點カラ出テ來タモノデアリマスカラ、其ノ點特ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ申スマデモナク民有林ト云フモノハ、戦時中ニ於テハ勞務、運搬其ノ他ガ行詰ツテ居リマシタカラ、是等ハ全部成ベク運賃ノ掛ラナイ、戦時中或ハ國家ノ法律等ニ依ツテ所有者ノ理解ヲ受ケテ伐ツタノデ、大體ニ於テ私ノ縣ナドハ縣道ノ便利ノ宜イヤウナ所ハ殆ド伐リ盡シテ居リマス、今後ハドウシテモ奥地ニ入ルヨリシカナイノデアリマスカラ、此ノ奥地カラ出ス時ニハ、第一林道モ作ラナケレバナラナイ、或ハ今申サゲタヤウニ林道ヲ作ルトシテモ、搬出費ガ非常ニ掛ル、斯ウ云フヤウナ結果ニナルノデアリマス、私ノ深ク要望スル點ハ、是等ノ權衡ヲ圖ルニ付テ、民有政策ヲ繼續シテ戴キタイノデアリマス、是ハ政府ノ先程ノ御説明ヲ伺ヒマス、相當量ノ木材ヲ今年度ニ於テモ供出シナケレバナラヌト云フ御計畫ノヤウデアリマスガ、戦災復興計畫ノ用途ノ木材ハ中々容易ニ集マラヌト考ヘテ居リマ

ス、只今進駐軍ノ用材トシテ出シ
テ居ル木ハ、アレハ勿論何レモ地
本社方買付ケタ木材ヲ政府ノ指示
ニ依ツテ、戰時中國家總動員法ニ
依ツテ無理ニモ買ツタノデアルカ
ラ、一應山主ニ戻スベシト云フヤ
ウナ御指示ガアツタ、是ハ私共當
然サウアルベキモノト思ヒマシタ
ガ、併シ其ノ次ニ戰災復興材ノ割
當ハ立木ヲ一旦所有者ニ戻シタ限
リハ、後デ其ノ割當ノ責任ヲ果ス
コトガ出来ナイ原本ヲ持タナイデ
戻スコトハ出来ナイ、一應買取ツ
タモノデアルカラ、一タビ政府ノ
指示シタ點ハ新聞紙上デ山主ガ見
タラ、今度ハ戻シテ呉レルガラウ
ト云フコトハ期待シテ居ツタ者モ
アル、ソコデ私共ハ更ニ山主ノ所
有者ニ諒解ヲ受ケテ木材モ値上リ
ニナツタ、此ノ値上リノモノヲ之
ヲ還元スル、併シ立木ダケハ伐ラ
シテ呉レト云フコトデ、ソコデ私
ノ縣ナドデハ、殆下山主ニ元ノ買
値段ヨリモ増ス位ノ金デ以テ山主
ハ全部諒解シタ、福島縣ナドハ六
十何萬石持ツテ居リマシタカラ、
進駐軍ノ割當モ非常ニ成績良ク納
マツテ居ルノデアリマス、立木ヲ
使ツテシマツタ後ハ新規ニ買付ケ
ナケレバナラヌ、ソレガ容易デハ
ナイ、現在ニ於キマシテハ、其ノ
買付ガ速カニ運シタコト云フコトヲ
聞イテ居ラヌガ、森林所有者ト致
シマシテモ物ハナイノデス、例ヘ
バ農作物ナラ今年ハ作ガ惡イト云

ヘバ作ノ良イ年ニ何トカシテ置タ
ト云フコトモ出来ルガ、四十年、
五十年經ツタ木材ト云フモノハ、
中々一年、二年デハ出来ナイ、持
ツテ居レバ後程値上リニナルト云
フヤウナ思惑モアリマセウシ、ソ
レカラ又ヤハリ森林ト云フモノニ
執着ヲ持ツテ居リマシテ、サウシ
テ今マデ本當ニ辛苦シテ育テタ木
デアリマス、一方ノ山ハ戰時中買
上ニナツテ伐ツタノデ、是ダケハ
殘シテ置キタイト云フヤウナ觀念
ヲ持ツテ居ル者ガアル、サウ云フ
ヤウナ觀念カラ、伐期ノ來タ木材
デモ賣木ガ乏シイノデアリマス、
之ヲ如何ニシテヤルカト云フコト
ガ私共今復興ヲ前ニシテ考ヘラレ
ル一ツノ問題デアリマス、ソコデ
先程中シタヤウナ方法ヲ今一段ト
御進メ下サツタラ如何カト考ヘル
ノデアリマスソレカラ木材ノ價格
デゴザイマスガ、木材業者ハ協定
價格ヲ要望シテ居ルヤウデゴザ
イマス、併シ此ノ協定價格ト云フ
モノモ、先程カラ申シタ通り中々
容易ナ問題デハナイ、所謂乙地區
ト稱スル所ノ運搬不便ナ所ニ山林
ノ立木ガアリ、斯様ナ異ナル箇々
ノ山林ニ付テ協定價格ハ連モ一致
シナイ、此ノ山ハ非常ニ運賃ガ掛
ル、是ハ乙地區デアツテモソレ程
掛ラヌト云フヤウナ所モアツテ、
一定ノ協定價格ハ出来ナイコトハ
申スマデモナイノデアリマス、協
定價格ト申シマシテモ、ヤハリ甲

地區ノ運搬ノ便利ナ所、乙地區ノ
運搬ノ便利ノ惡イ所、是等ヲ平均
シテ諸經費ヲ算出シテ最寄リノ驛
渡シノ價格ヲ決メル、之ニハ都道
府縣別ニスルカ、或ハ地方プロッ
ク一別ニスルカ、是ハ又別ニ考
ヘナケレバナリマセヌガ、斯ウ云
フ甲乙ヲ平均シタ所ノ價格ヲ設定
ナサレテハドウカト思フノデアリ
マス、要ハ所謂輿地ノ搬出困難ナ
運搬費ノ嵩ム所ト、サウデナイ所
ト、ソコヲ均衡ヲ圖ルノガ先決問
題デアリマス、又輿地ニ入ルニ
ハ、林業勞務者ノ食糧、勞銀、小
運搬、是等モ相當掛リマスノデ、
費用モ相當多イノデアリマス、デ
アリマスカラ、現在ノ進駐軍ニ賣
ルハ割五分増シノ價格ハ、是ハド
ウヤラ出来ルヤウデアリマスケレ
ド、一般ノ公定價格ニテハ非常ニ
木材ガ出溢ツテ居ル、斯ウ云フ價
格ノ面ニ於キマシテモ、戰時中ニ
於テ一方ノニ政府ガ決メテ、サウ
シテ之ニ依ツテ出セト云フヤウナ
コトデハ今後ハ出テ來ナイ、私モ
地本社ニ居テ體驗ヲ有スル者デゴ
ザイマスガ、戰時中ハ一方ノ價
格デアツケレドモ、是ハドウシ
テモ出ナイ、ソレデハモウ直營生
産スルシカナイ、先キニハ委託代
行ト云フコトデ總代行的ニシテ
利害ヲ任セテヤツテ居リマシタケ
レドモ、ソレデハ誰モ委託代行ヲ
ヤル人ガナクナツタ、ソコデ今度
ハ地本社ガ直轄ニヤツタ、サウス

ルト公定價格ノ約二倍位掛ル、サ
ウスルト其ノ損失ヲ誰ガ補填スル
カト言フト、其ノ損失補填ノ途ガ
ナイ、併シ戰爭中デアルカラ、ソ
ンナニ算盤ヲ探ツテ居ル譯ニモ行
カナイト云フノデ、先ヅ資本金ヲ
食ツテモ、或ハ損失ヲ出シテモ、
是ハヤラザルヲ得ナイノダト云フ
コトデ、私ハ斷然之ヲヤラセタノ
デアリマス、ソレガ爲ニ私ノ縣デ
ハ相當「バーセンテージ」マデ陸海
軍ノ材料モ出テ居ルノデアリマス
又アノ、戰爭中常磐炭田ニ於テ年
ニ六十萬石使フ所ノ坑木ヲ全部差
支ヘナイダケ出シタノデアリマ
ス、ソレ等ハ皆赤字デアリマス、
其ノ赤字ヲドウシテ補填スルカト
云フ時ニ於キマシテ、私共ハ其ノ
後手持材ノ價值ガ段々上ツタカ
ラ、此ノ手持材ヲ以テ赤字ノ補填
ヲシタイト思ツテ居ツタ失先、是
ハ全部日本社ノ價值ハ上ラナイ、
十一月二十六日現在ノ改訂價值ノ
前ノモノデ、日本ニ引渡セト云フ
ヤナウ通知ヲ受ケテ、私ハ啞然ト
シタ、斯様ナコトハ如何ナル政府
ノ御考ヘヲ以テ指示スルノカ分ラ
ナイケレドモ、私共ハ斯クマデニ
資本ヲ使ツテモ戰時中ノ御奉公ヲ
ヤツタノダ、如何ニシテ株主ヤ何
カニ其ノ赤字ヲ出シタコトヲ償フ
カト云フ失先、多少ノ利潤ノア
ル手持材ノ幅ヲ日本ニ引渡スト云
フヤウナコトハ、私ハ其ノ當ヲ得
タモノデナイト云フ考ヘヲ、私ノ

地方ノ赤字カラ考ヘ、又戰時中ノ
自分ノ責任ノ果シヤウカラサウ考
ヘザルヲ得ナイノデアリマス、併
シ是モ御命令デアリマスカラ已ム
ヲ得マセヌ、其ノ時ノ話ニハ若シ
地本社ニ赤字ガアレバ其ノ赤字補
填ハ「ブール」計算デ日本社カラ
支拂ハセルノダト云フヤウナ御話
ガゴザイマシタガ、是等ニ付キマ
シテモ今尙ホサウ云フコトニ相成
ツテ居ルカドウカ、此ノ點モ併セ
テ御伺ヒシテ置キタイ思フノデア
リマス、斯様ナ關係カラ致シマシ
テ、私ハ木材ノ價值ト云フモノ
ハ、今後ハ一方ノデナク、此ノ話
ハ他ノ議員諸君カラモ議論ガアツ
タヤウデアリマスケレドモ、ヤハ
リ森林組合ノ代表者モ或ハ林産組
合モ、或ハ當業者モ之ニ加ヘテ、
適正ナル公定價格ヲ決メテヤルコ
トガ、今後此ノ木材ノ供出ヲ促進
スル上ニ效果のデナイカ、斯ウ云
フコトニ付テ當局ガ如何ナル御方
針ヲ以テ臨ンデ居ラレルカ、此ノ
點ヲ御伺ヒシテ置キマス

○中尾政府委員 色々御話ヲ承
ツタノデアリマスガ、御意見洵ニ
御尤モト存ズルノデアリマス、此
ノ民有林官ノ行所伐事業ノ強化ノ
問題デアリマスガ、本年度實行致
シテ居リマス民新事業ハ、昨年マ
デ民新事業ト致シテ實行致シマシ
タノト少シ性質ガ違ツテ居ルノデ
アリマス、昨年マデハ色々御話ガ
アリマシタ通りニ、乙地區ノ方ノ

立木ノ公定價格ト、ソレカラ逆算致シマシタ價格トノ開キニ補給金制度ノ民所事業ヲ實行致シテ居ツタノデアリマスガ、御承知ノ通り補給金制度ガナクナリマシタ爲ニ、本年度實行致シテ居リマス民所事業ハ、普通ノ補給金制度デナク、當リ前ノ所伐事業ヲ實行致スコトニナツテ居ルノデアリマス、併シ民有林ヲ買入レマス場合ニハ、其ノ買入價格ハヤハリ適正ナ逆算方式ヲ執ルコトハ勿論デアリマスガ、ソレニ依ルバカリデナク、適正ナ價格ヲ購入スルコトニ努メテ居ルノデアリマス、本年實行シテ居リマスノハ、結局今ノ補助制度ガナクナツタ爲ニ、今ノ乙地區、甲地區ト云フヤウナモノノ制度モナクナツタノデアリマシガ、民間ニ於キマシテ伐採事業ヲ餘リヤルコトヲ希望シナイヤウナ、兎ニ角出シノ惡イヤウナ所ノ山ヲ國ノ方ヲ買上ゲマシテ、此ノ民所事業ヲ實行スル方針デヤツテ居ルノデアリマス、買入レマシタ立木ノ伐採ノ關係ハ御話ノアリマシタ通りニ、森林組合ノ方ニ事業ノ請負ヲサセルカ或ハ林産組合方面ニ對シテ事業ノ請負ヲサセルカ現ニ角實行力ノアル人ニヤツテ賣フコトニ致シマシテ、只今事業ヲ繼續致シテ居ル次第デアリマス、此ノ事業ヲ更ニ來年度再來年度引續イテヤルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、私ノ考ヘト致シマ

シテハ此ノ民所事業ハ出來ルダケ繼續シテヤツテ行キタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、唯御話ノ通りニ、不採算林分全部ニ互ツテ之ヲ實行スルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、豫算トノ關係モアリマスシ、不採算林分ノ全部ヲ此ノ民所事業ニ依ツテヤルコトハ、中々困難カト思ヒマスカラ、出來ルダケ此ノ民所事業ヲ擴大シマシテヤツテ行キヤウニ努力シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ木材ノ價格ノ面デアリマス方、此ノ木材ノ價格ニ付テハ、最後ハ本年ノ三月ニ公定價格ノ改訂ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シ其ノ後色々人夫賃金ノ昂騰或ハ食糧事情ノ逼迫ノ爲ニ、木材ノ生産ガ非常ニ惡クナツテ居ルト云フヤウナ點等モアリマシテ、當局ト致シマシテハ此ノ點々ト慎重ニ考究ヲ致シマシテ、又交渉モ致シテ居ルノデアリマスガ、何レ經濟安定本部モ發足致シマシタシ、今後安定本部ノ方ニ對シマシテ、當局ト致シマシテハ出來ルダケノ交渉ヲ續ケテ見タイト思ツテ居ルノデアリマス、併シ決定ハ經濟安定本部ノ方ニ於テ他ノ重要物資トノ價格ト睨ミ合セテ一貫的ニ決定セラルベキモノト思ヒマスノデ、御諒解願ヒタイト思ヒマス、尙ホ最後ニ御話ニナリマシタノハ、昨年十一月ニ執リマシタ地木本社ノ手持材ヲ日本社ノ方ニ買上ゲマシタノ臨時措

置ノコトダト思フノデアリマスガ、是ハ前ニモ回答ヲ致シタノデアリマスガ、アノ當時ノ措置ト致シマシテハ、地方長官ノ裁量ニ依ツテ机上受渡サレタ關係モアリマスカラ、日本社デ引取りマシタ數量ハ、豫定ハアノ當時ノ數字デハ三百萬石ト云フコトニナツテ居ルノデアリマスケレドモ、實際机上デ而モ早急ノ間ニ取極メタ問題デアリマシテ、其ノ後其ノ數量ニモ相當異動ガ來テ居ルデハナイカト云フ風ニ考ヘラレマス、尙又其ノ三百萬石ノ中ニハ山床或ハ中間土場等ニ存在シテ居ル丸太モ相當含マレテ居ルト云フヤウナ關係モアリマシテ、其ノ後地木本社ニ委託シテ最終土場ニ搬出ヲ致サセテ居ルノデアリマスガ御承知ノ通り本年ニナリマシテカラノ人夫賃金ノ昂騰、小運送費ノ増嵩ト云フヤウナ點カラ、相當豫想以上ノ金モ掛ツテ居ルヤウデアリマスルシ、結局ドノ程度ノ純益ニナリマスカ、近ク決定スルコトト思フノデアリマスルガ、其ノ當時色々考ヘテ見マシタ地木本社ノ赤字補填等ニ充當致シマス金額ハ果シテアルカドウカ、其ノ點ハハツキリシタコトハ申上ゲラレマセヌガ、唯此ノ件ニ付キマシテハ、日本社ニ於キマシテモ最初カラ特別ノ會計デヤツテ居リマス、政府ニ於キマシテモ十分ノ監督ヲ致シテ居リマス、近ク決濟ガ濟ミ次第其ノ純益金ノ處分

方法ニ付キマシテハ、委員會ニ於テ決定致ス積リデ只今考ヘテ居ル次第デアリマス
○太田(秋委員) 今一言御伺ヒ致シマス、大體御説明ニ依ツテ了承シタ點モアリマスガ、私ガ要望致シマシタ採算林ノ買上方法ハ先年ト違ツテ、政府ハ御方針ヲ變ヘテ今度ハ補給金ハ一切出サナイト云フコトデアアル、ソコデ全ク誰モ出セナイヤウナ非常ニ困難ナ採算林ヲ國家ノ力ヲ以テ出スト云フヤウナコトモ一應ハ納得出來マスガ、併シ此ノ及ボス影響ト云フコトニ付テハ、先程申上ゲタ點デ御諒承願ヘタコトト思フノデアリマスガ、ヤハリ國ガ相當ノ値段ヲ以テ買ヒマストアンナ奥地ノ便利ノ惡イ所デモ是ダケノ値段デ買フノダ、他ノ林産組合ナドガアノ値段デ買ヘナイノハ餘リニモ組合ガ利潤ヲ追求スルカ、或ハ木材業者ガ餘リニ利益ヲ取ルノダト云フヤウニ、直感的ニ森林業者ヲ考ヘルコトハ、後ノ山ノ買付ケニ困難ヲ生ズル一ツノ原因トナリマスカラ、私ハ其ノ點ヲ憂慮スルノデアリマス、ソコデ私共ト致シマシテハ、國ノ補給ト云フヤウニ、何モ彼モ國家ノ指示ニ依ツテ均衡ヲ圖ルト云フコトバカリデナク、之ニハドウシテモ今日ノ地木本社ヲ解散シテリウシテ元ノモノニ戻スベキモノハ戻シテヤル、是等ノ人ハ製材能力ヲ持ツテ居リ、又伐採ノ經

驗モ持ツテ居リマスガ、原本ヲ入手シナイ限り如何ニ國家ガ指示シタ所デ出來ナイ、原本ヲ如何ニシテ手ニ入レルカト云フ方法ヲ、施策ノ上ニ現ハシテ戴キタイト云フコトヲ私ハ要望スルモノデアリマス、之ニハ獨リ國家ノ補給金ニ依ツテ均衡ヲ圖ルバカリデナク、一應國家ノ手ヲ戴カナクテモ之ヲ財源トシテ他ノ方法ニ求メルコトガ出來ルノデハナイカト云フコトデ、所謂木材生産者ガ製材工場ヲ持チ職工ヲ備ヱテ居ツテモ、原本ガナケレバ仕事ニナラヌ、休ミガ續イテ此ノ損失ハ大變デアル、原本ダケ續ケバ毎日休ミナク働イテ仕事ガ出來ルト云フコトニナリマス、又公定價格ノ中ニハ生産者ガ維持出來ル所ノ若干ノ利潤ヲ包含シテアルカノ如ク聞イテ居リマスガ、斯ウ云フモノモアリマスカラ、益受者トシテノ木材ヲ取扱ツテ利益ヲ擧ゲル方面カラ林産組合其ノ他ニ出資サレテ、サウシテ之ヲ國庫ニ戻スナラバ純國庫ノ負擔ニナルベキモノハ本當ニナイノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、斯ウ云フ方法ヲ當局ガ御執リニナルコトガ出來ルカドウカ、是ハ私ノ私案デアリマスケレドモ、併シ過去ノ體驗ニ照シマシテ斯ウデモシナケレバ此ノ均衡ヲ圖ツテ政府ノ復興ノ材料モ出セナイ、斯ウ考ヘルガ此ノ點ニ付テ今一應伺ヒタイ

○平川政府委員

只今ノ御意見ノ

ヤウナヤリ方デ、組合員ガ一致シテオ互ヒニ營利ノ比較的少イ山ヲ出スト云フ手段ヲ執ラウト思ヘバ執レナイコトハアリマセヌ、固ヨリ立木ニ付テハ別ニ公定價格ト云フモノハアリマセヌ、發祥ニ於ケル素材ノ公定價格ダケデアリマス、素材ガ相當要ルト云フ意味ニ於キマシテ、立木ヲ假ニ共同購入スルト云フヤウナ形、協同事業ト云フヤウナコトヲ林業會法ノ定メルコトニ考ヘマシテ、ソコデ皆ガ一致シテサウ云フ手段ヲ執レバ執レナイコトハナイト思ヒマス、併シ之ニ付テ政府ノ方カラ特ニ指導スルトカ、或ハサウ云フ方法ヲ強制的ニ執ルトカ云フコトハ困難デアリマス

○太田(秋)委員

私ノ要望スルコ

トハ、政府ハ營林署ヲ持ツテ居ル、營林署ハ地方ニ非常ニ馴染ミガ多ク、信ジテ居リマスカラ、營林署デ各地區ノ石數ノ調査トカ運搬費ノ差額等ヲ算出シテヤルコトガ非常ニ親切デアアル、ソコマデ政府ガ世話モ燒カナイデ、後ハ地區林産組合ガ協同デ、困難ナ場所モ或ハ易イ場所モ山ヲ買ツテヤレ、ソコナ生易シイコトデハ今度ノ單位組合ノ組合セガ巧ク行カナイ、ソコニ營林署方中ニ入ツテ指導シテコソ、初メテ其ノ中ヲ通リ抜ケテ行ケルト考ヘルノデアリマス、サウ云フ自治的統制デアルカラ、

規則ヲ與ヘ、之ニ依ツテ協同的ニ

林産組合ガ組合ツテヤツタラ宜カラウト云フヤウニ放任サレタラ成立ガ巧ク行カナイ、是ハ先ニ同僚委員諸君カラモ、此ノ點ニ付テ、所謂利害關係ヲ異ニスルモノヲ一致サセル時ニ、林産組合ト云フモノノ關係ガ緊密圓滿ニ連絡ガ取レルカト云フ懸念ノ下ニ言ハレテ居リマスガ、全ク其ノ通りデアツテ、ヤハリ私ノ要望スルコトハ、適當ナ地域ノ營林署ヲ以テ、ソコニハ專門家ガ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ活用シテ、ソコマデ入ツテ指導シテ下サラナケレバ巧ク行カナイト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ政府ノ御考ヘヲ承リタイ

○中尾政府委員

民有林ニ對シマ

スル營林署ノ指導ト申シマスガ、其ノ仕事ハ只今デモ實行致シテ居ルノデアリマスガ、兎ニ角戰時中ハヤハリ龐大ナ木材ノ需要ヲ充足致ス爲ニ其ノ方面ニ没頭シテ居リマシテ、指導ノ方面ガ十分トハ行カナカツタノデアリマス、只今御話ノヤウナ素材ノ調査ノ指導或ハ賃金ノ協定ノ指導ト云フヤウナ點ニ付テハ、今後ハ十分指導ヲ實施シテ參リタイト考ヘテ居リマス、勿論營林署ノ方ニ於テモ暇ガアリマス時ニハ喜ンデソレ等ノ指導ヲ致ス考ヘデアリマス

○太田(秋)委員

能ク當局ノ御話

ハ分リマス、唯録リ言デアリマスガ、營林署ハヨク地方ニ導シテハ政府ノ命令等ニ付テ協力シテ呉レルノデアリマス、私ハヤハリ此ノ場合森林組合トソレカラ木材業者其ノ他ノ關係者ヲ一丸トシタ所ノ林産組合ヲ組織スルト云フ場合ニハ、營林署ガ一ツノ指導役ニナリ、實際現地ニ於テ指導シテ貰フコトガ一番宜イト思フノデアリマス、其ノ場合ニ於テ、先程ノ私ノ質問ハ、ドウシテモ國ガ方針ヲ變ヘテ補給金モ出サナイ、又補給金ノ回收ノ途モ講ジナイノデアルカラ、今度ハソレ等ノモノヲ國庫直接ノ補給デナク、營林署ノ政府事業トシテヤルノダト云フコトデアリマスガ、ソレハ民新事業ヲ全面的ニ政府事業トシテヤツテ下サレバ之ニ越シタコトハナイ、原本ヲ拂下ゲテ製材ヲスレバハ横流レモシナイシ、相當政府ノ筋ノ方ニ集マツテ來ルト思ヒマスガ、併シソコマデ全面的ニ民新ヲヤルト云フノデハナクテ、ボツ／＼ト困難ナ場所、奥地ヲ先ツ國ノ力デヤルト云フヤウナ形式的ナ仕事ニナツテシマフト、其ノ他ノ林産組合ノ仕事ト云フモノハ、非常ナ生産ノ隘路トナルコトハ申上ゲタ通りデアリマスカラ、ソコデ若シドウシテモ國ハ全面的ニ出來ナイト云フコトニナレバ、ヤハリ都道府縣ノ林業會ヲ單位トシテ縣内ニ於テ「ブール」ヲシテヤラセル、其ノヤラセルコトニ付テノ檢定ハ營林署デヤラセルノダト云フヤウナ所マデノ指導方針ヲ以テ臨ンデ來ルコトガ出來ナイカ、之ヲ伺ヒマス

○中尾政府委員

先刻モ申上ゲマ

シタ通りニ、民有林ノ營林指導ノ業務ハ、營林署ノ仕事ノ一ツニモナツテ居リマスノデ、出來ルダケノコトハ營林署ノ方デモ御斡旋スルヤウニ指導致シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○太田(秋)委員

各縣ノ事情ニモ

依リマセウケレドモ、私ハ自分ノ縣ノ現下ノ事情ニ即シテ御伺ヒシテ置クノデアリマス、縣單位ニ於テ今ノ困難ナ乙地區ヲ買ツタ場合ニ於テモ甲地區ノ利益ヲ以テ之ヲ「ブール」スルト云フヤウナコトハ差支ヘナイ、ソコノ組合ガ圓滿ニ行クトナレバ差支ヘナイト云フコトハ話ハ分リマシタガ、其ノ場合ニ於テヤハリ營林署ノ方カラ立會ツテ、色々差額ノ算定其ノ他ヲシテ藏クト云フコトニナレバ、非常ニ山林所有者其ノ他ノ納得モ行キ、明朗ニナツテ宜シイト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ付テノ御世話ハ出來得ルカドウカ、是ハ直接各所ノ營林署ニ頼ンデモ出來ルカト思フノデアリマスガ、併シ一應ハ政府カラノ通達ガナケレバト思ヒマスノデ、斯ウ云フコトニ付テ念ノ爲ニ御伺ヒシテ置キマス

○中尾政府委員

只今ノ御尋ネノ

指導ハ出來ルト思ヒマス、又致サセマス

○太田(秋)委員

アトハ農林大臣ニ伺ヒタイノデ、明日若干時間ヲ戴キタイ

○森委員長

本日ハ此ノ程度ニ致シマシテ、次會ハ明二十九日午前十時ヨリ開會致シタイト思ヒマス、デハ是ニテ散會致シマス

午後四時二十四分散會

昭和二十一年十月二十七日印刷

昭和二十一年十月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局